

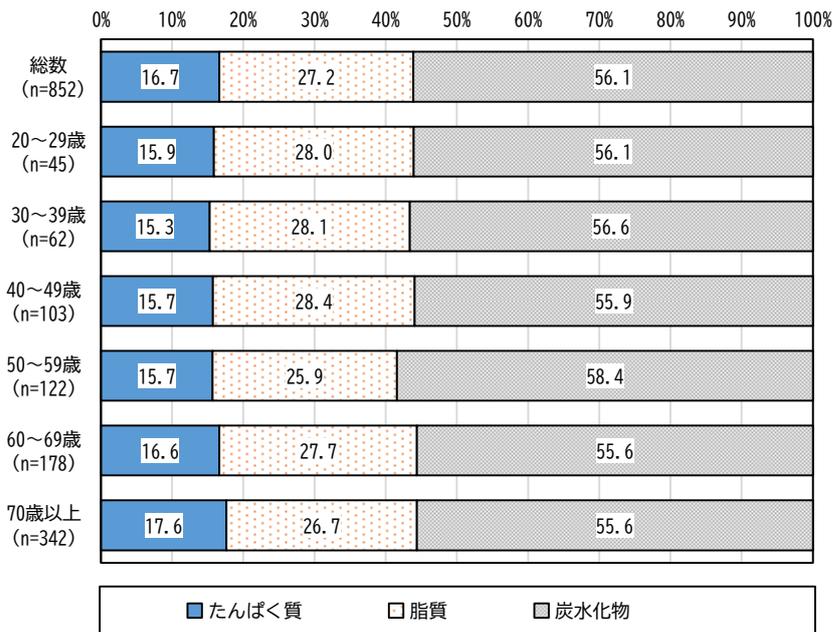
第2章 結果の概要

1 栄養摂取状況

1 エネルギー産生栄養素バランス・脂肪エネルギー比率

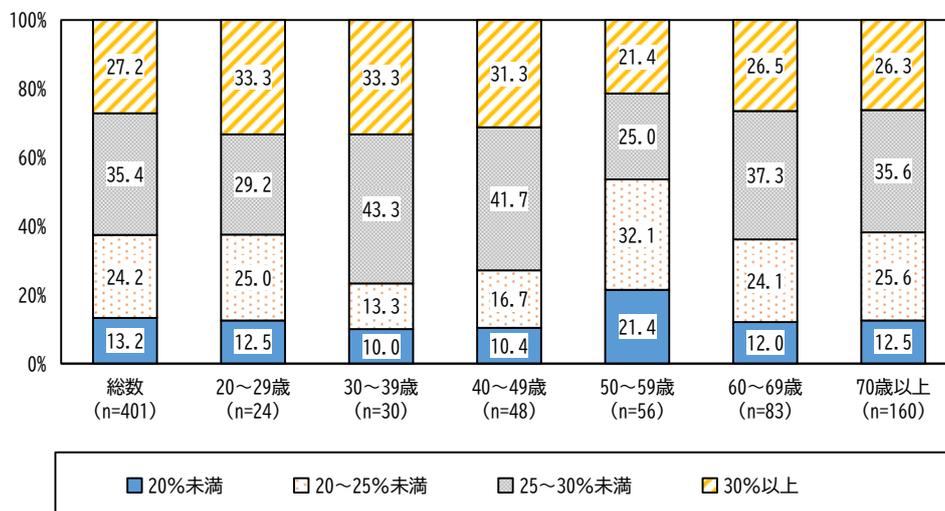
○ エネルギー産生栄養素バランスのうち、脂肪エネルギー比率について30%を超えた人の割合は、男性で27.2%、女性で32.8%であった。

エネルギー産生栄養素バランスの構成比（男女計・年齢階級別）

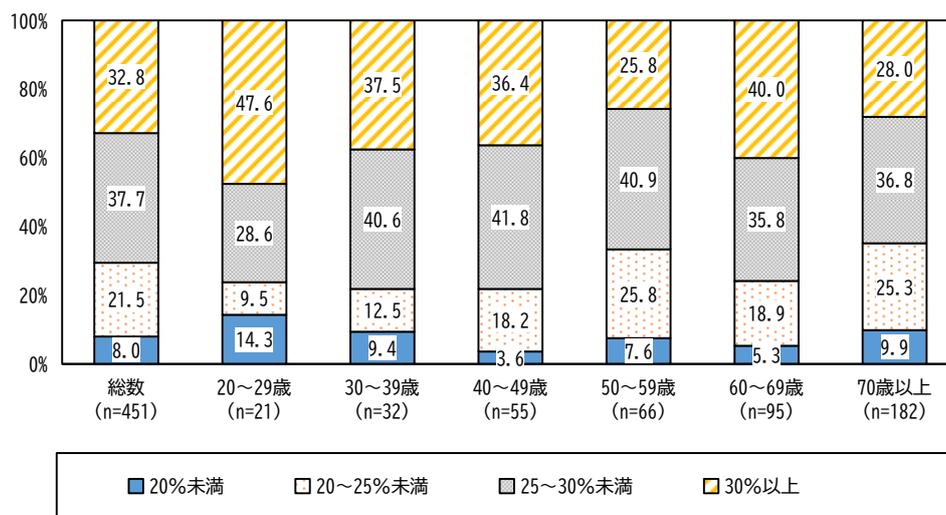


● 脂肪エネルギー比率：1日のエネルギー摂取量のうち、脂質から摂取するエネルギー量の割合
 脂肪エネルギー比率の目標量（範囲）：20~30%（日本人の食事摂取基準 2025年版）

脂肪エネルギー比率の状況（男性・年齢階級別）



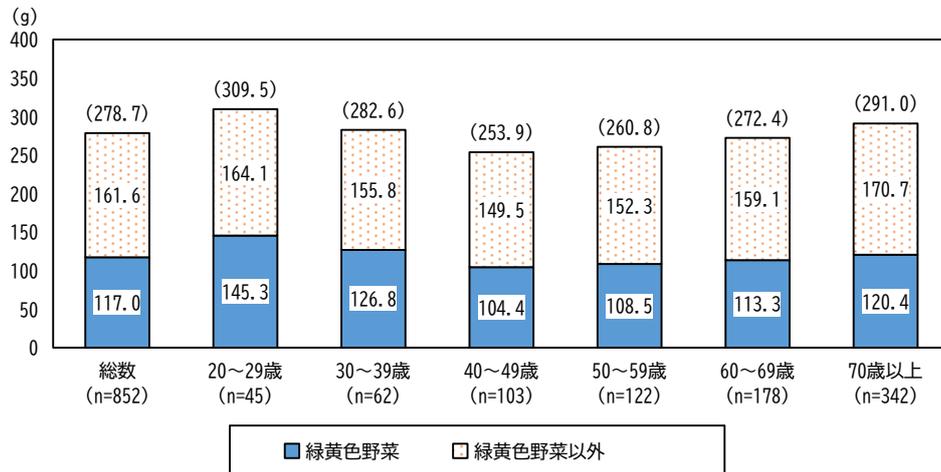
脂肪エネルギー比率の状況（女性・年齢階級別）



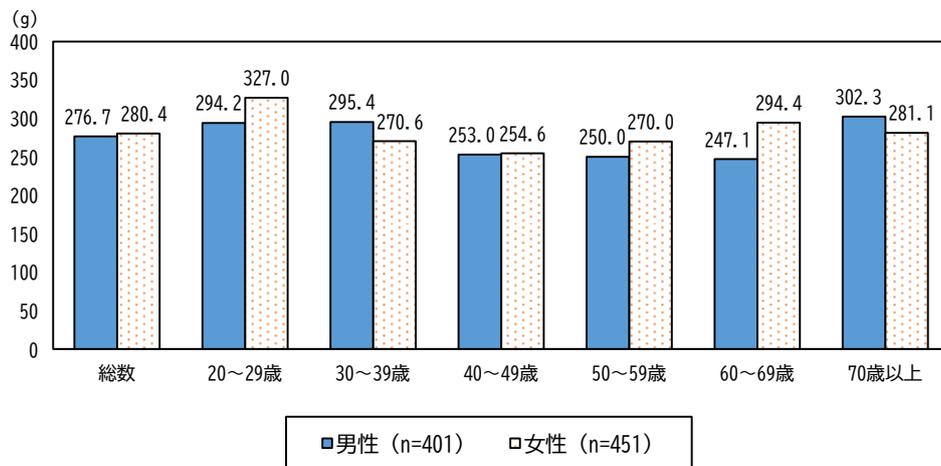
2 野菜摂取量・緑黄色野菜摂取量

- 1人1日当たりの平均野菜摂取量は278.7gであり、年代別では40歳代で最も少ない。
- 健康日本21(第三次)で目標値としている350g以上摂取している人の割合は24.9%である。

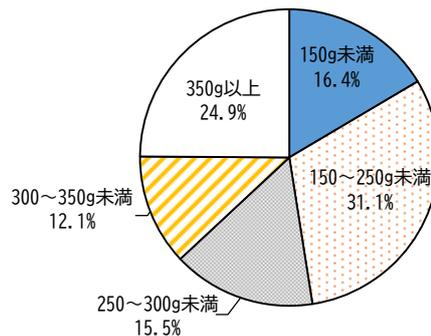
1日当たりの平均野菜摂取量（男女計・年齢階級別）



1日当たりの平均野菜摂取量（男女別・年齢階級別）



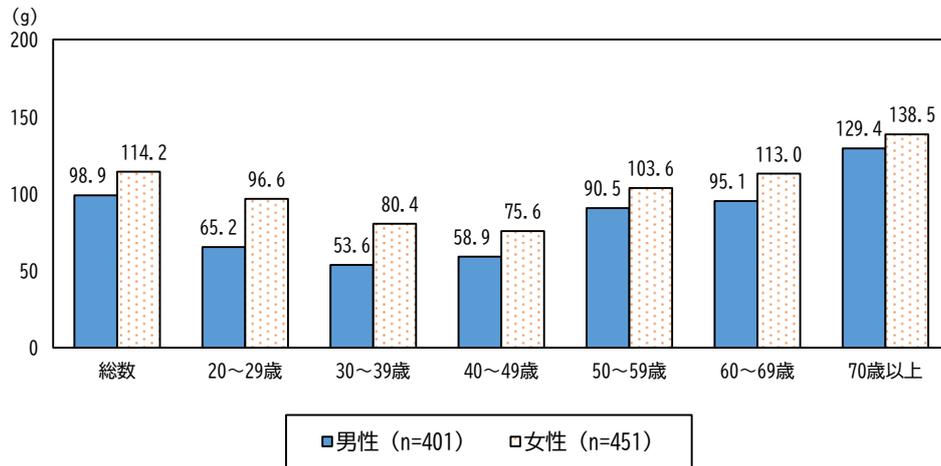
1日当たりの野菜摂取量の分布（男女計）



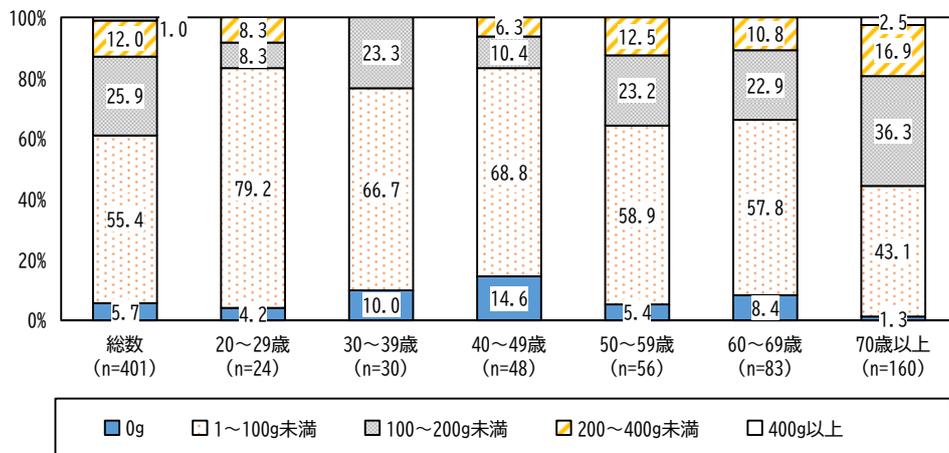
3 果実類摂取量

- 1人1日当たりの平均果実類摂取量は、男性 98.9g、女性 114.2g である。
- 男性の20歳代、40歳代の8割以上では、1日の果実類摂取量が100gを下回っている。

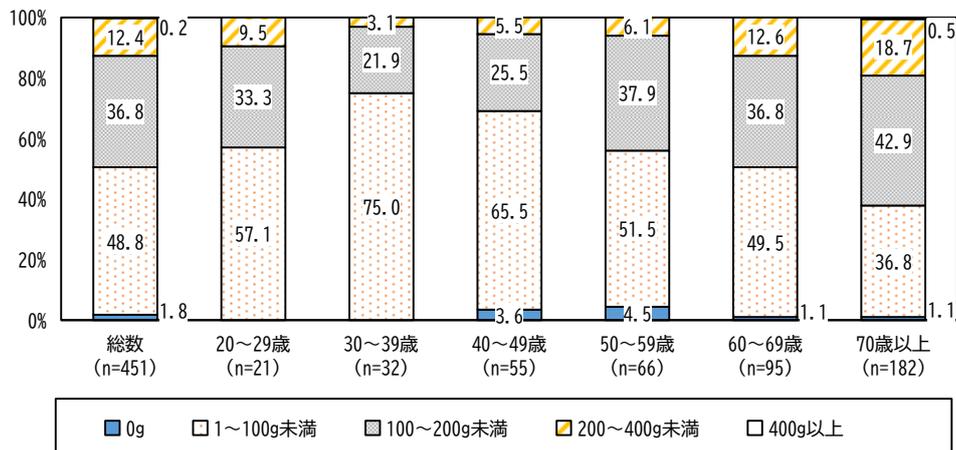
1日当たり平均果実類摂取量(男女別・年齢階級別)



果実摂取量の分布 (男性・年齢階級別)



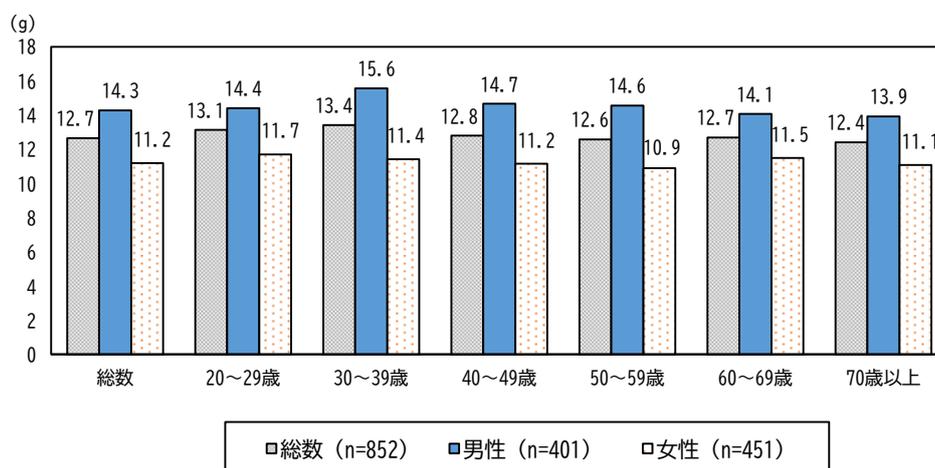
果実摂取量の分布 (女性・年齢階級別)



4 食塩摂取量

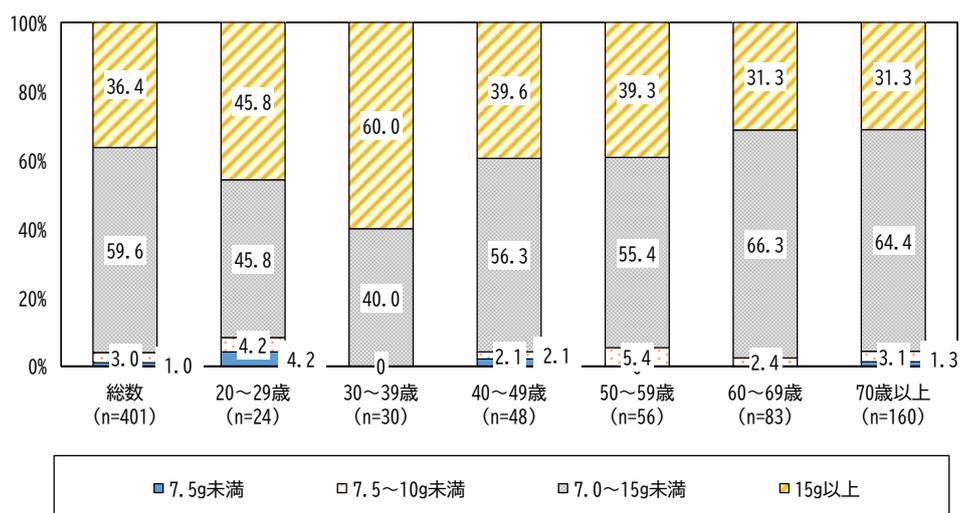
- 1人1日当たりの平均食塩摂取量は12.7gであり、男性14.3g、女性11.2gとなっている。男性の30歳代において最も摂取量が多い。

1日当たり平均食塩摂取量(男女別・年齢階級別)

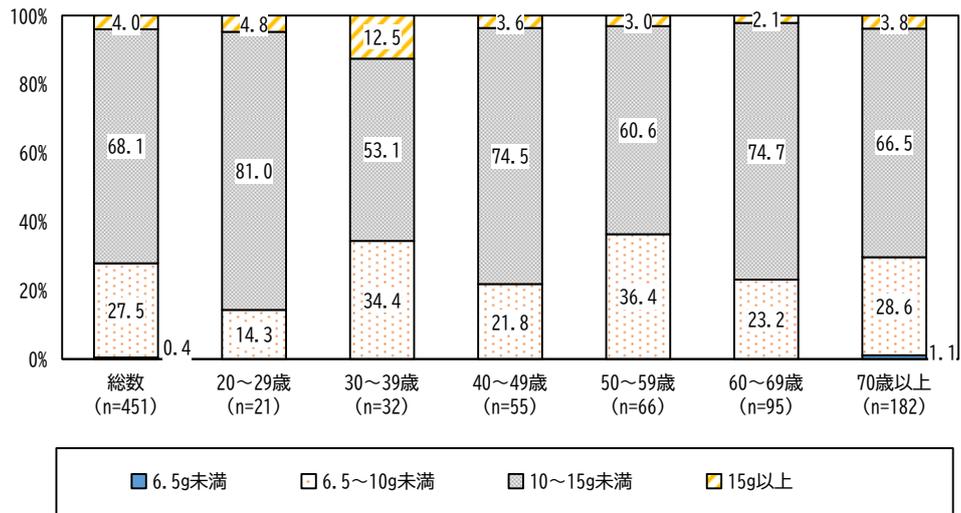


- 1日当たりの食塩摂取の目標量（日本人の食事摂取基準 2025年版）
成人男性：7.5g未満 成人女性：6.5g未満

食塩摂取量の分布（男性・年齢階級別）



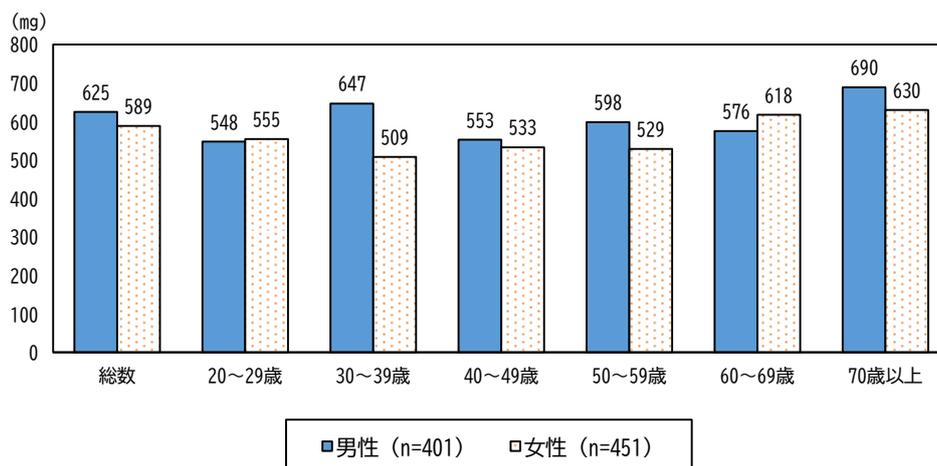
食塩摂取量の分布（女性・年齢階級別）



5 カルシウム摂取量

- 1人1日当たりの平均カルシウム摂取量は、男性 625 mg、女性 589 mg であり、男性は 20 歳代、女性は 30 歳代の摂取量が少ない。

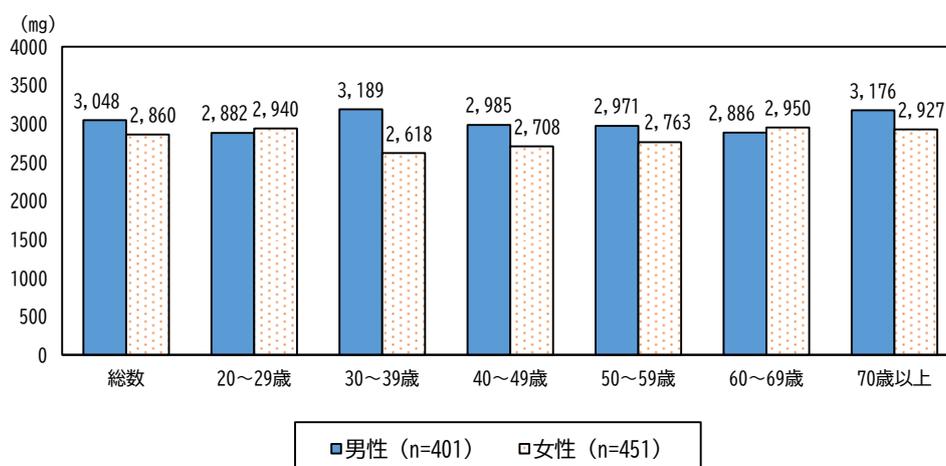
1日当たり平均カルシウム摂取量（男女別・年齢階級別）



6 カリウム摂取量

- 1人1日当たりの平均カリウム摂取量は、男性 3,048mg、女性 2,860mg である。女性では 30 歳代において最も摂取量が少ないが、全年代で目標量を上回っている。

1日当たり平均カリウム摂取量（男女別・年齢階級別）



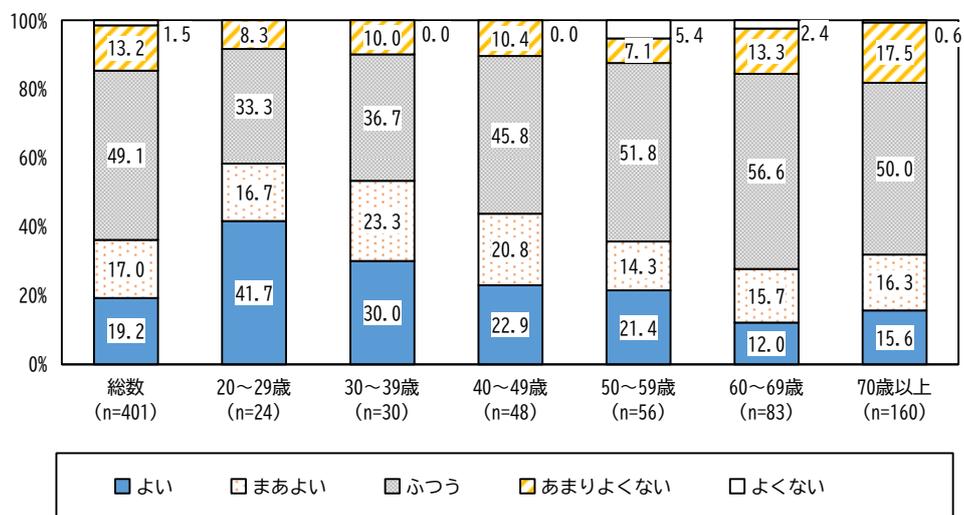
- カリウムの食事摂取基準 目標量（日本人の食事摂取基準 2025 年版）
成人男性：3,000mg 以上 成人女性：2,600mg 以上

2 身体状況・生活習慣に関する状況

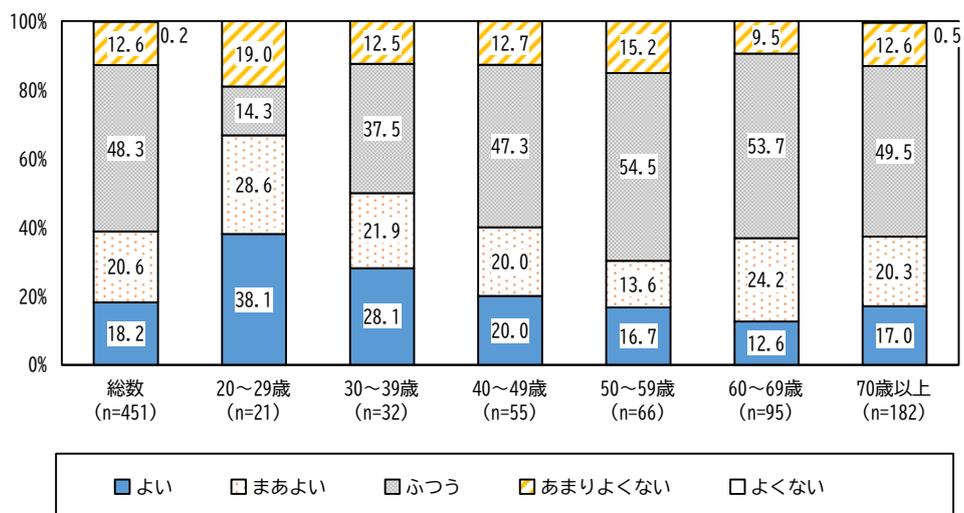
1 健康状態

- 現在の健康状態について、「良い」人（「良い」「まあ良い」の合計）の割合は、男性で36.2%、女性で38.8%であった。
- 健康づくりのために実行していることは、男性（51.9%）、女性（58.3%）ともに「定期的に健康診断を受けている」の割合が最も高くなっている。

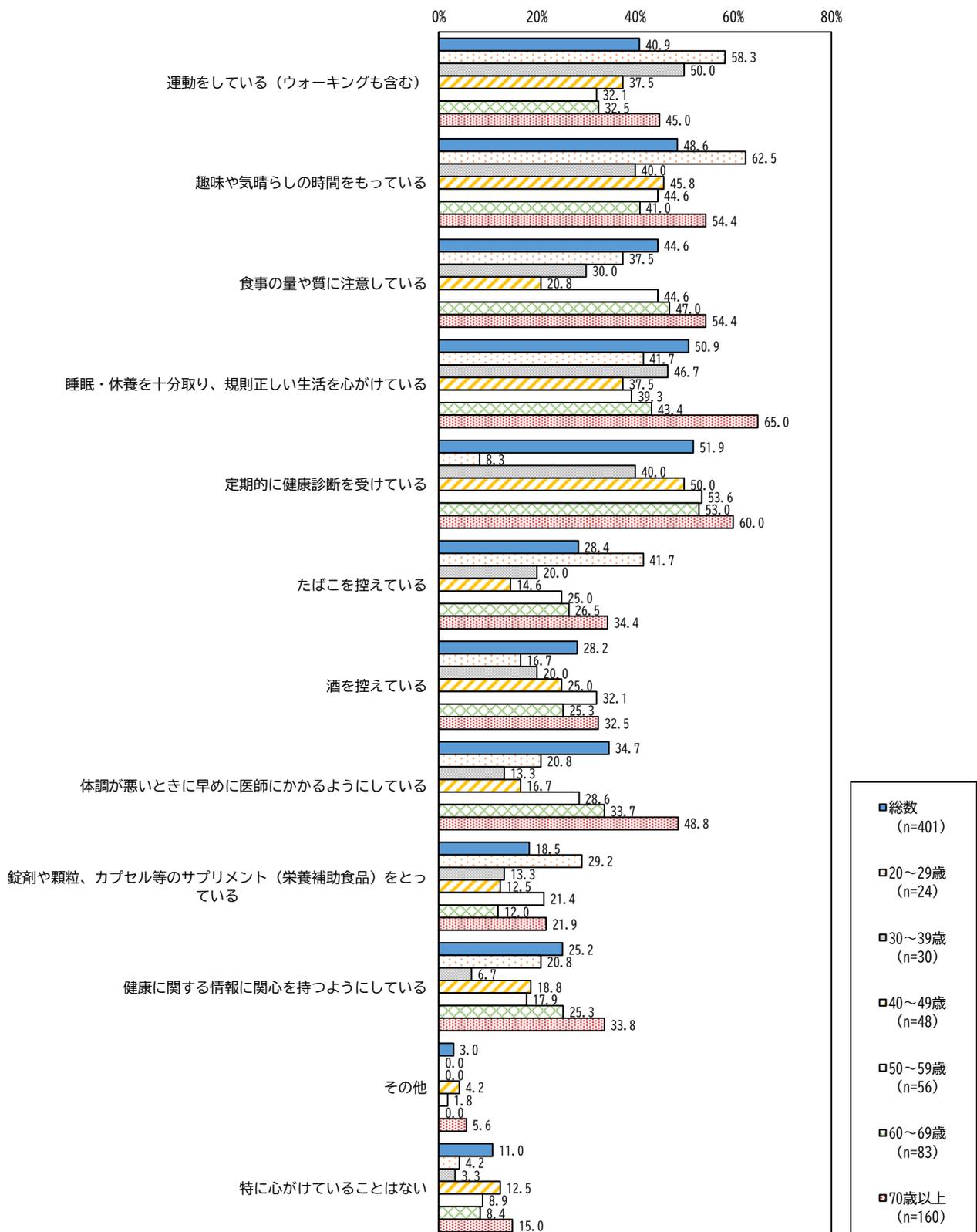
現在の健康状態（男性・年齢階級別）



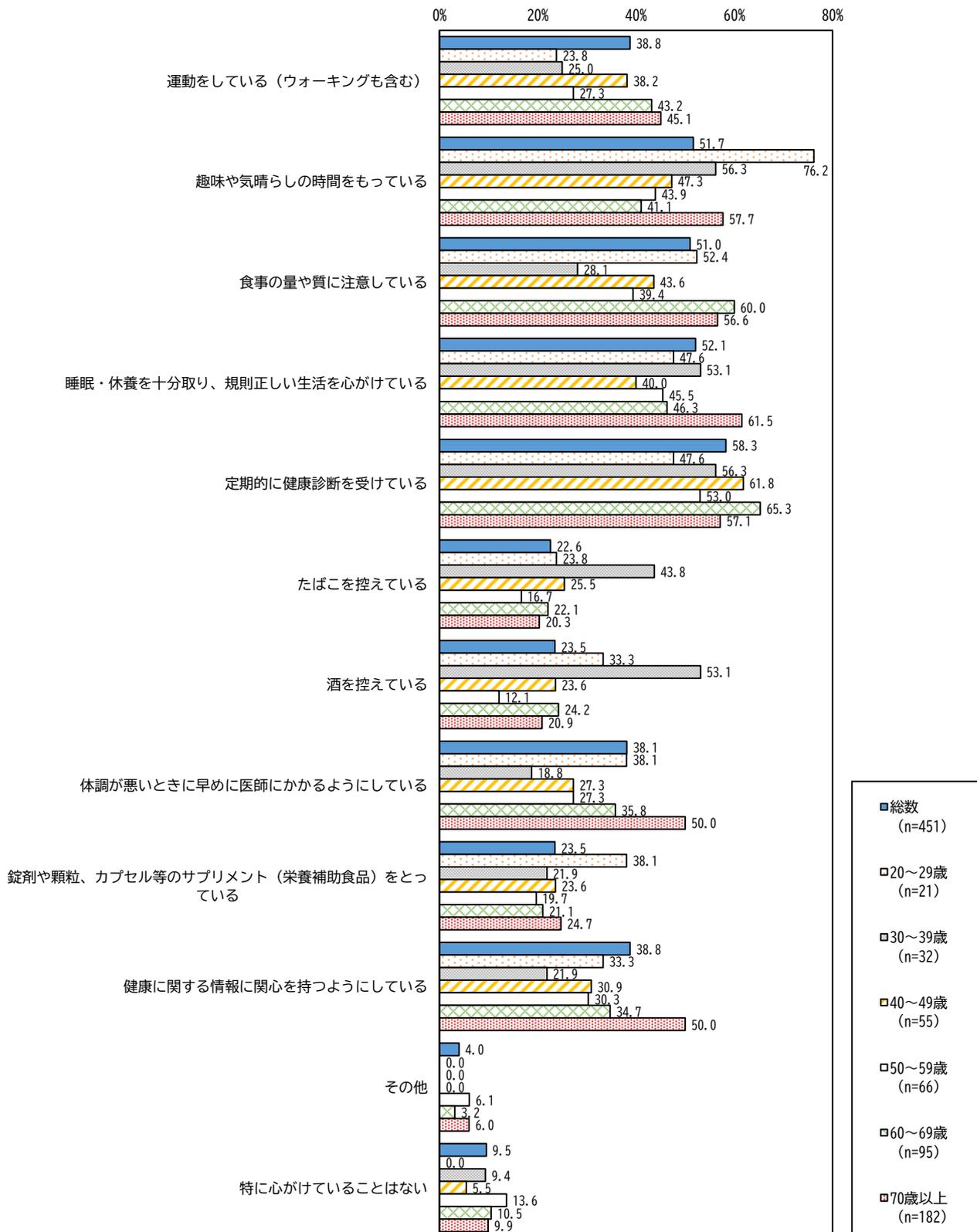
現在の健康状態（女性・年齢階級別）



健康づくりのために実行していること（男性・年齢階級別）



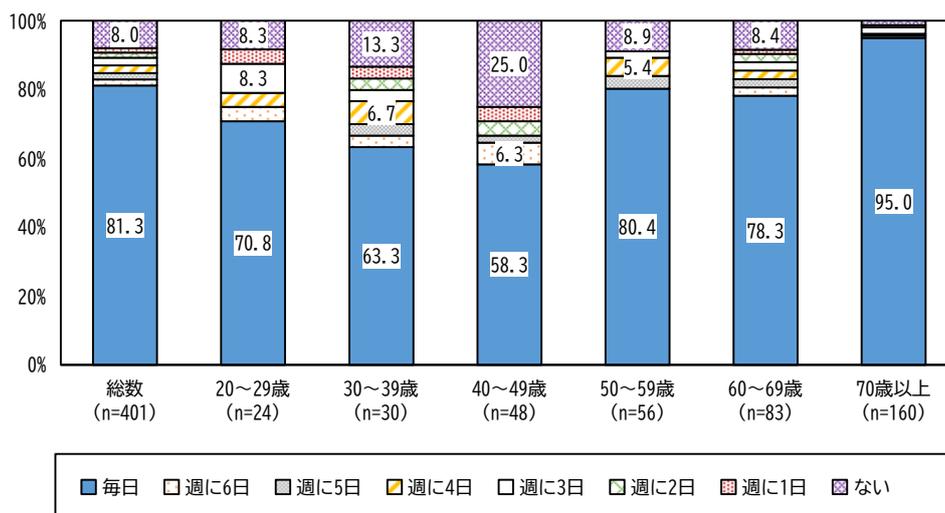
健康づくりのために実行していること（女性・年齢階級別）



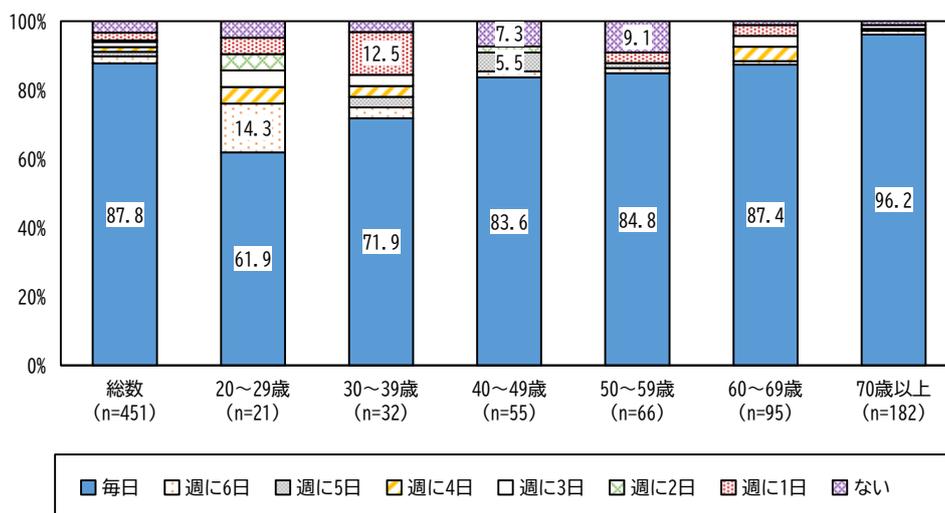
2 朝食の摂取状況

- 朝食を「毎日」食べる人の割合は、男性で81.3%、女性で87.8%であった。
- 一方、朝食を食べない人の割合は、男性で8.0%、女性で3.3%であった。特に、男性の40代（25.0%）で高くなっている。

朝食の摂取状況（男性・年齢階級別）



朝食の摂取状況（女性・年齢階級別）

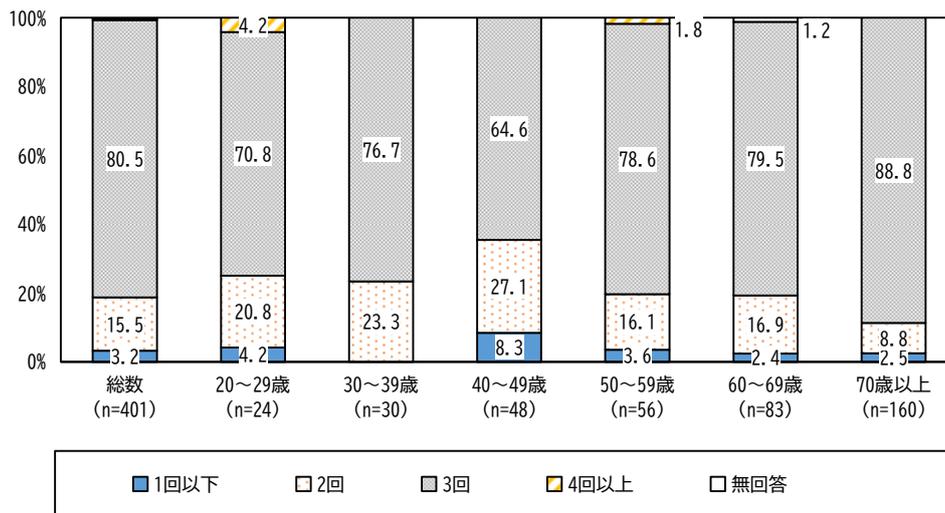


※5.0%未満のラベル非表示

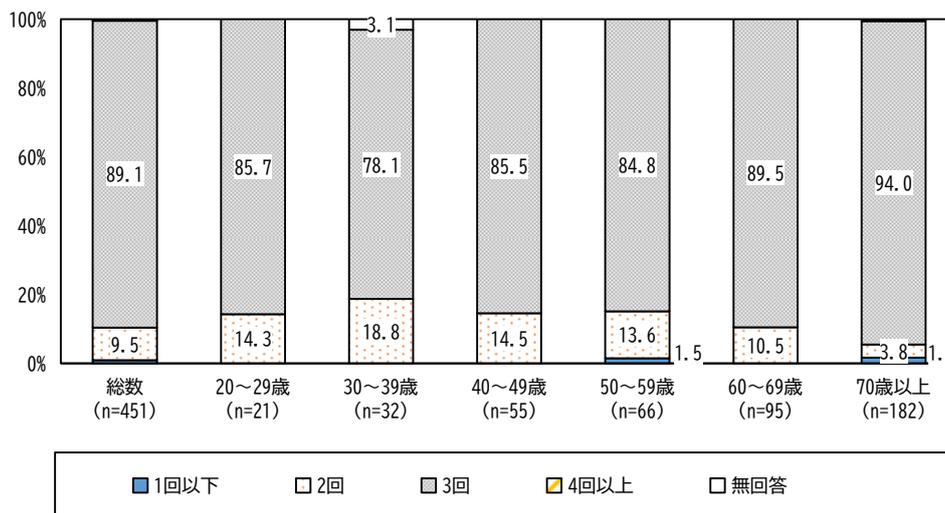
3 1日の食事の回数

- 1日の食事の回数は、男性（80.5%）、女性（89.1%）ともに「3回」の割合が最も高くなっている。
- 1日の食事の回数が3回未満の割合は、男性の40代（35.4%）で高くなっている。

1日の食事の回数（男性・年齢階級別）



1日の食事の回数（女性・年齢階級別）

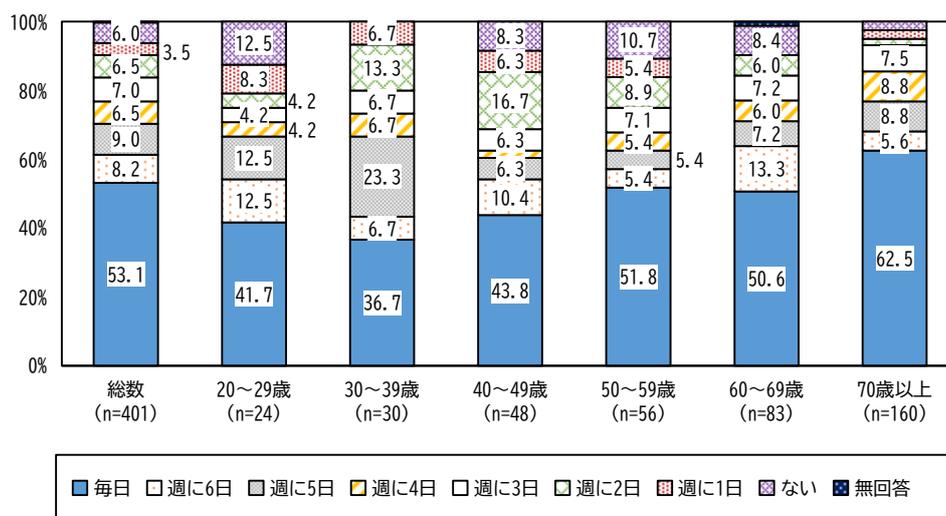


※1.0%未満のラベル非表示

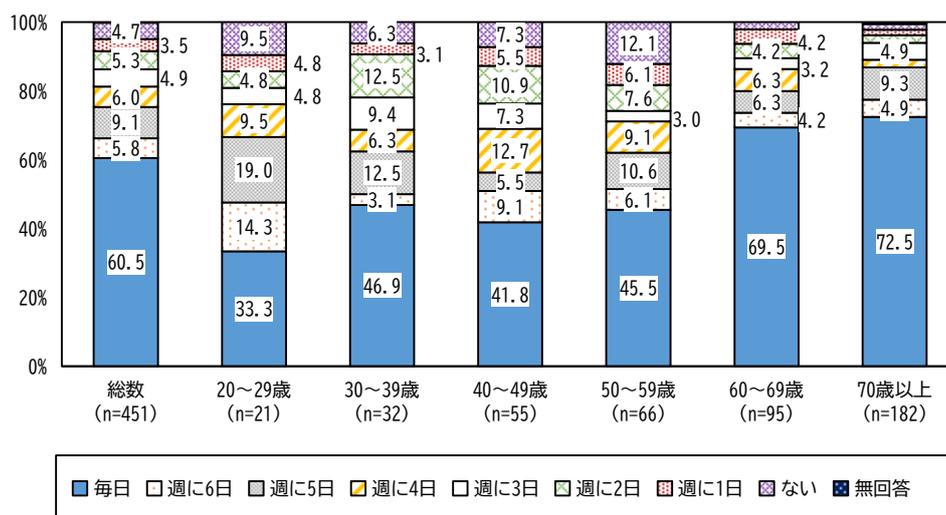
4 食生活の状況

- 主食・主菜・副菜のそろった食事を1日に2回以上「毎日」とる人の割合は、男性で53.1%、女性で60.5%となっている。
- 持ち帰りの弁当や総菜を週1回以上利用している割合は、男性では30代（60.0%）、女性では50代（65.1%）で最も高くなっている。

1日に2回以上、主食・主菜・副菜のそろった食事をとる頻度（男性・年齢階級別）

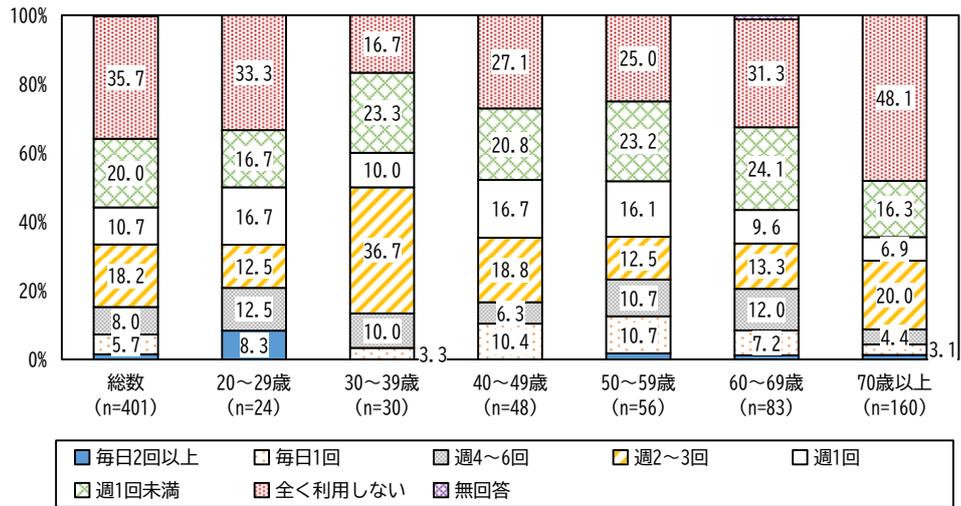


1日に2回以上、主食・主菜・副菜のそろった食事をとる頻度（女性・年齢階級別）

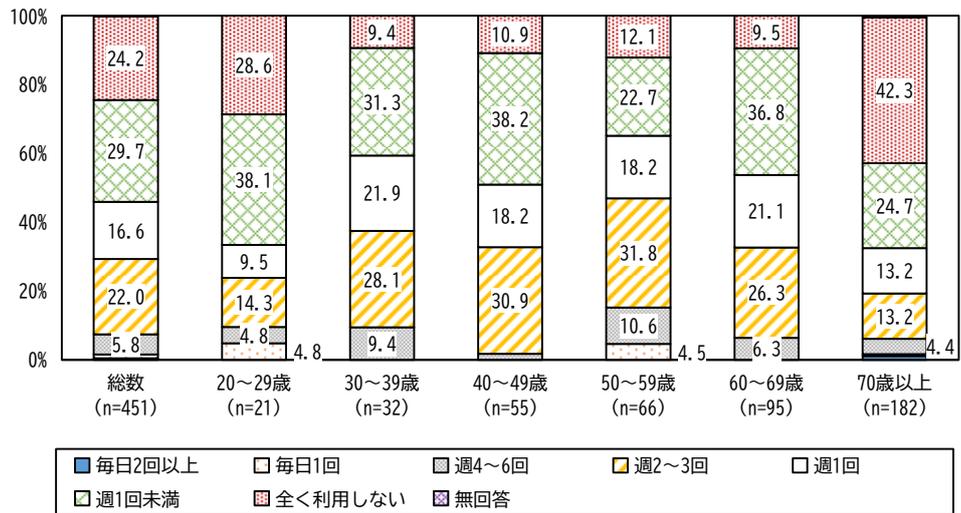


※3.0%未満のラベル非表示

持ち帰りの弁当や総菜の利用頻度（男性・年齢階級別）



持ち帰りの弁当や総菜の利用頻度（女性・年齢階級別）

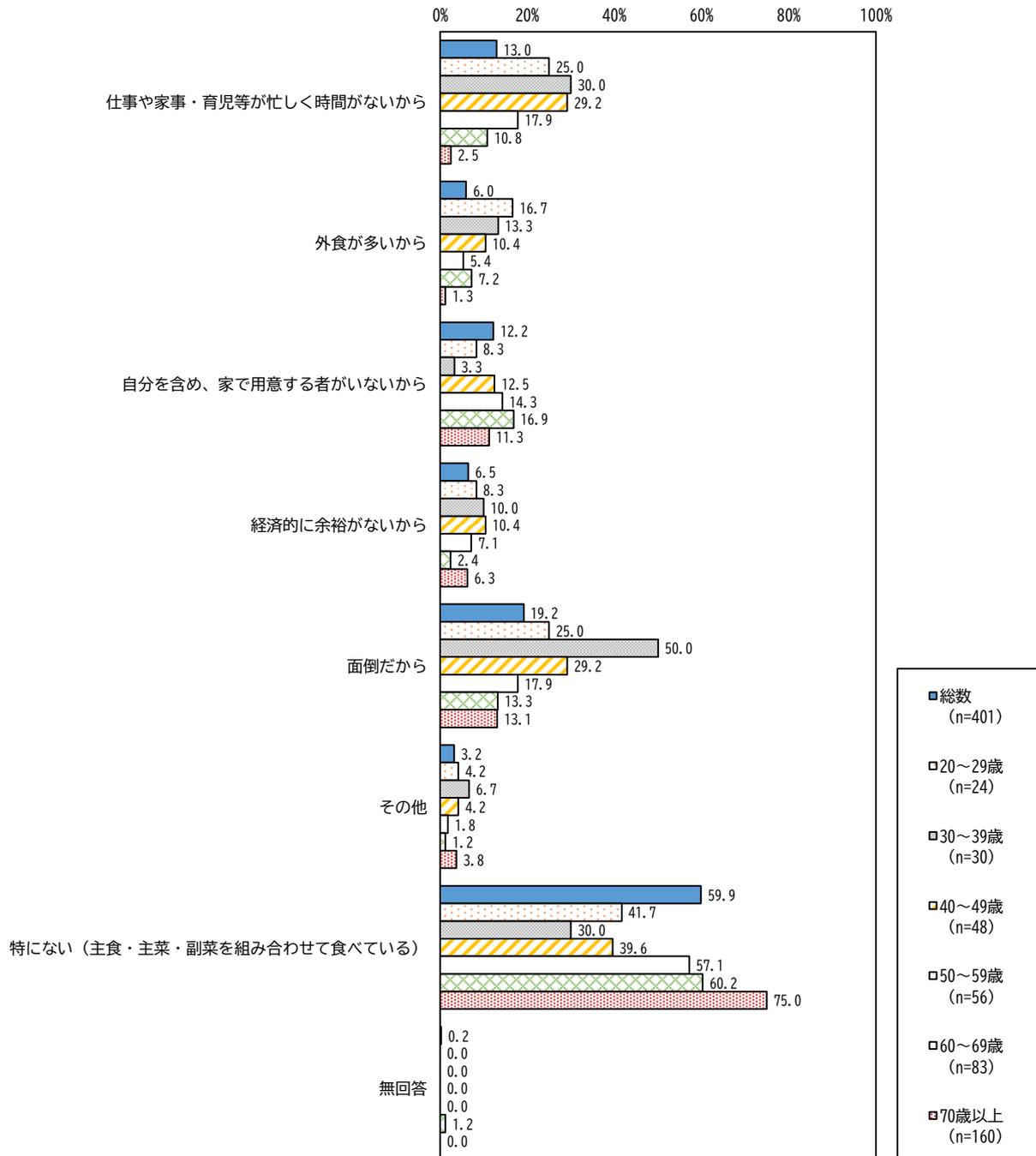


※3.0%未満のラベル非表示

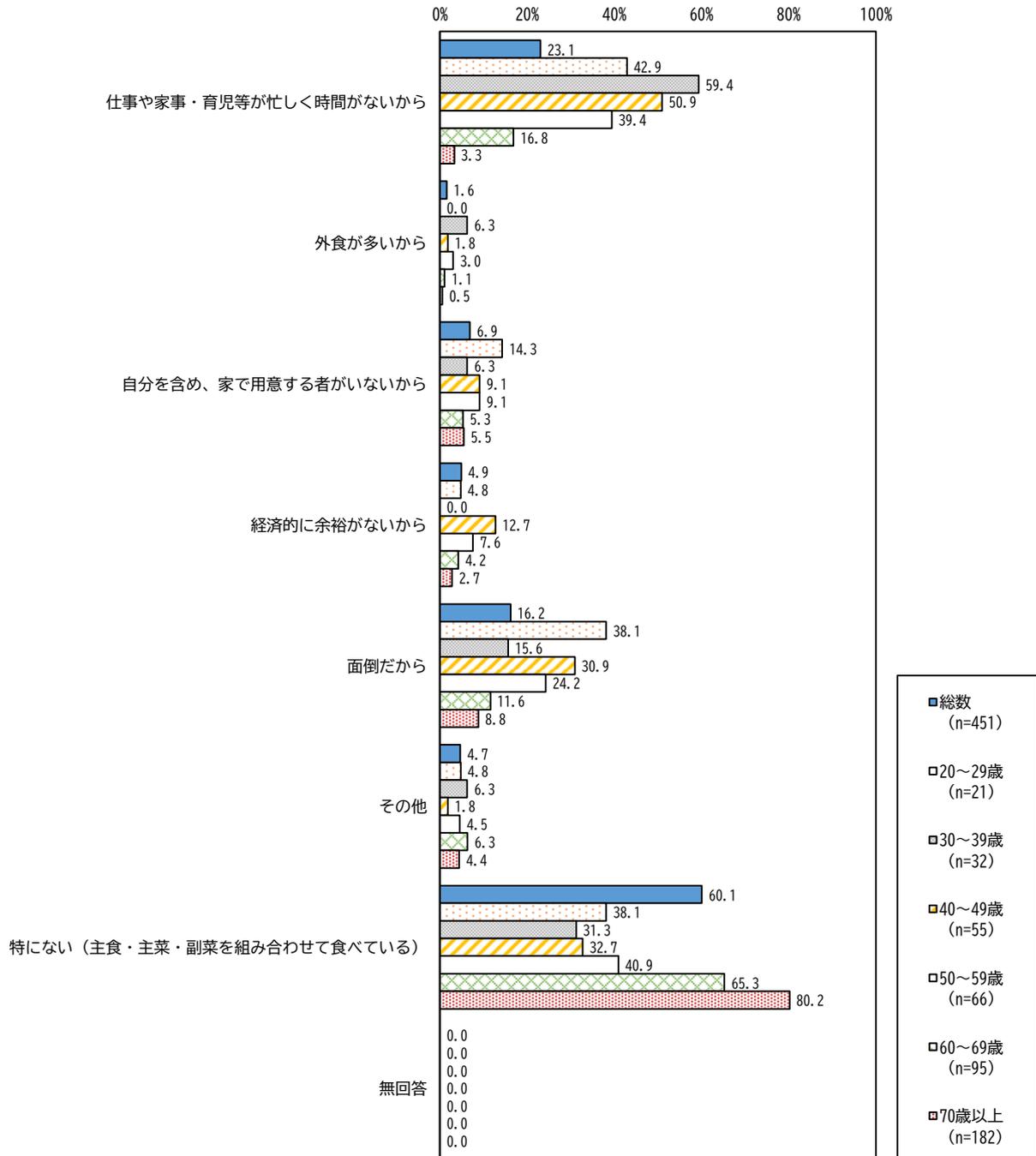
5 健康な食習慣の妨げとなっていること

- 主食・主菜・副菜を組み合わせる食べ方が難しい理由は、「特になし」以外では、男性で「面倒だから」(19.2%)、女性で「仕事や家事・育児等が忙しく時間がないから」(23.1%)の割合が最も高くなっている。
- 野菜を十分に食べることが難しい理由は、「特になし」以外では、男性で「面倒だから」(13.2%)、女性で「野菜(惣菜など)が売っていても高価だから」(13.3%)の割合が最も高くなっている。
- 果物を食べることが難しい理由は、「特になし」以外では、男性で「面倒だから」(18.7%)、女性で「経済的に余裕がないから」(13.5%)の割合が最も高くなっている。
- 食塩の摂取を抑えるのが難しい理由は、「特になし」以外では、男性で「濃い味付けが好きだから」(18.2%)、女性で「現在、健康上の問題がないから」(17.1%)の割合が最も高くなっている。

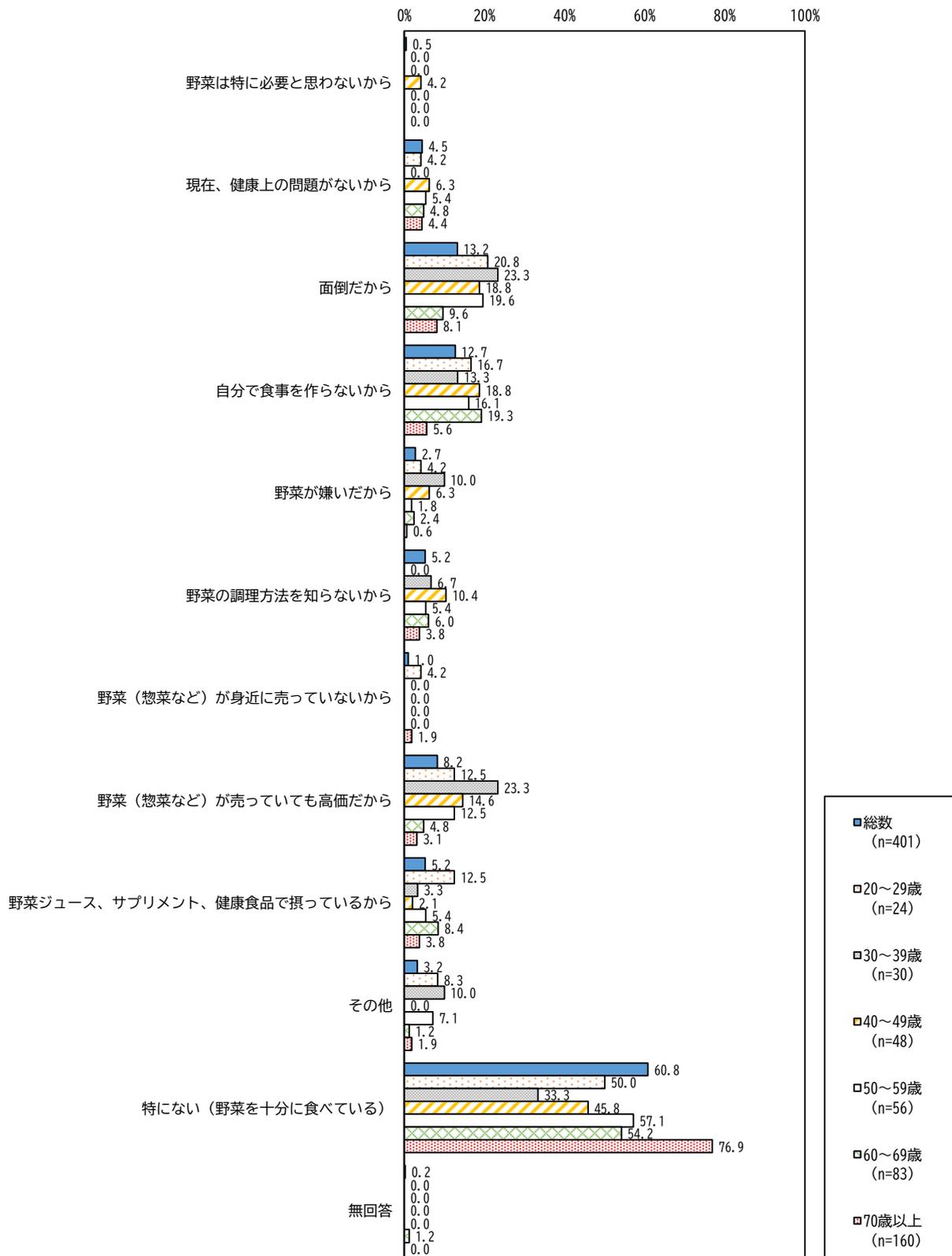
主食・主菜・副菜を組み合わせるの難しい理由（男性・年齢階級別）



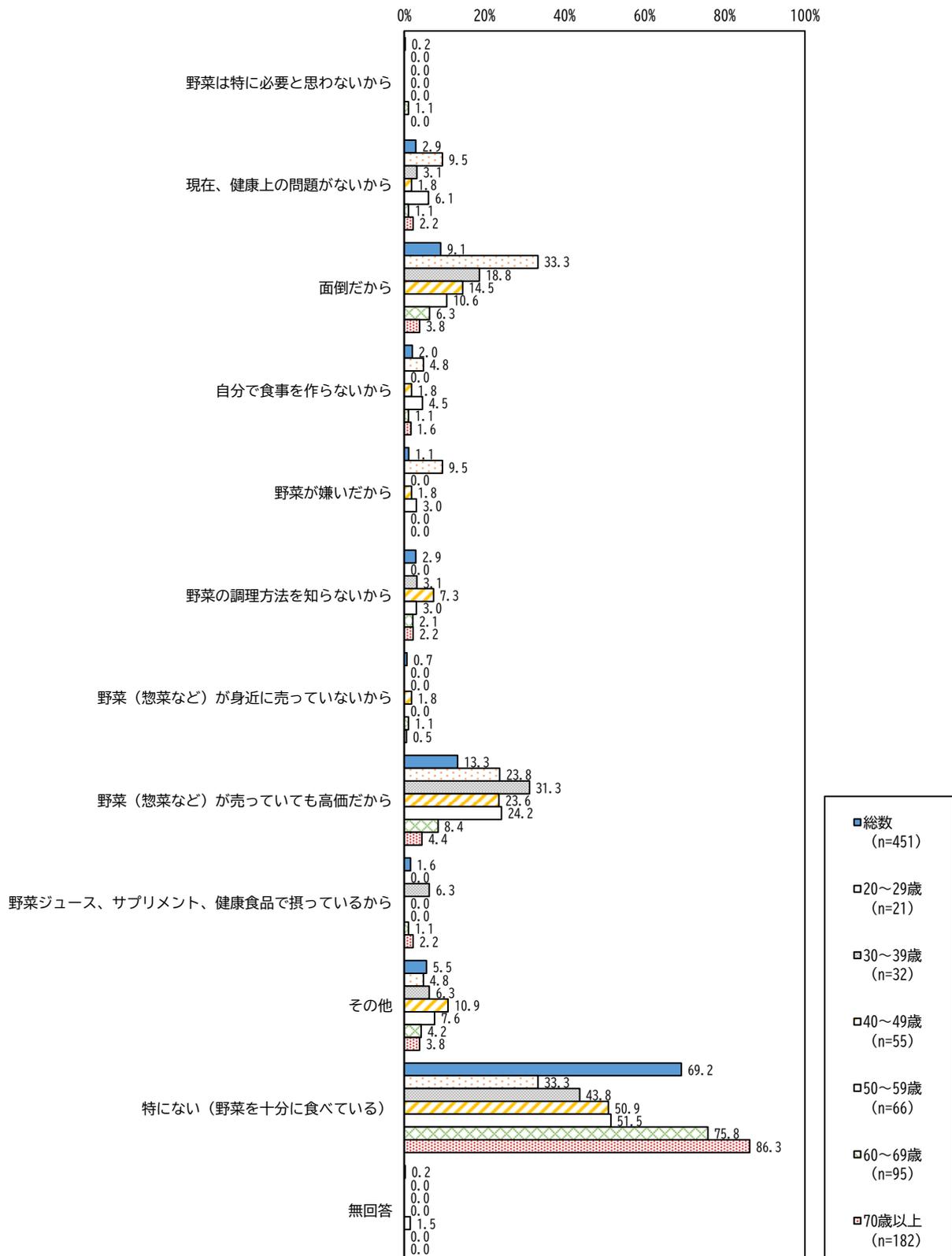
主食・主菜・副菜を組み合わせて食べるのが難しい理由（女性・年齢階級別）



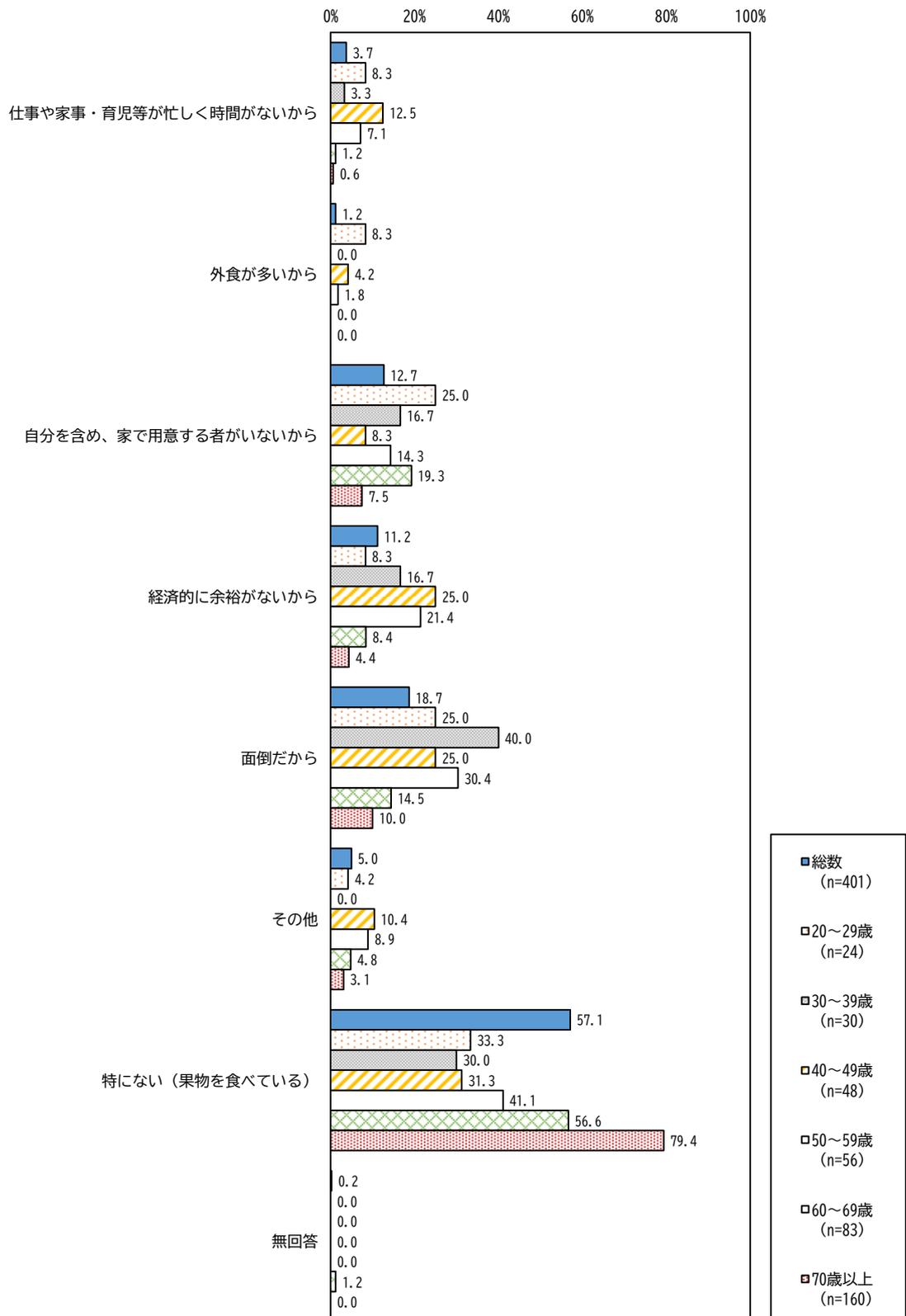
野菜を十分に食べることが難しい理由（男性・年齢階級別）



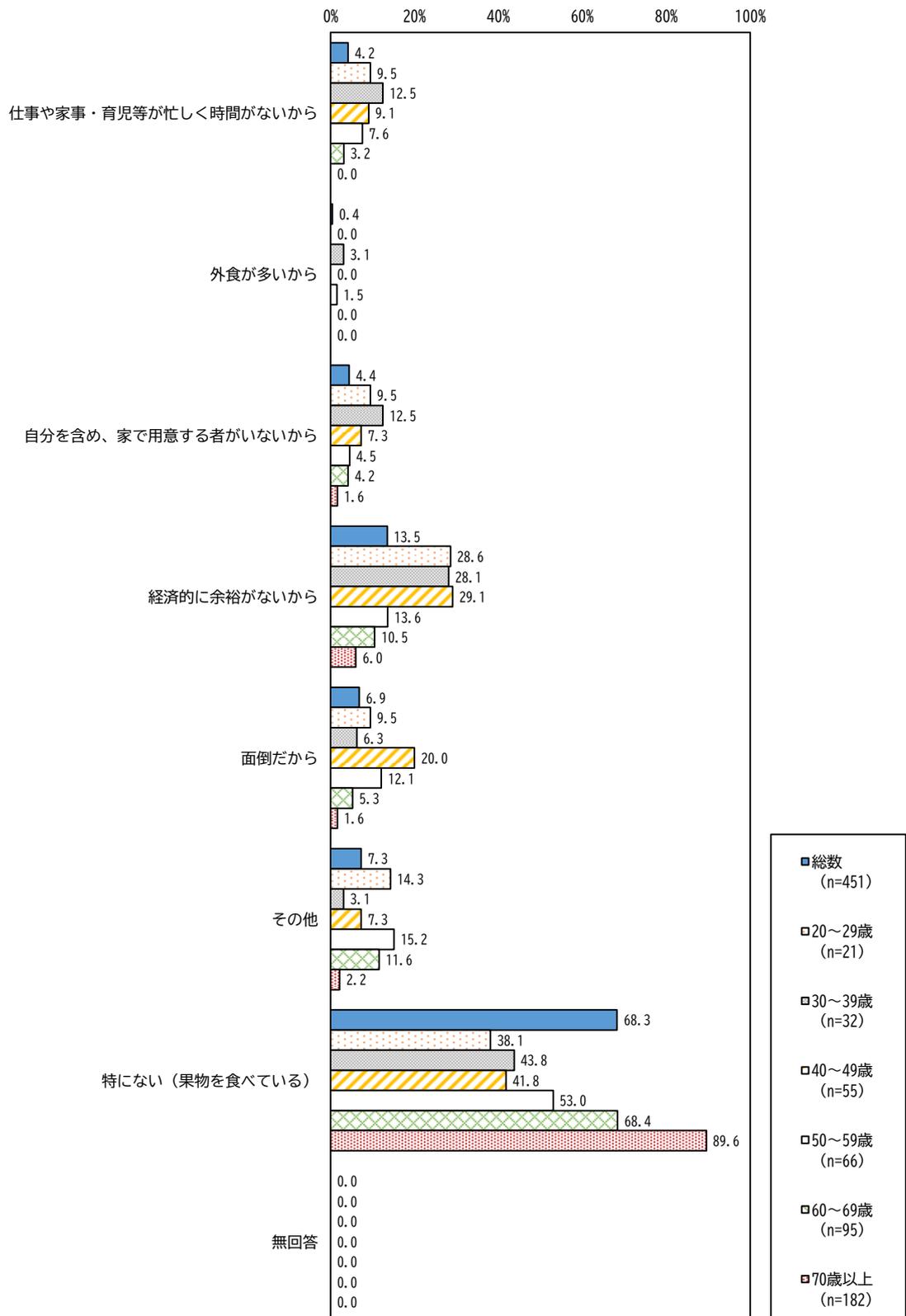
野菜を十分に食べることが難しい理由（女性・年齢階級別）



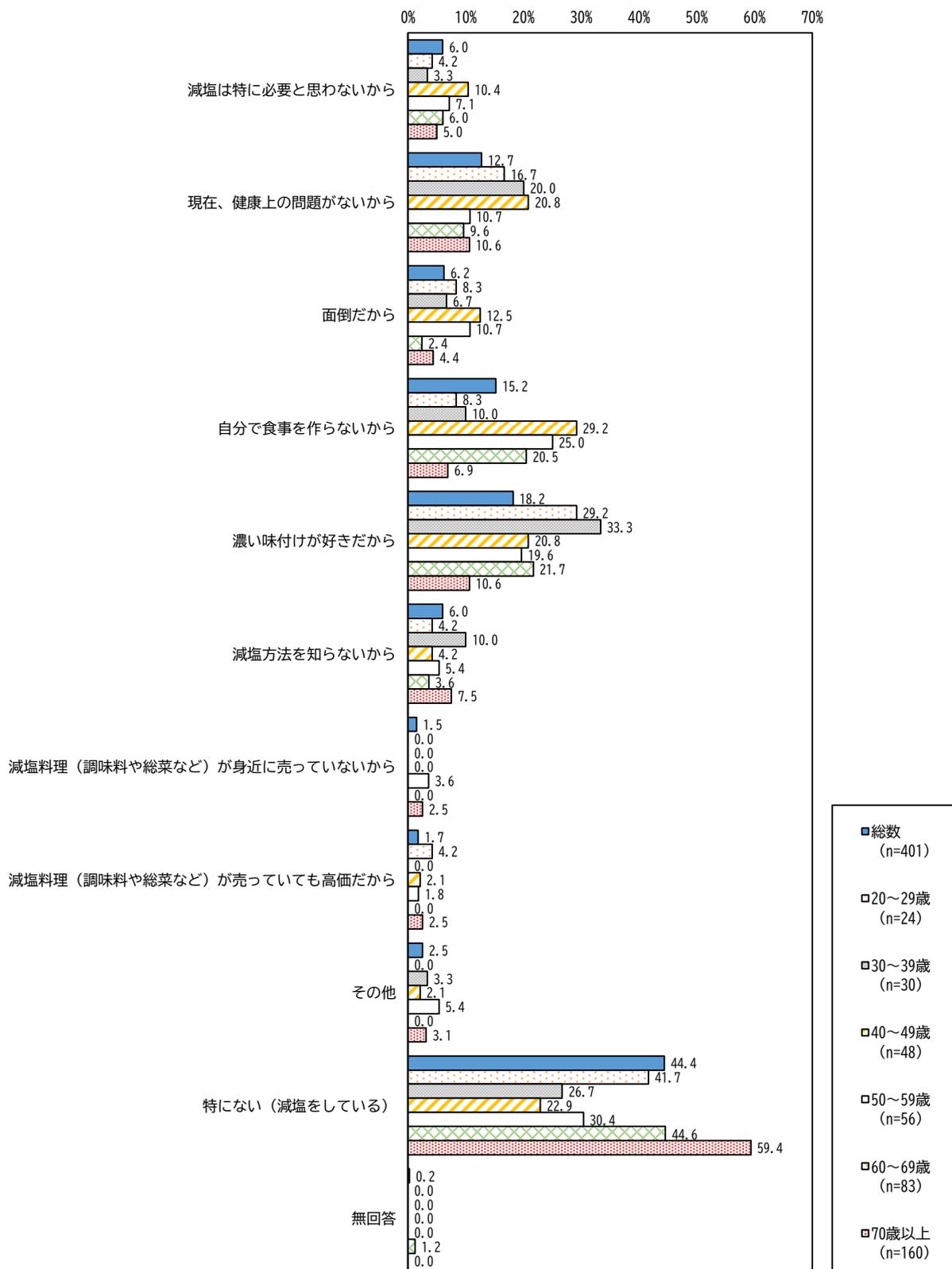
果物を食べることが難しい理由（男性・年齢階級別）



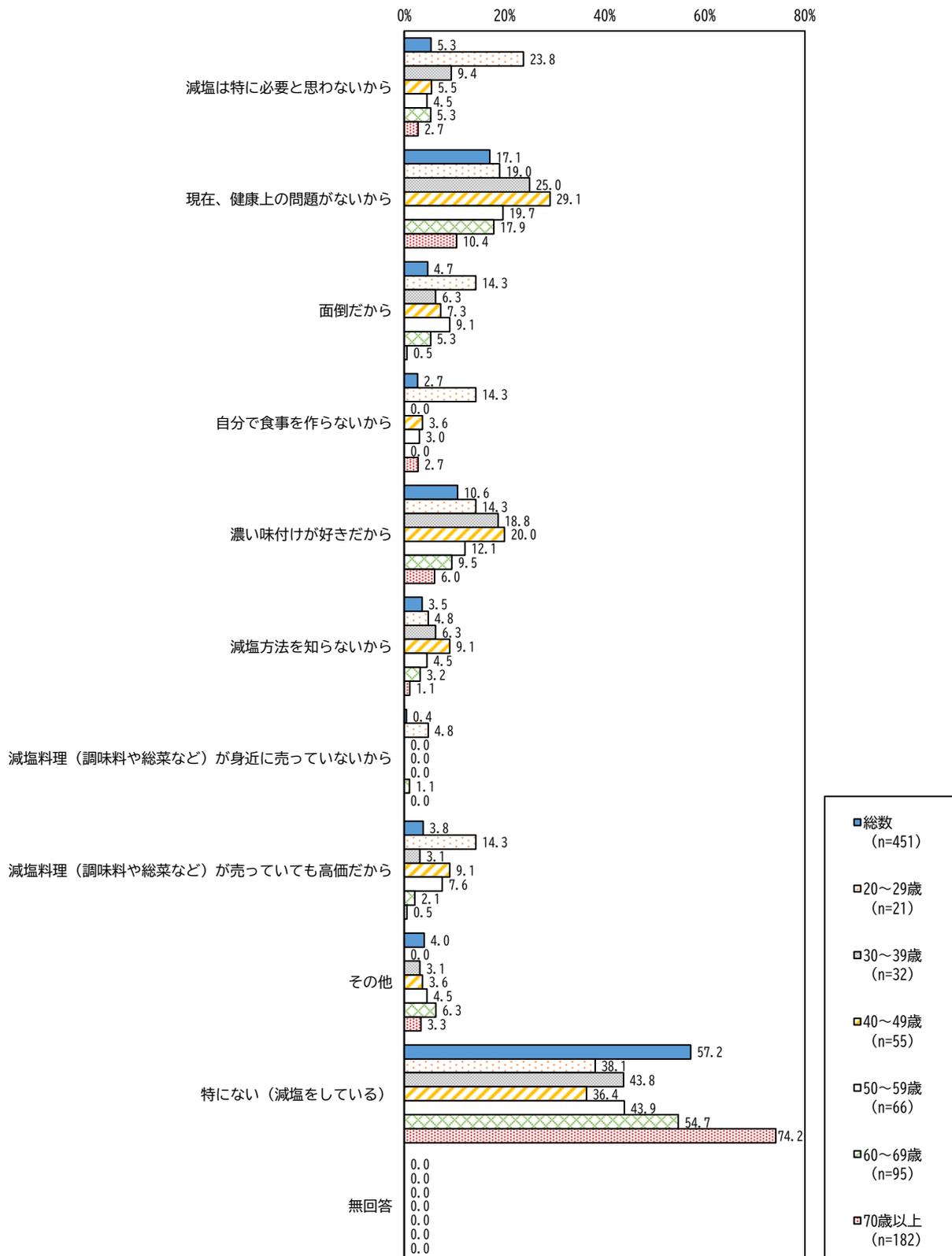
果物を食べることが難しい理由（女性・年齢階級別）



食塩の摂取を控えるのが難しい理由（男性・年齢階級別）



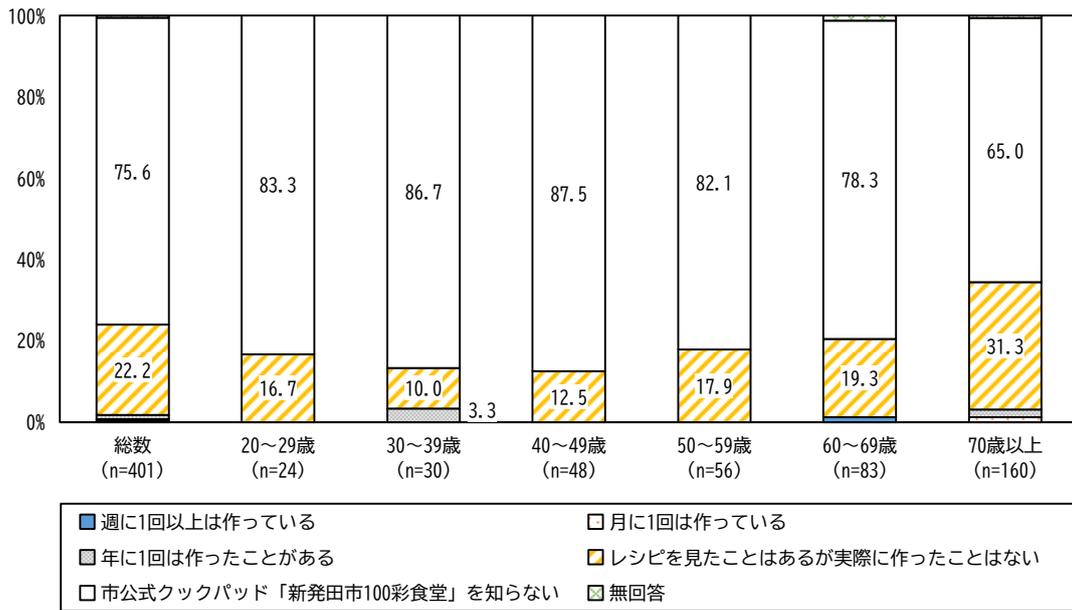
食塩の摂取を控えるのが難しい理由（女性・年齢階級別）



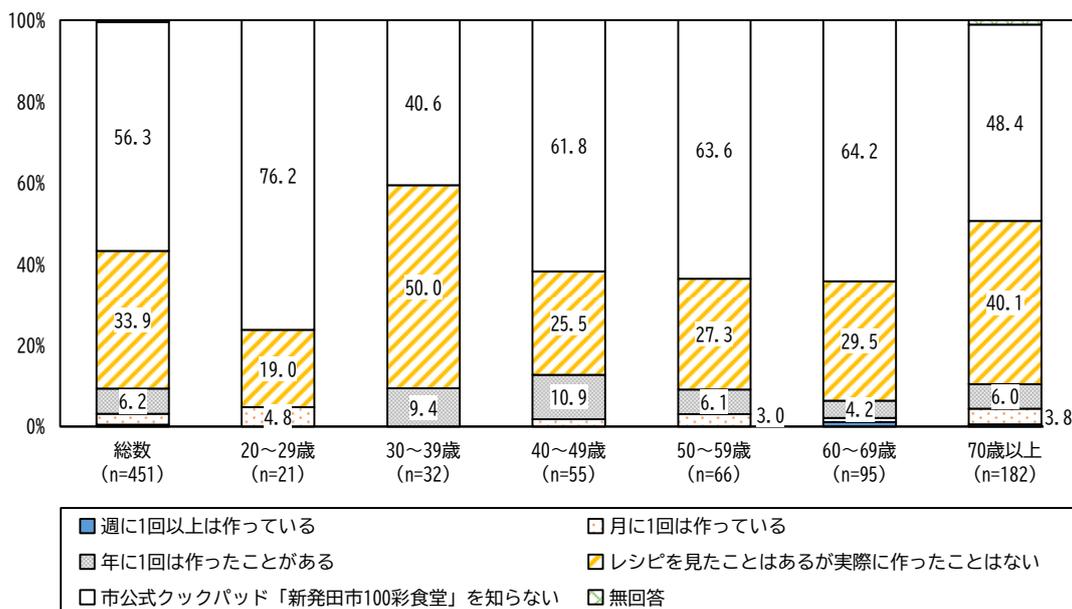
6 市公式クックパッド「新発田市 100 彩食堂」について

- 市公式クックパッド「新発田市 100 彩食堂」に掲載されているレシピの料理を年1回以上作ったことがある割合は、男性で1.7%、女性で9.3%と低くなっている。
- 市公式クックパッド「新発田市 100 彩食堂」を知らない人が男性（75.6%）、女性（56.3%）ともに半数以上となっている。

「新発田市100彩食堂」のレシピの料理を作ったことがあるか（男性・年齢階級別）



「新発田市100彩食堂」のレシピの料理を作ったことがあるか（女性・年齢階級別）

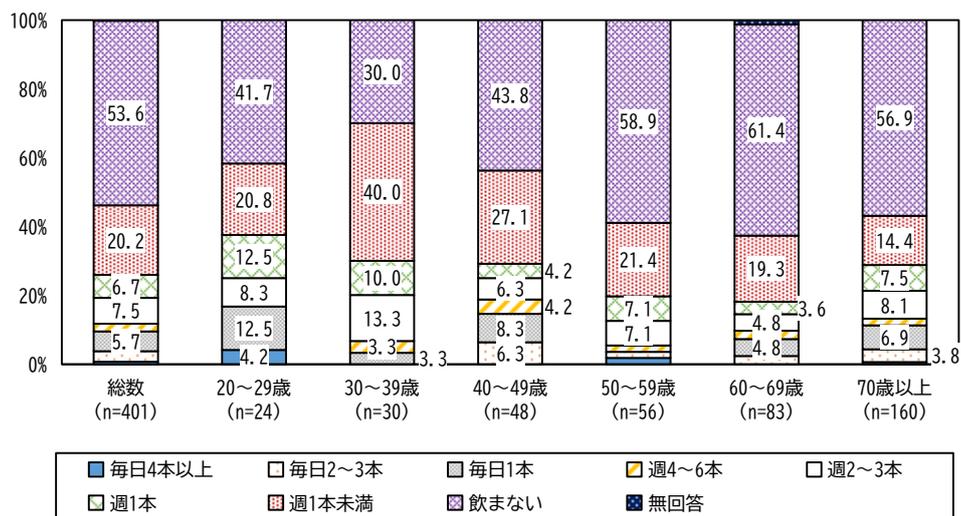


※3.0%未満のラベル非表示

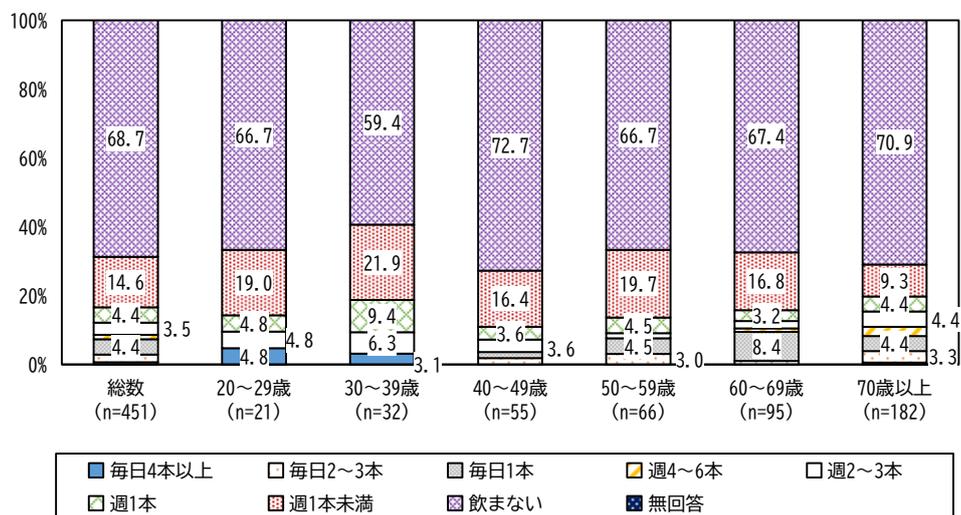
7 栄養ドリンクやエナジードリンクを飲む頻度

○ 週に1本以上糖質やカフェインを含む栄養ドリンクやエナジードリンクを飲む割合は、男性で25.8%、女性で16.5%となっている。

糖質やカフェインを含む栄養ドリンクやエナジードリンクを飲む頻度（男性・年齢階級別）



糖質やカフェインを含む栄養ドリンクやエナジードリンクを飲む頻度（女性・年齢階級別）

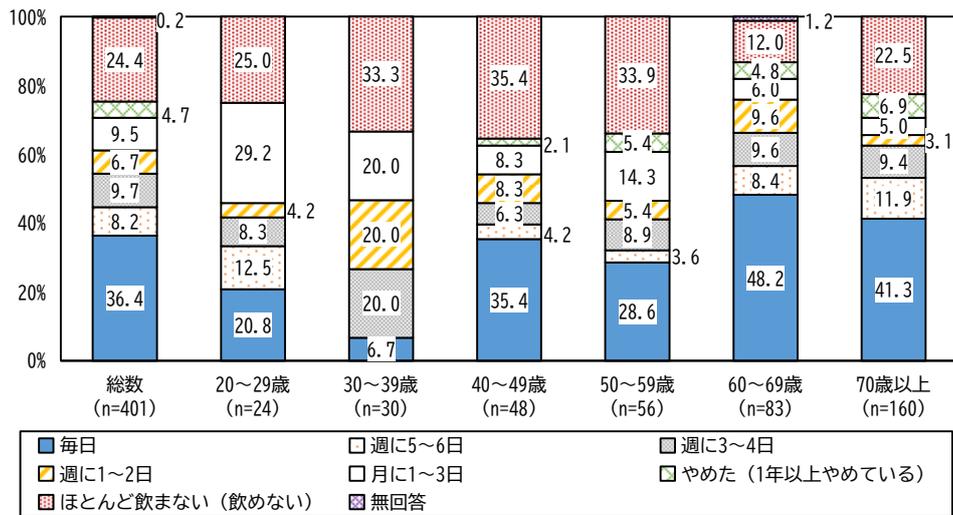


※3.0%未満のラベル非表示

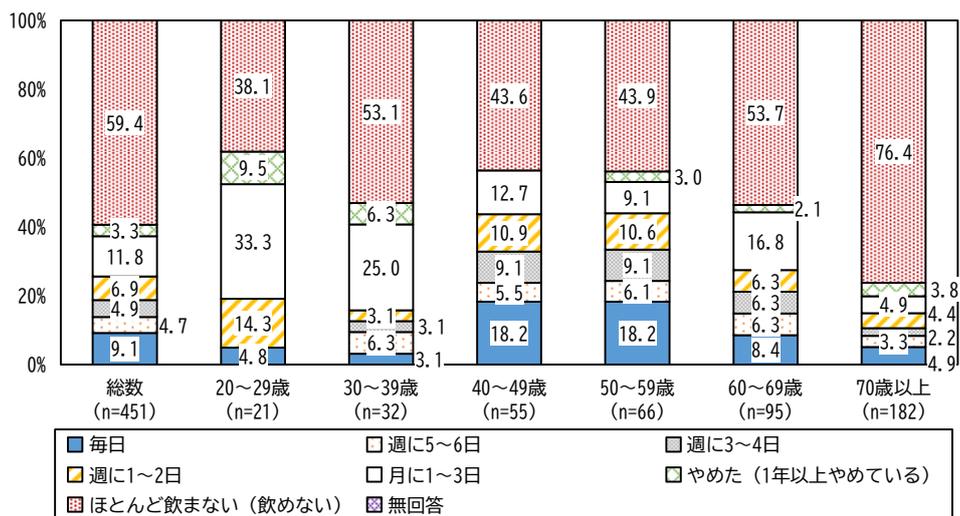
8 飲酒の状況

- 週3日以上お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む割合は、男性で54.3%、女性で18.7%となっている。
- 1日にお酒を飲む量は、男性では「1合以上2合（360ml）未満」（35.3%）、女性では「1合（180ml）未満」（50.6%）の割合が高くなっている。

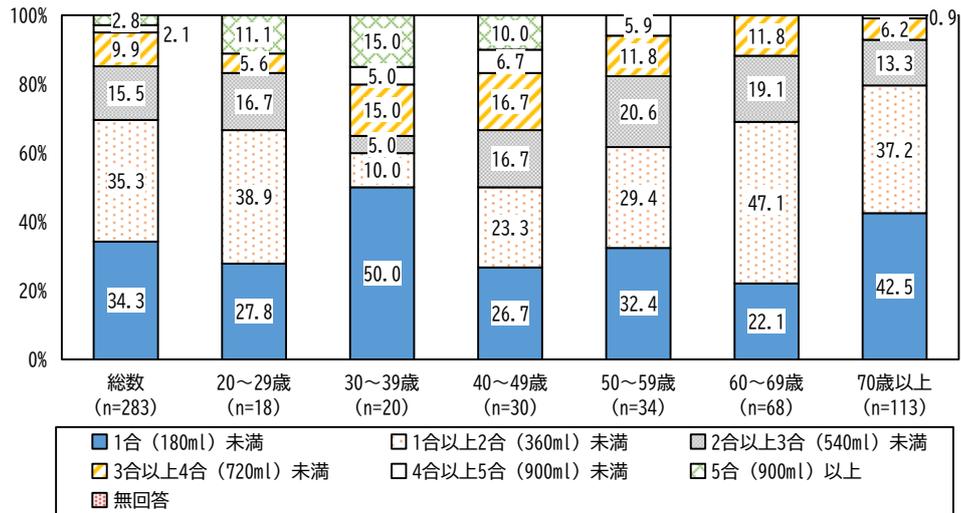
お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度（男性・年齢階級別）



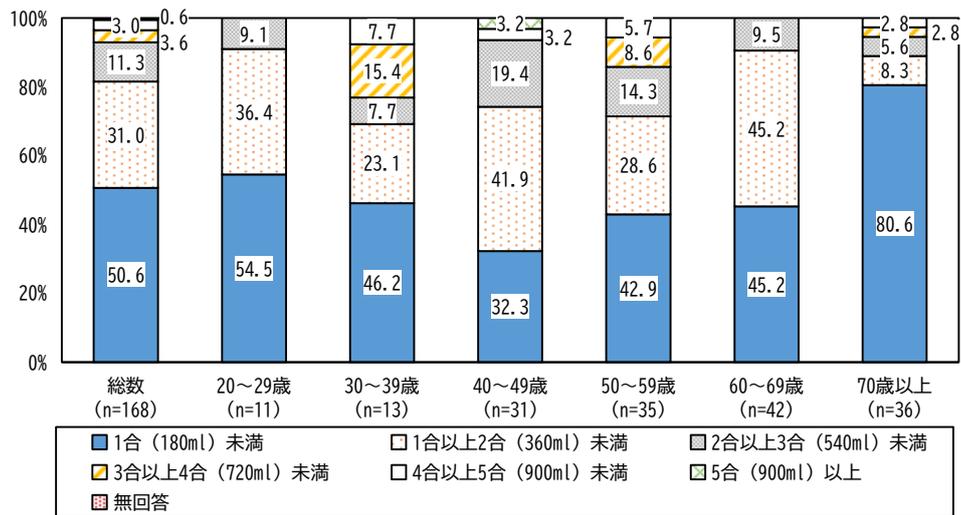
お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度（女性・年齢階級別）



1日にお酒を飲む量（男性・年齢階級別）



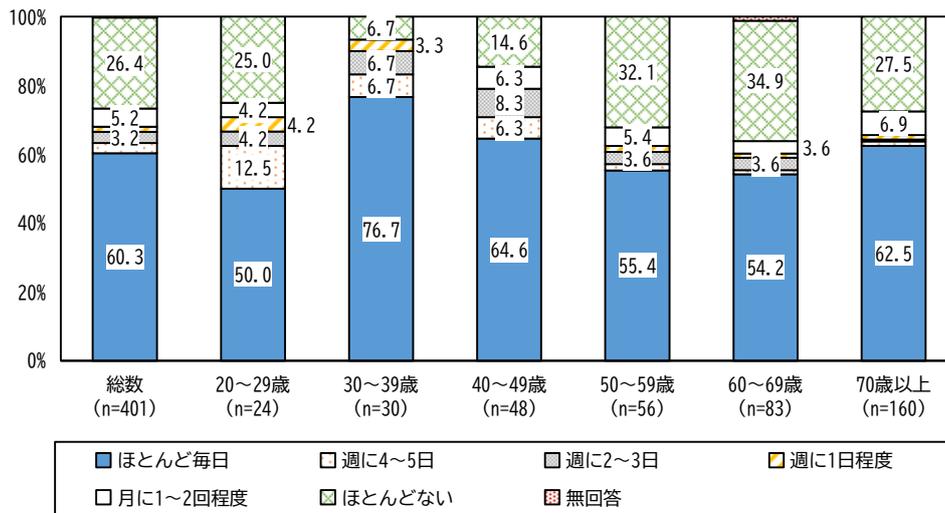
1日にお酒を飲む量（女性・年齢階級別）



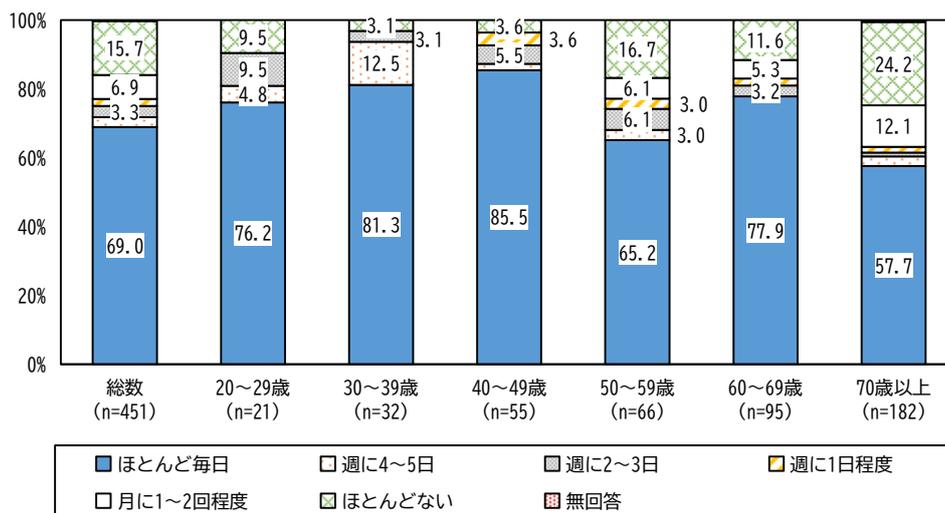
9 誰かと一緒に食事をする頻度（家庭や職場・学校）

- ほとんど毎日家族と一緒に食事をする人の割合は、男性で60.3%、女性で69.0%となっている。
- ほとんど毎日職場・学校の人と一緒に食事をする人の割合は、男性で8.2%、女性で12.9%となっている。

家族と一緒に食事をする頻度（男性・年齢階級別）

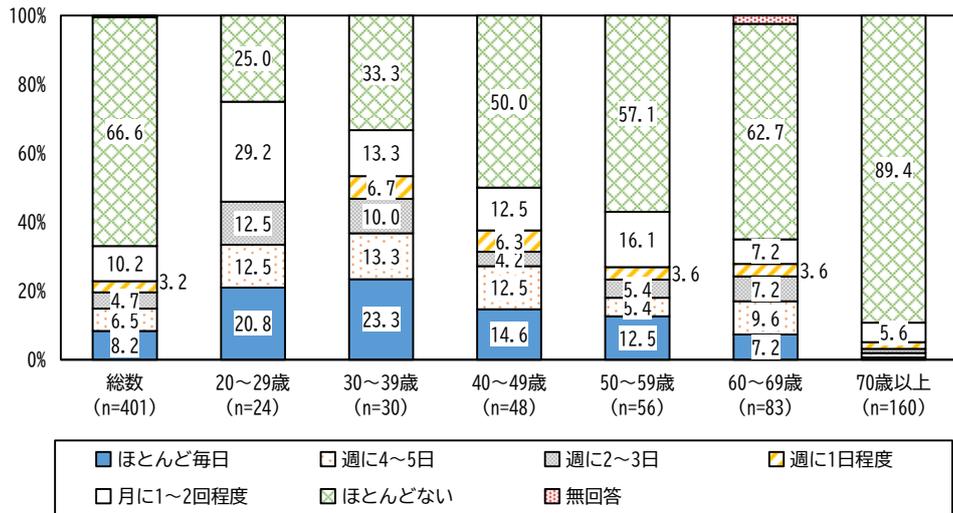


家族と一緒に食事をする頻度（女性・年齢階級別）

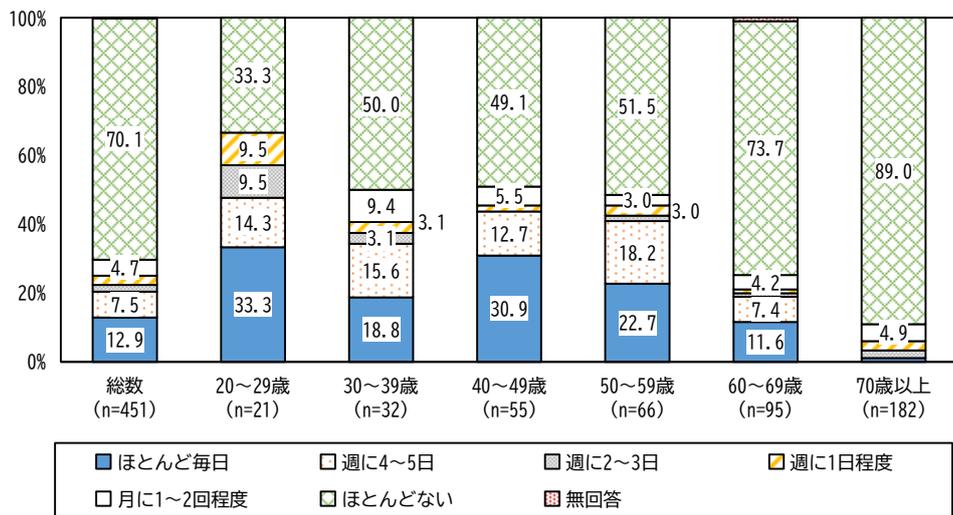


※3.0%未満のラベル非表示

職場・学校の人と一緒に食事をする頻度（男性・年齢階級別）



職場・学校の人と一緒に食事をする頻度（女性・年齢階級別）

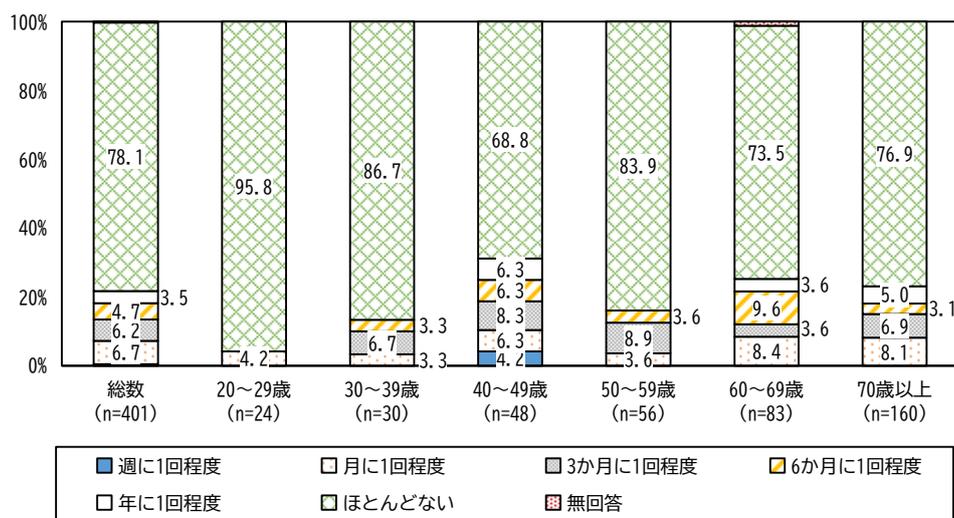


※3.0%未満のラベル非表示

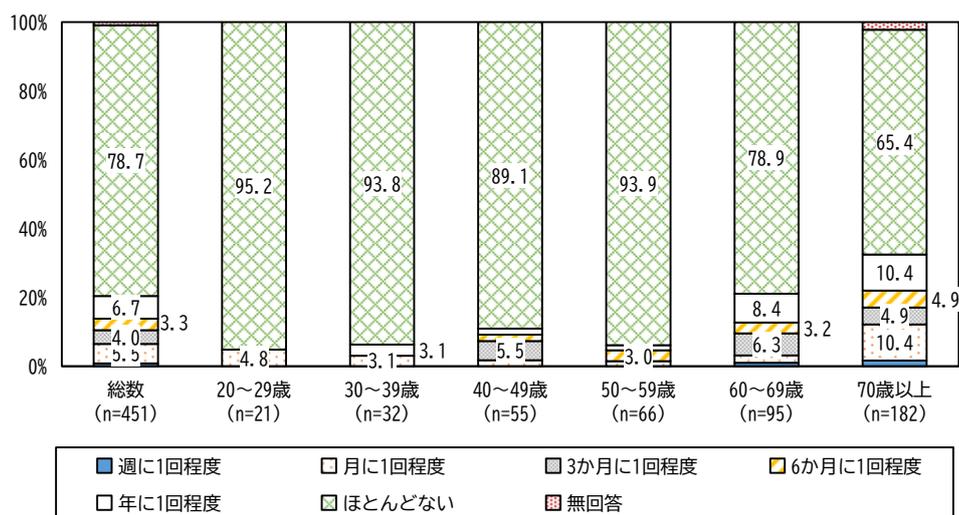
10 誰かと一緒に食事をする頻度（お住まいの地域）

- 月1回以上地域の人と一緒に食事をする人の割合は、男性で7.2%、女性で6.4%となっている。
- 月1回以上友人・知人と一緒に食事をする人の割合は、男性で23.7%、女性で28.1%となっている。

地域の人と一緒に食事をする頻度（男性・年齢階級別）

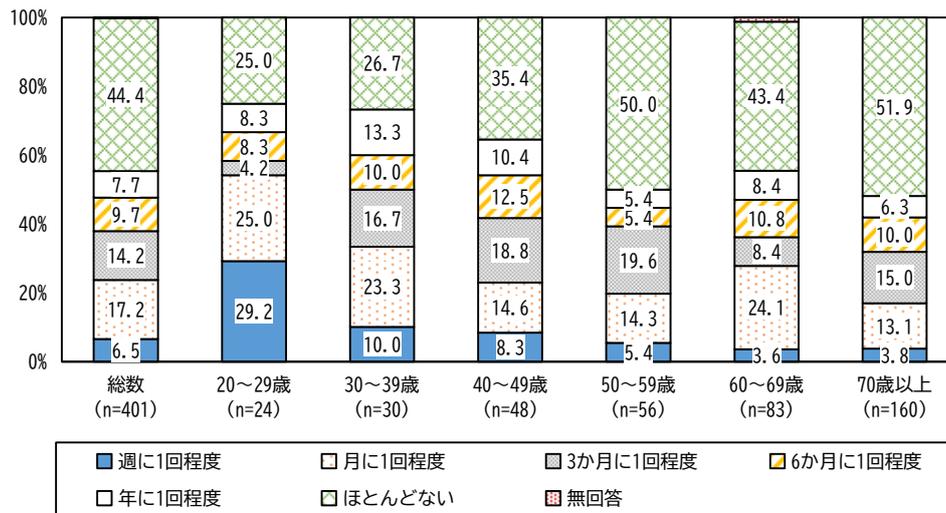


地域の人と一緒に食事をする頻度（女性・年齢階級別）

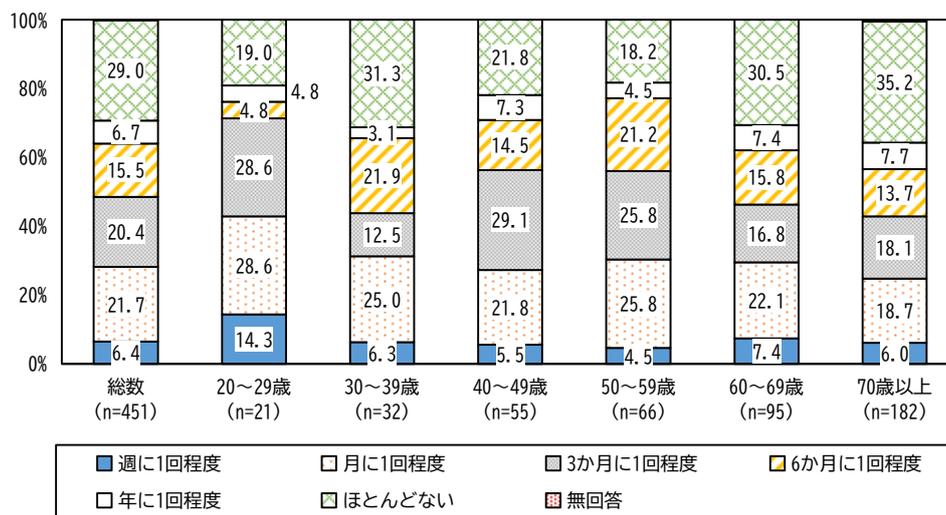


※3.0%未満のラベル非表示

友人・知人と一緒に食事をする頻度（男性・年齢階級別）



友人・知人と一緒に食事をする頻度（女性・年齢階級別）

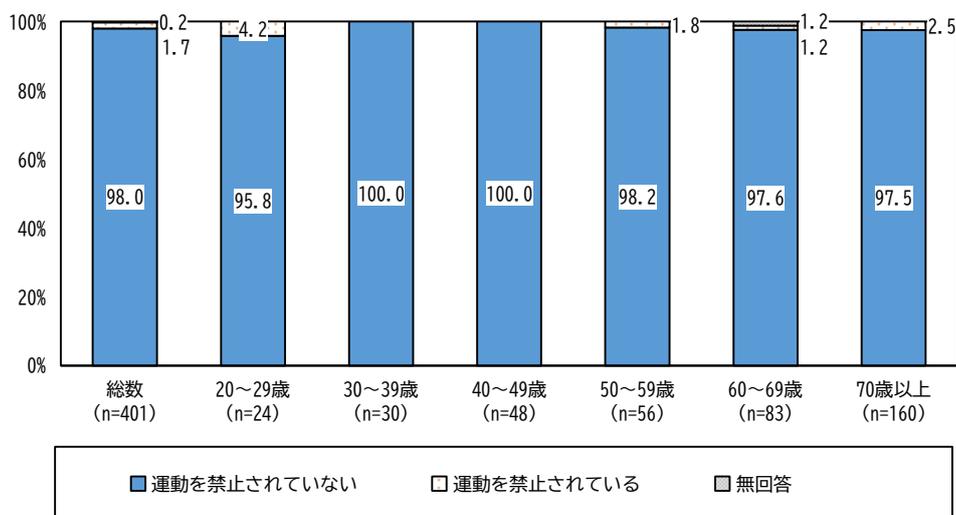


※3.0%未満のラベル非表示

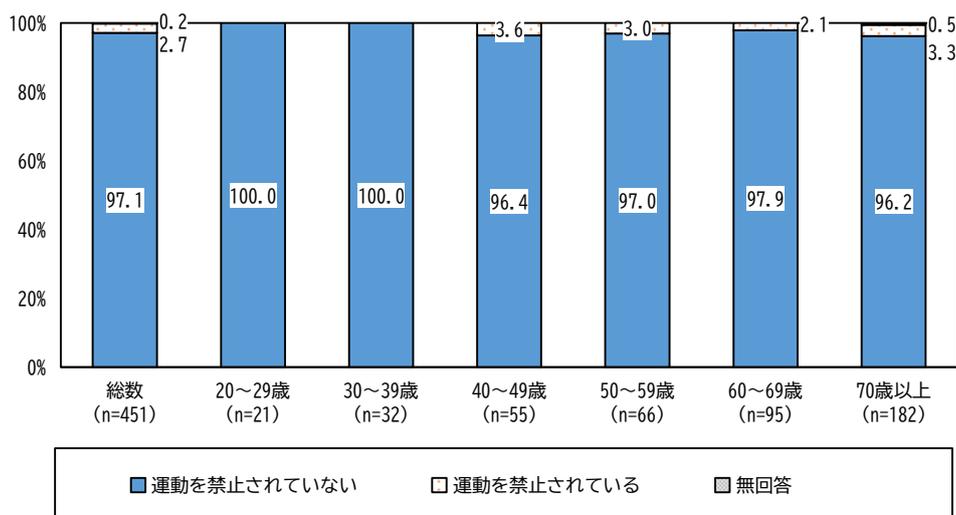
11 運動の状況

- 医師から運動を禁止されている人はほとんどいない。
- 1年以上運動を継続している人の割合は、男性で45.8%、女性で42.2%となっている。
- 「意識して体を動かしており、十分に習慣化している」「意識して体を動かしているが、まだ習慣化していない」「意識して体を動かそうと努力しているが、十分に実行できていない」の（合計）の割合は、男性で74.3%、女性では80.3%となっている。

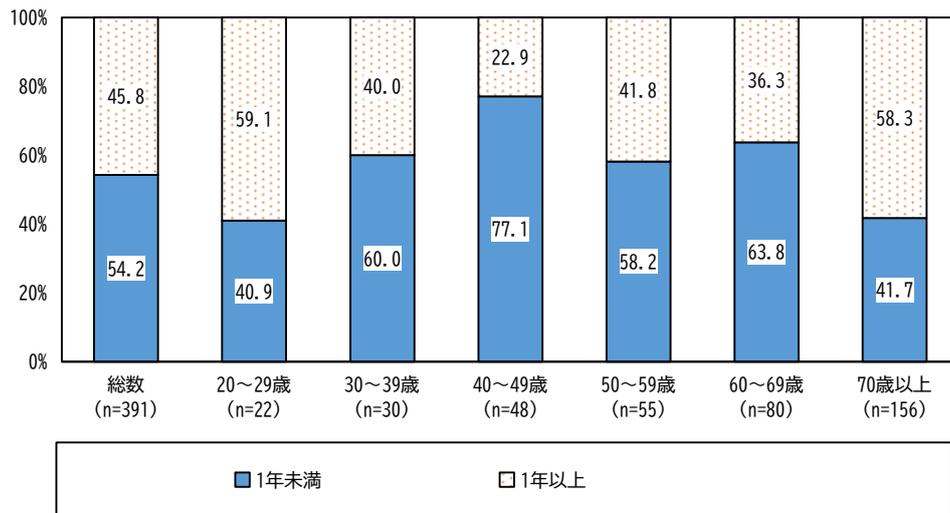
医師等から運動を禁止されているか（男性・年齢階級別）



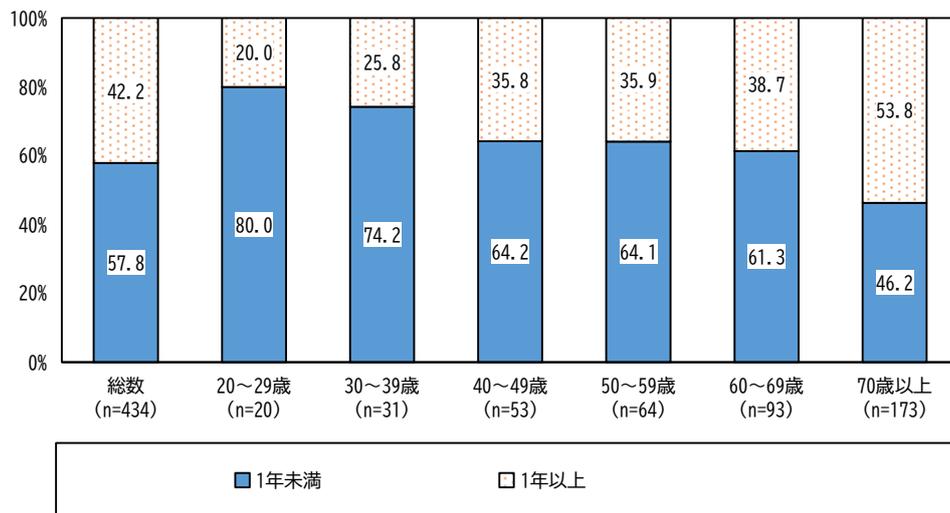
医師等から運動を禁止されているか（女性・年齢階級別）



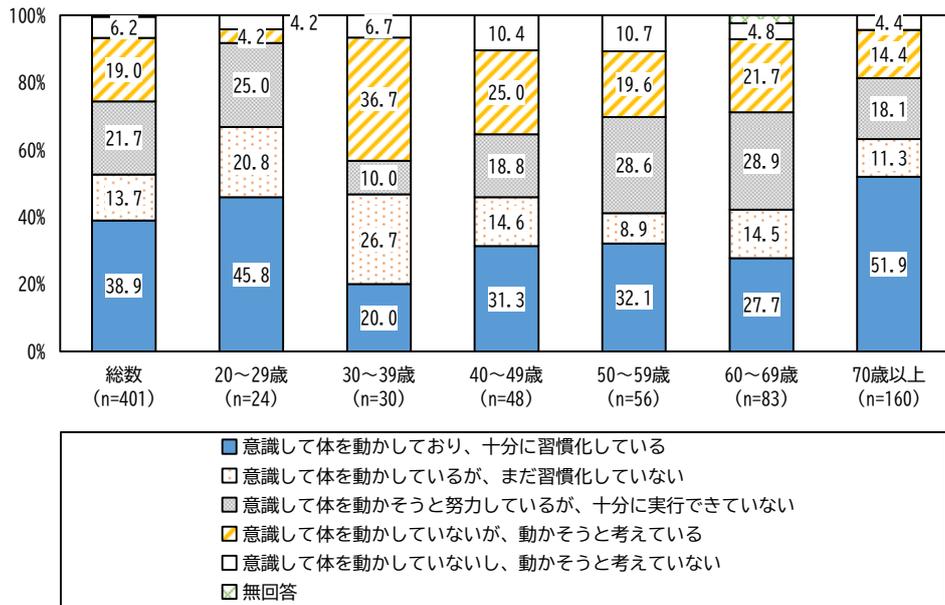
運動の継続年数（男性・年齢階級別）



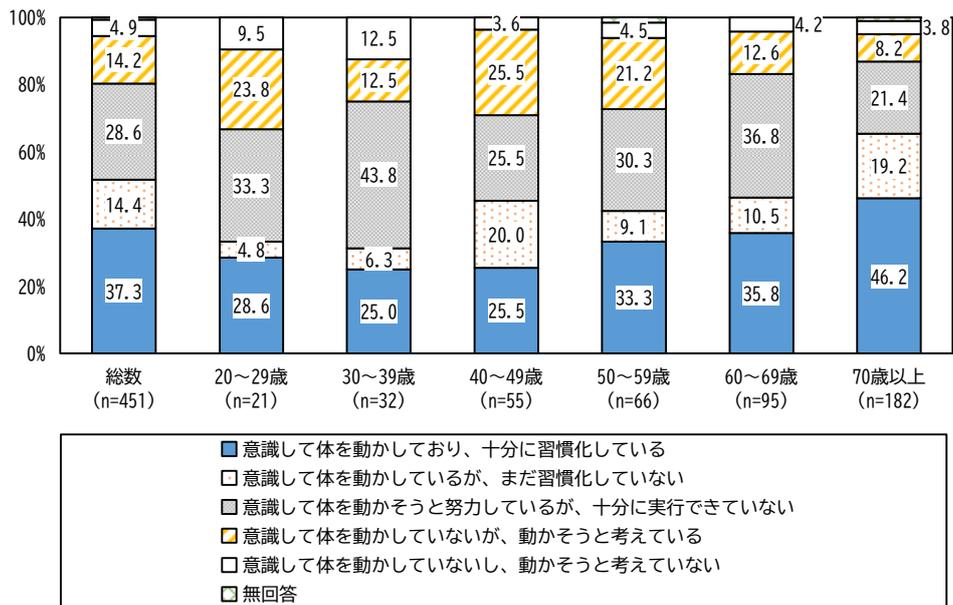
運動の継続年数（女性・年齢階級別）



意識して体を動かしているか（男性・年齢階級別）



意識して体を動かしているか（女性・年齢階級別）

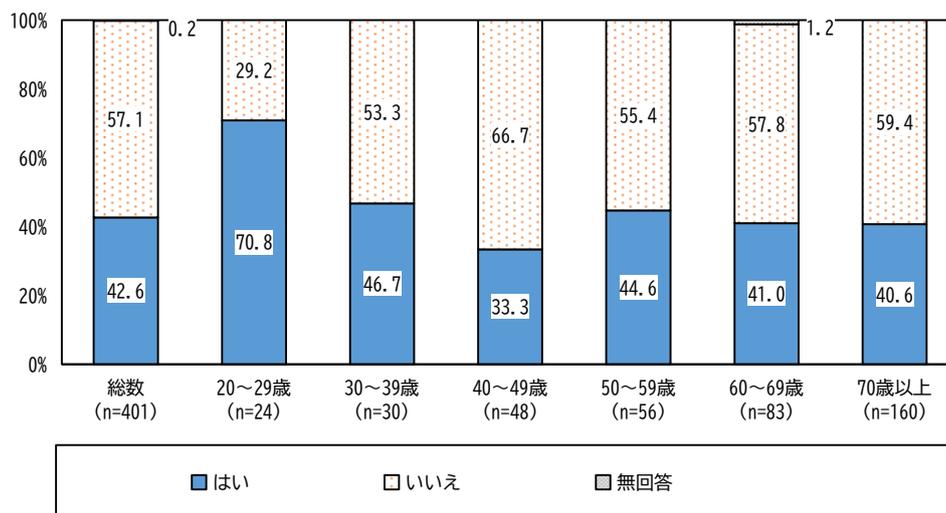


※3.0%未満のラベル非表示

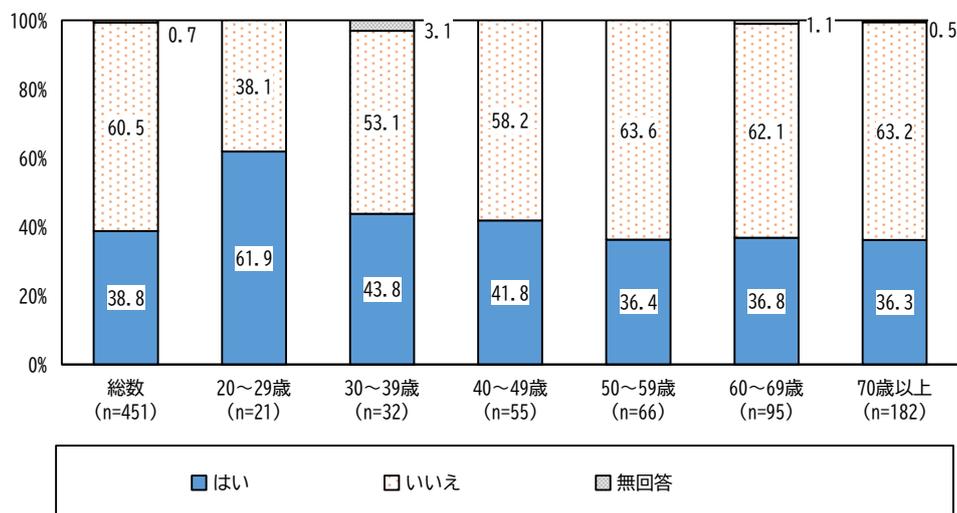
12 歩数の把握

- 携帯電話やスマートフォン等により1日の歩数が把握ができていない人の割合は、男性で42.6%、女性で38.8%となっている。

携帯電話やスマートフォン等により、1日の歩数が把握可能か（男性・年齢階級別）



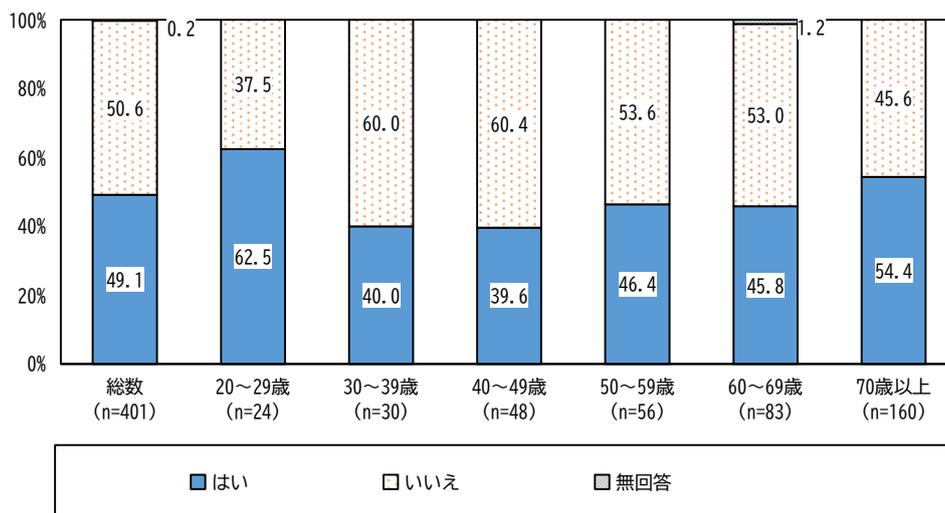
携帯電話やスマートフォン等により、1日の歩数が把握可能か（女性・年齢階級別）



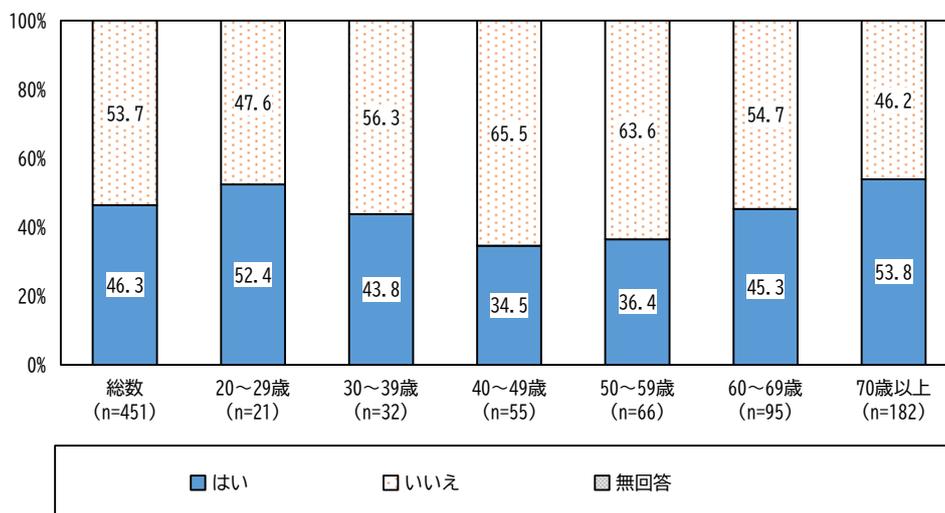
13 歩く意識

- 歩いて10分程度の距離ならば、車を使わずに歩いて出かける人の割合は、男性で49.1%、女性で46.3%となっている。

歩いて10分程度の距離ならば、車を使わずに歩いて出かけるか（男性・年齢階級別）



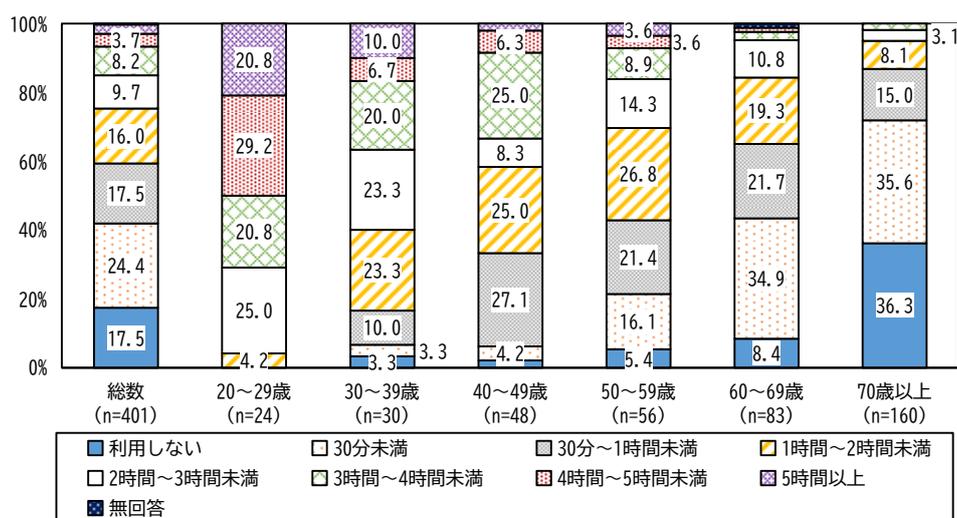
歩いて10分程度の距離ならば、車を使わずに歩いて出かけるか（女性・年齢階級別）



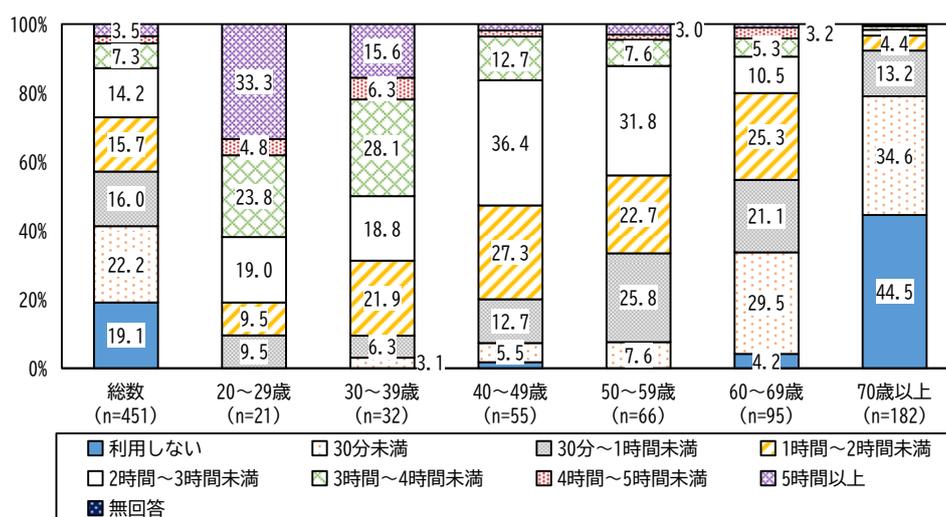
14 スマートフォンの利用時間

- 1日あたりのスマートフォンの利用時間は、男性（24.4%）、女性（22.2%）ともに「30分未満」の割合が最も高くなっている。
- 若年層ほど利用時間が長い傾向にあり、男性20代では20.8%、女性20代では33.3%が「5時間以上」利用している。

1日あたりのスマートフォンの利用時間（男性・年齢階級別）



1日あたりのスマートフォンの利用時間（女性・年齢階級別）

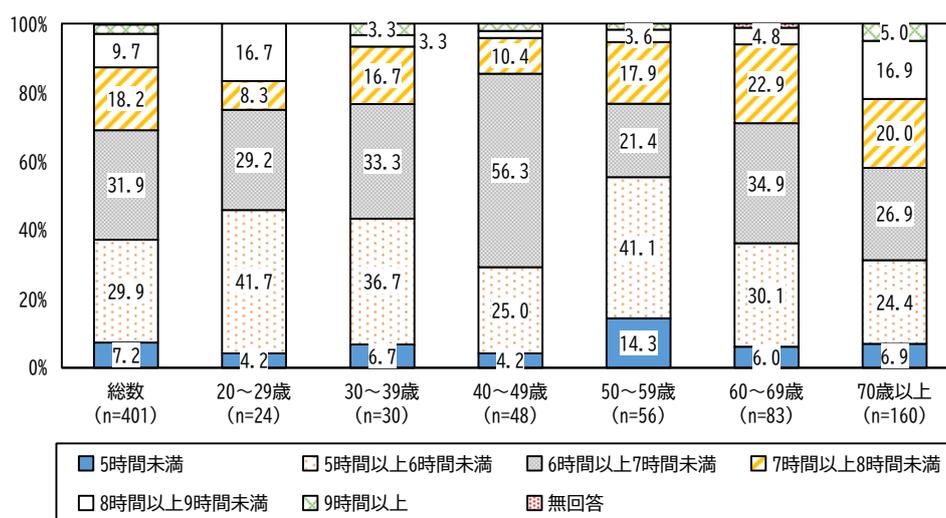


※3.0%未満のラベル非表示

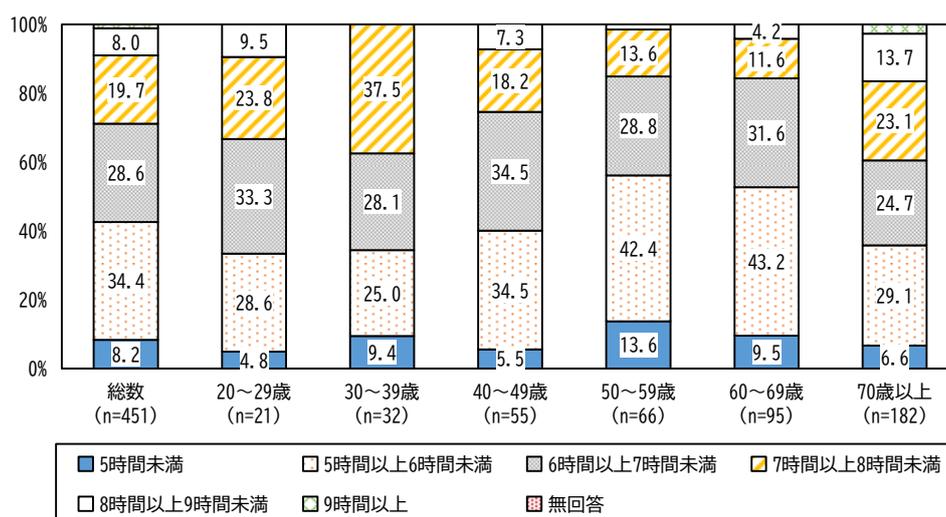
15 睡眠の状況

- 1日の平均睡眠時間は、男性では「6時間以上7時間未満」(31.9%)、女性では「5時間以上6時間未満」(34.4%)の割合が最も高くなっている。
- 睡眠での休養がとれている人(「十分とれている」と「まあまあとれている」の合計)の割合は、男性で77.0%、女性で73.8%となっている。

1日の平均睡眠時間(男性・年齢階級別)

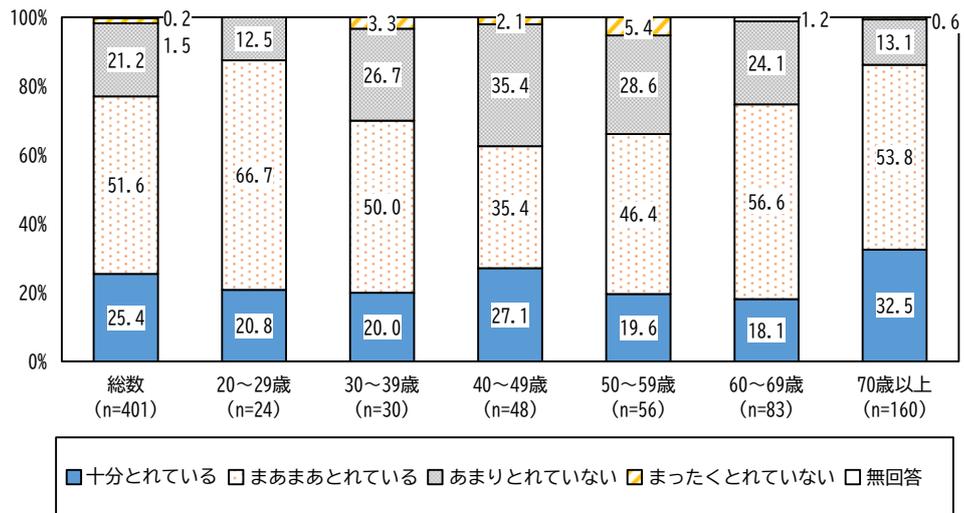


1日の平均睡眠時間(女性・年齢階級別)

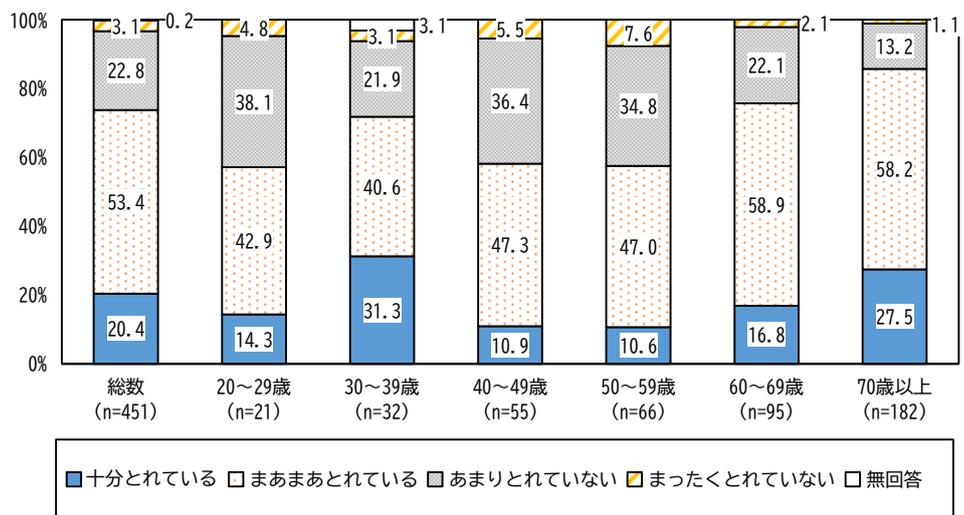


※3.0%未満のラベル非表示

睡眠で休養が十分とれているか（男性・年齢階級別）



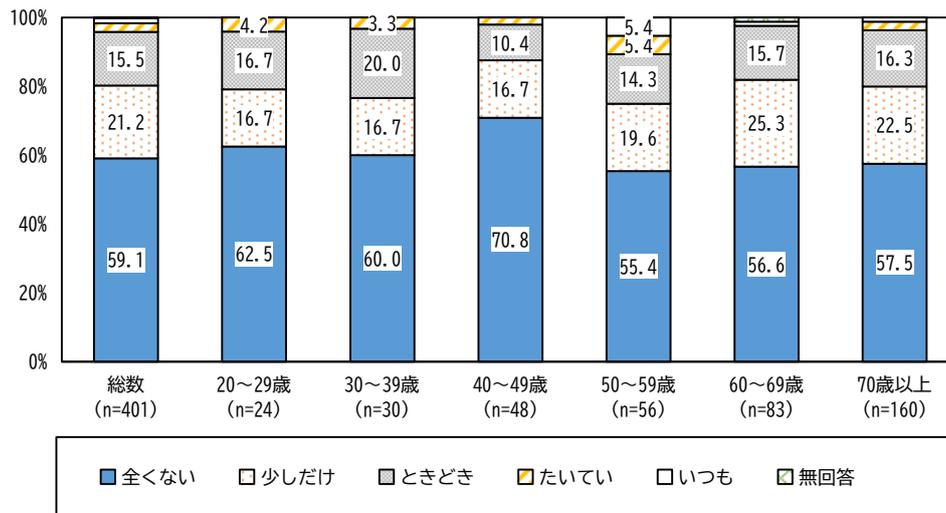
睡眠で休養が十分とれているか（女性・年齢階級別）



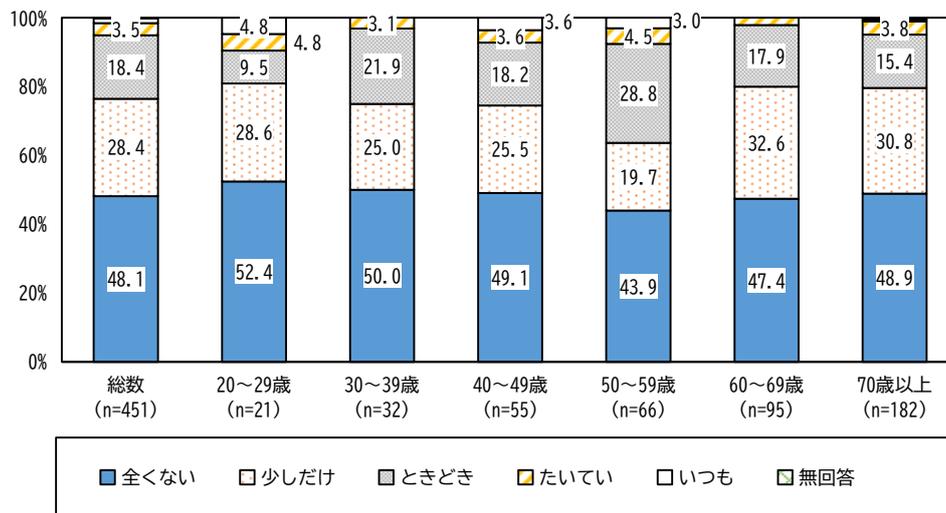
16 心理的状况

- 過去30日の間に神経過敏に感じたことのある人（「少しだけ」、「ときどき」、「たいてい」、「いつも」の合計）の割合は、男性で40.7%、女性で51.6%となっている。
- 絶望的だと感じたことのある人の割合は、男性で31.9%、女性で32.0%となっている。
- そわそわ、落ち着かなく感じたことのある人の割合は、男性で37.1%、女性で41.3%となっている。
- 気分が沈みこんで、何か起こっても気が晴れないように感じたことのある人の割合は、男性で44.9%、女性で51.9%となっている。
- 何をするのも骨折りだと感じたことのある人の割合は、男性で53.5%、女性で54.1%となっている。
- 自分は価値のない人間だと感じたことのある人の割合は、男性で37.1%、女性で33.8%となっている。

神経過敏に感じたか（男性・年齢階級別）

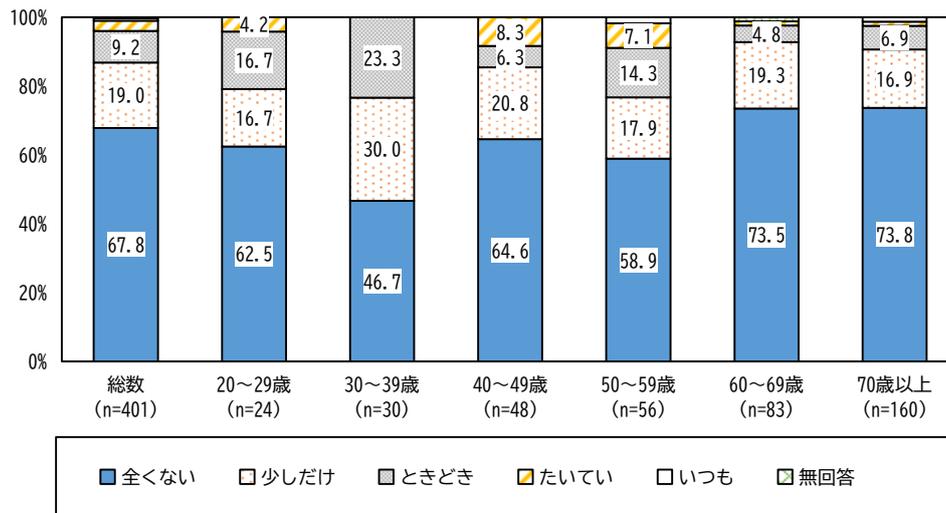


神経過敏に感じたか（女性・年齢階級別）

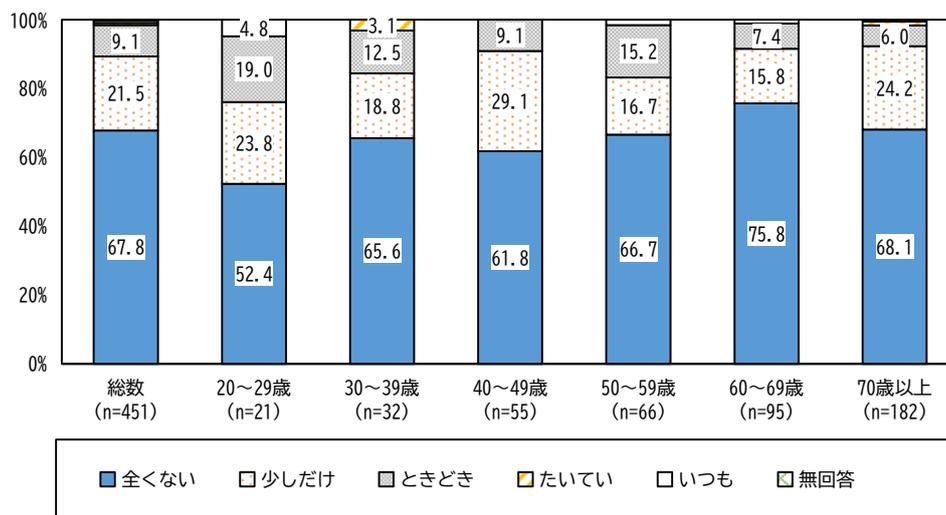


※3.0%未満のラベル非表示

絶望的だと感じたか（男性・年齢階級別）

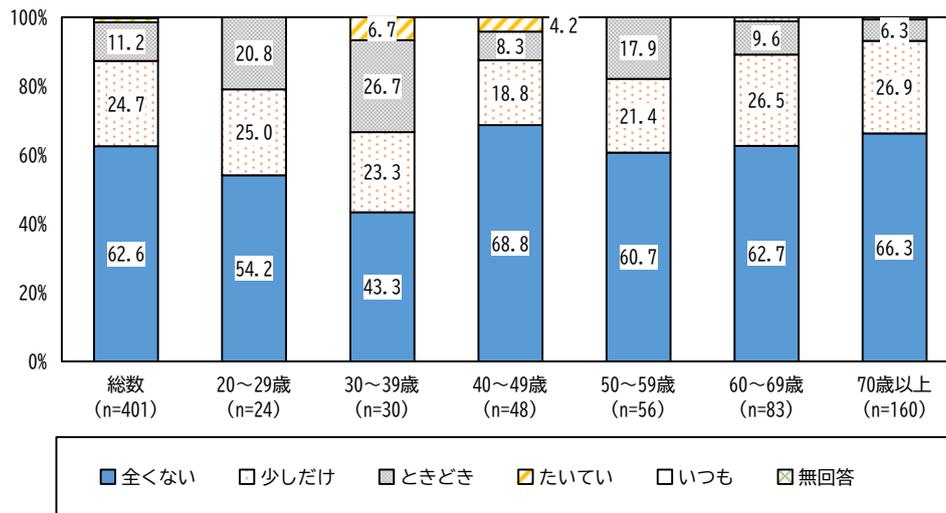


絶望的だと感じたか（女性・年齢階級別）

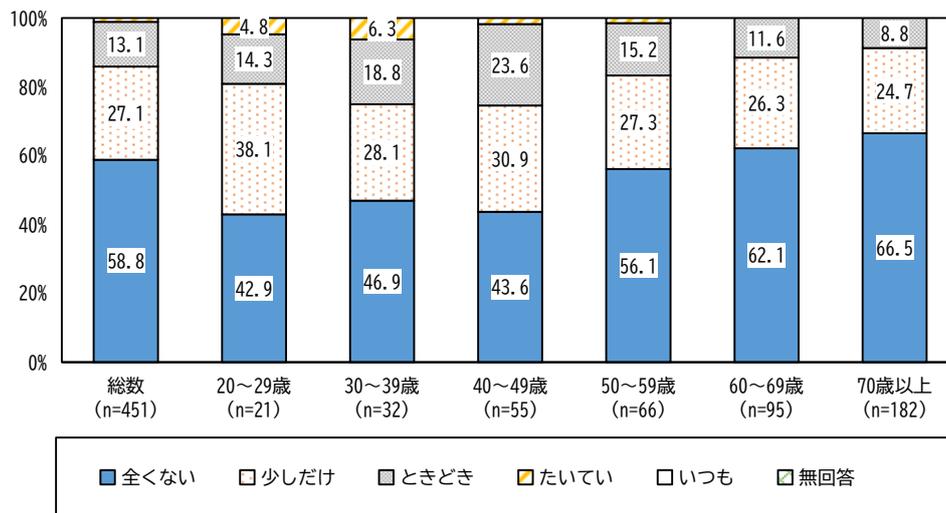


※3.0%未満のラベル非表示

それぞれ、落ち着かなく感じたか（男性・年齢階級別）

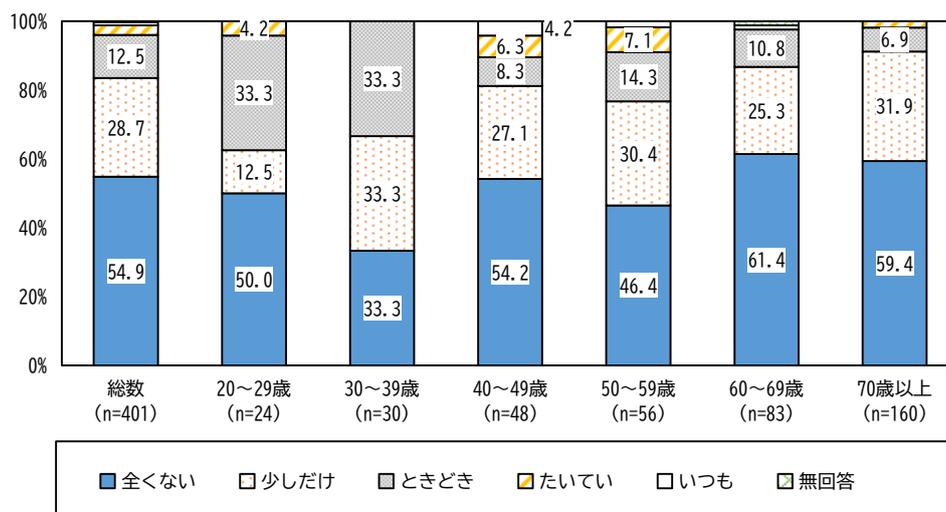


それぞれ、落ち着かなく感じたか（女性・年齢階級別）

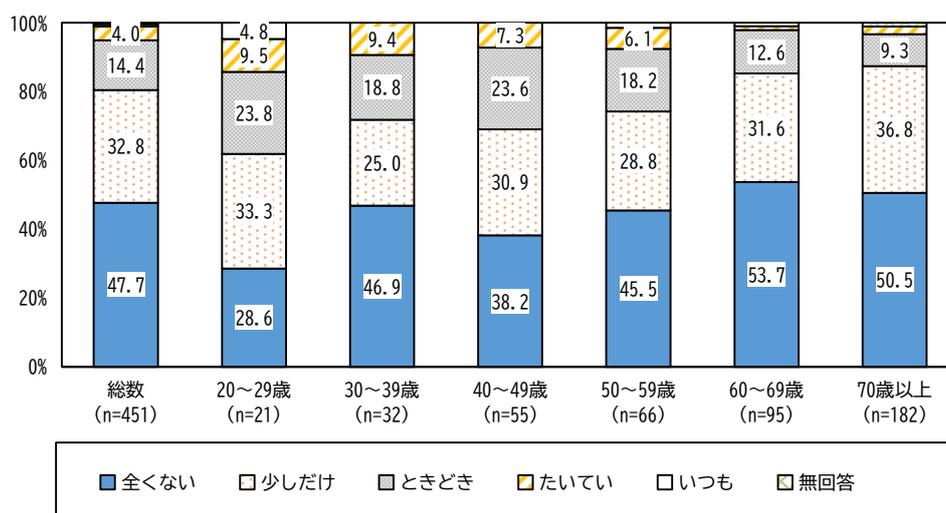


※3.0%未満のラベル非表示

気分が沈みこんで、何か起こっても気が晴れないように感じたか（男性・年齢階級別）

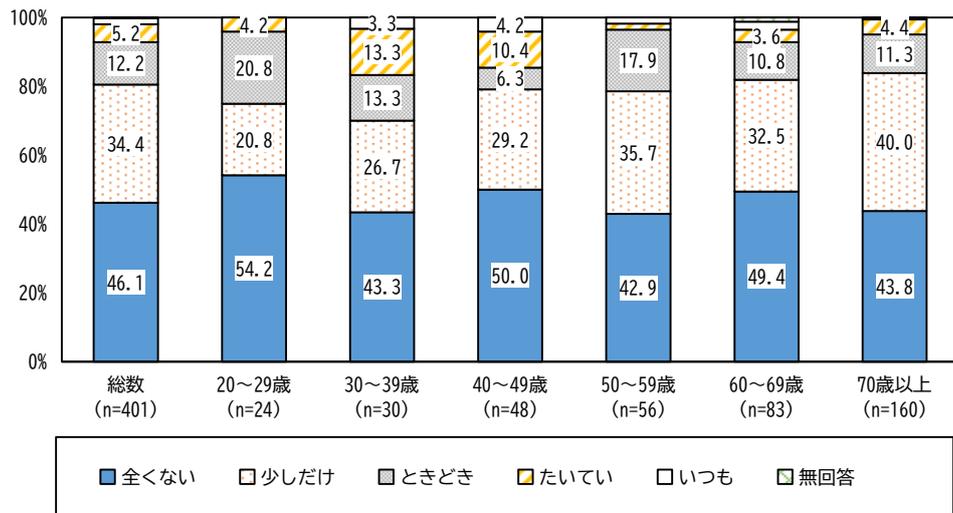


気分が沈みこんで、何か起こっても気が晴れないように感じたか（女性・年齢階級別）

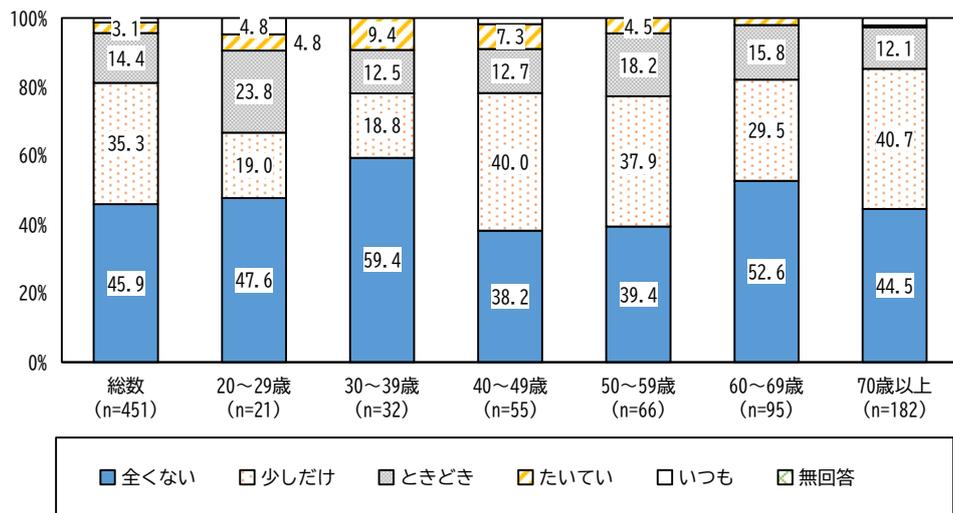


※3.0%未満のラベル非表示

何をするのも骨折りだと感じたか（男性・年齢階級別）

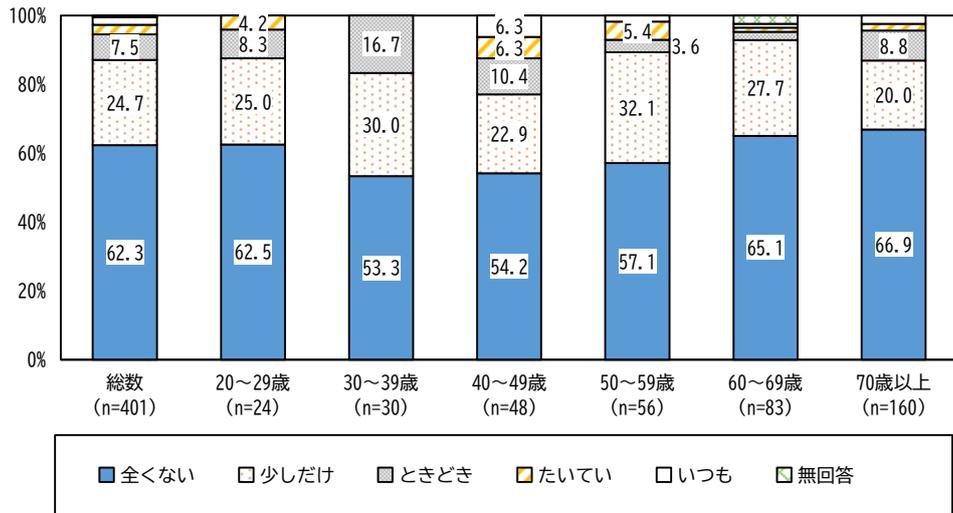


何をするのも骨折りだと感じたか（女性・年齢階級別）

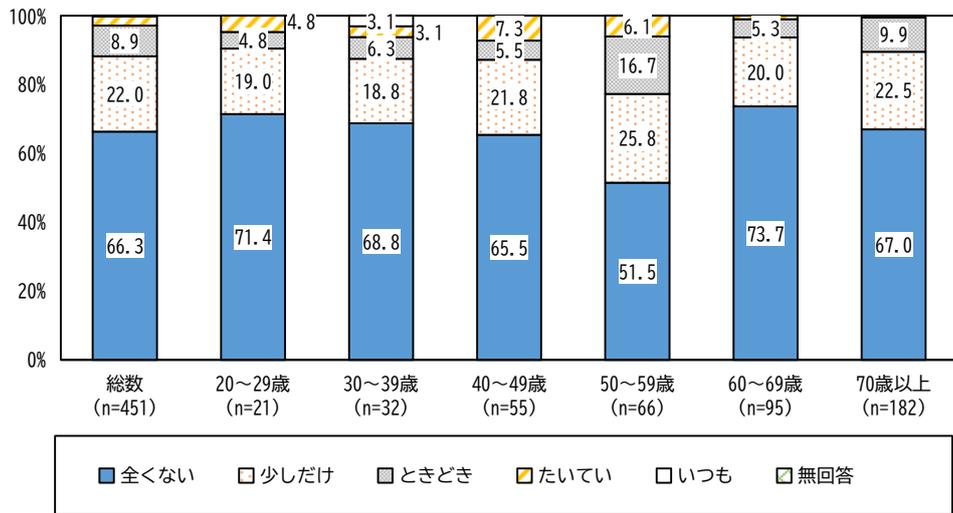


※3.0%未満のラベル非表示

自分は価値のない人間だと感じたか（男性・年齢階級別）



自分は価値のない人間だと感じたか（女性・年齢階級別）

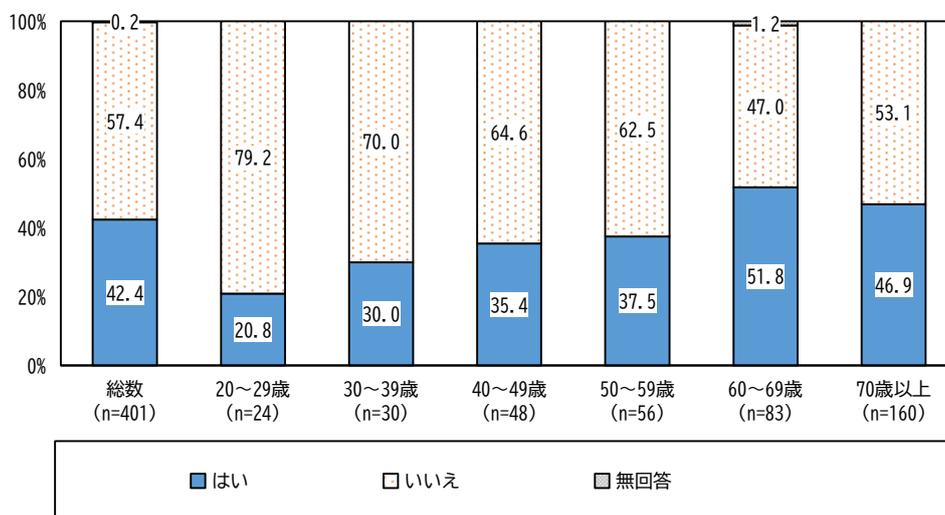


※3.0%未満のラベル非表示

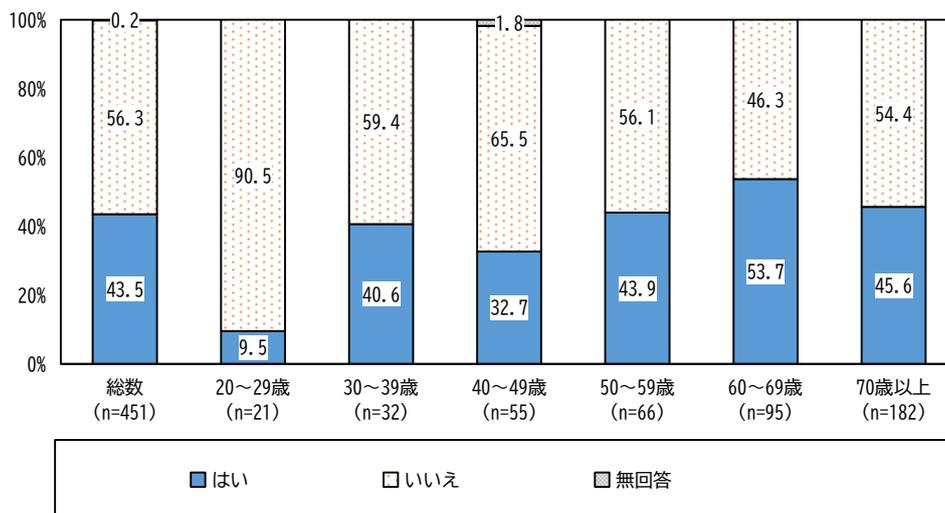
17 歯の健康に関する状況

- 歯周病（歯肉炎・歯周炎）と言われたことがある人の割合は、男性で42.4%、女性で43.5%となっている。
- ゆっくりよくかんで食べている人（「ゆっくりよくかんで食べている」と「どちらかといえば、ゆっくりよくかんで食べている」の合計）の割合は、男性で39.4%、女性で45.7%となっている。
- 何でもかんで食べることができる人の割合は、男性で75.6%、女性で77.4%となっている。

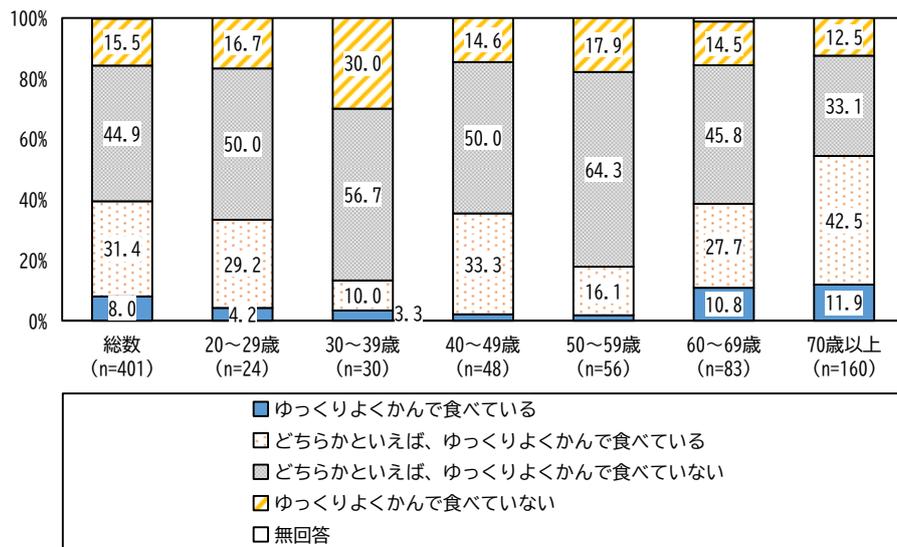
歯周病（歯肉炎・歯周炎）と言われたことがあるか（男性・年齢階級別）



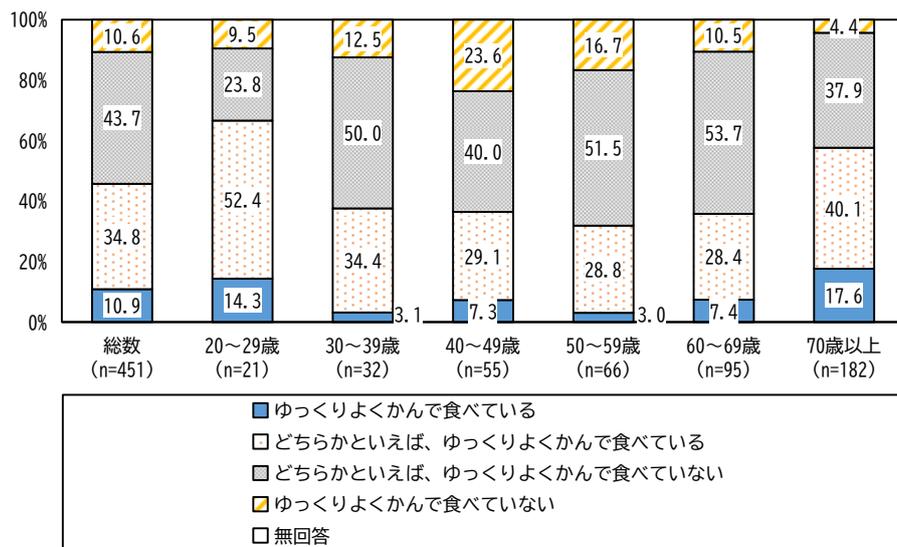
歯周病（歯肉炎・歯周炎）と言われたことがあるか（女性・年齢階級別）



ふだんゆっくりよくかんで食べているか（男性・年齢階級別）

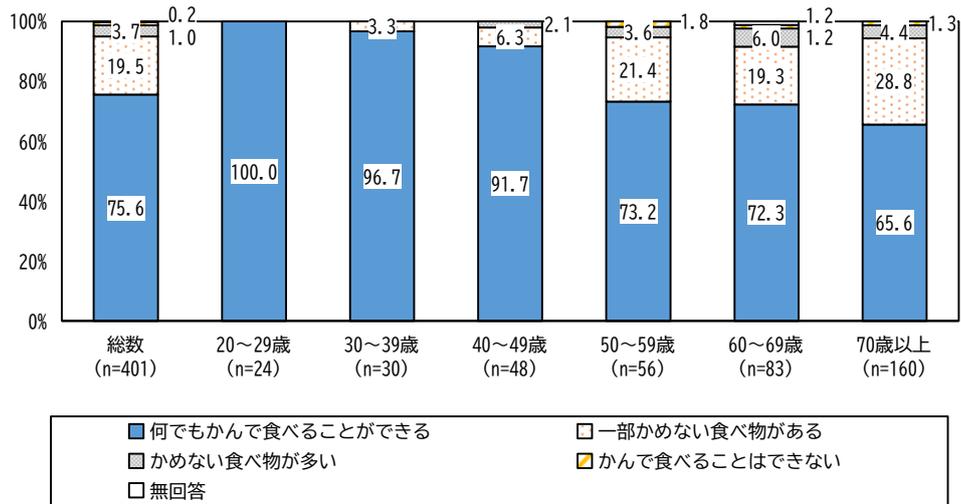


ふだんゆっくりよくかんで食べているか（女性・年齢階級別）

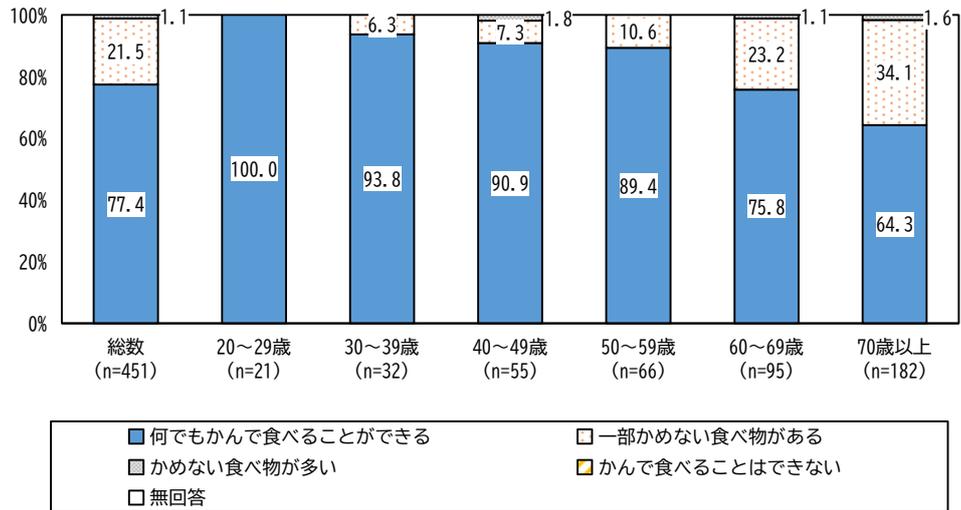


※3.0%未満のラベル非表示

かんで食べる時の状態（男性・年齢階級別）



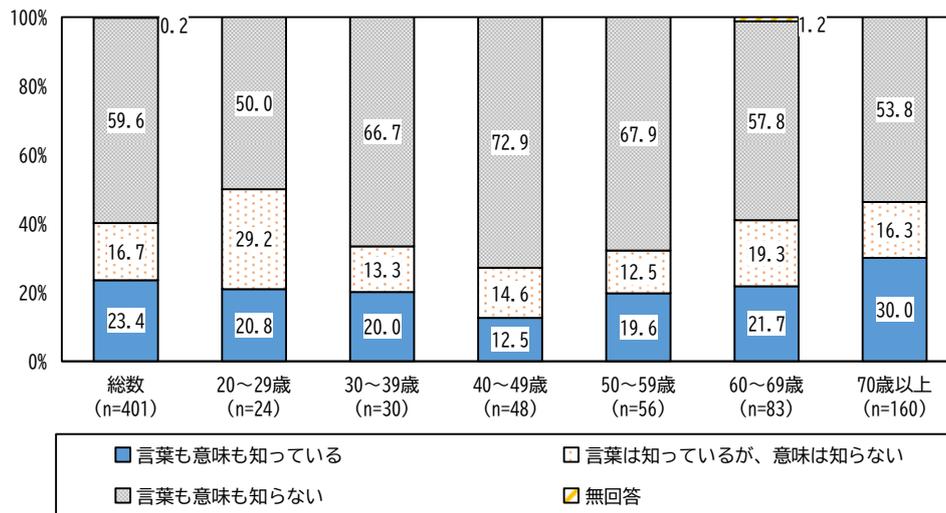
かんで食べる時の状態（女性・年齢階級別）



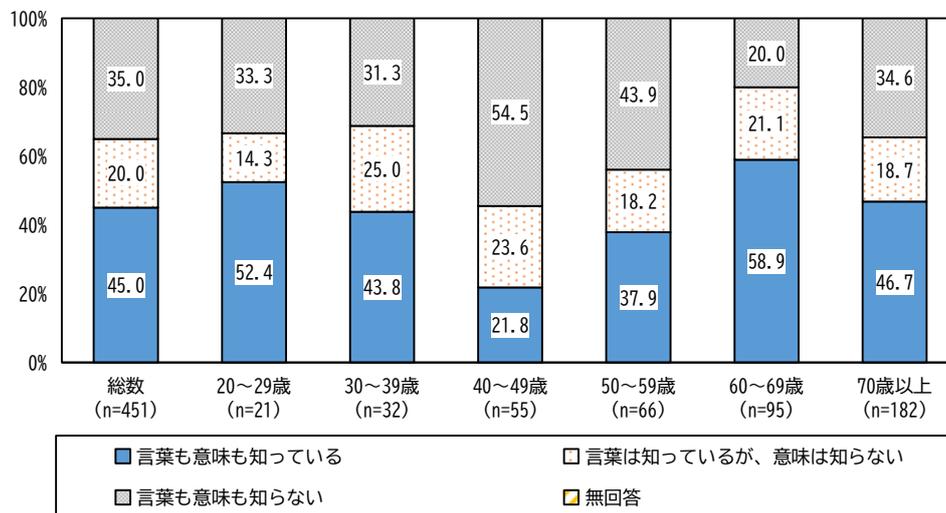
18 「フレイル」の認知度

○ 「フレイル」の言葉も意味も知っている人の割合は、男性で23.4%、女性で45.0%となっている。

「フレイル」という言葉と意味を知っていますか（男性・年齢階級別）



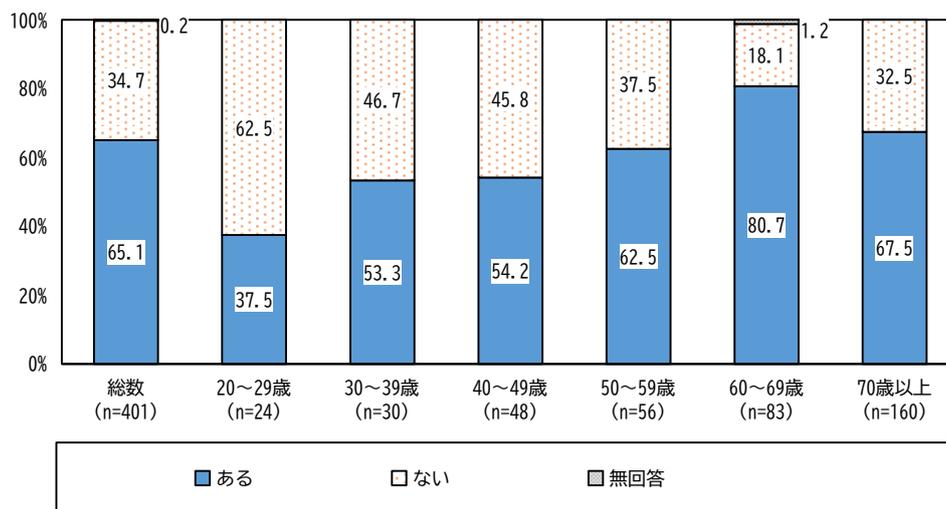
「フレイル」という言葉と意味を知っていますか（女性・年齢階級別）



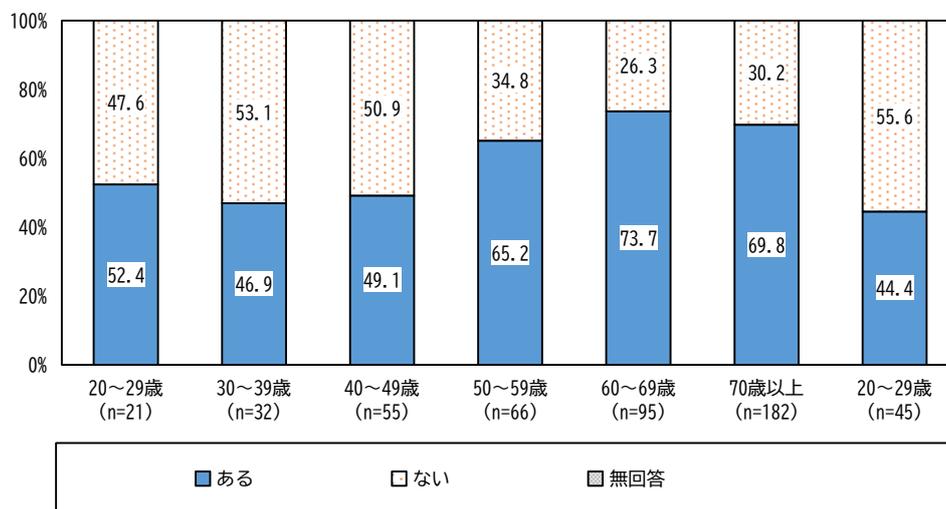
19 身体的状況

○ 首、腰、膝、手足などの痛みにより、生活に支障をきたすような経験がある人の割合は、男性で65.1%、女性で52.4%となっている。

首、腰、膝、手足などの痛みにより、生活に支障をきたすような経験（男性・年齢階級別）



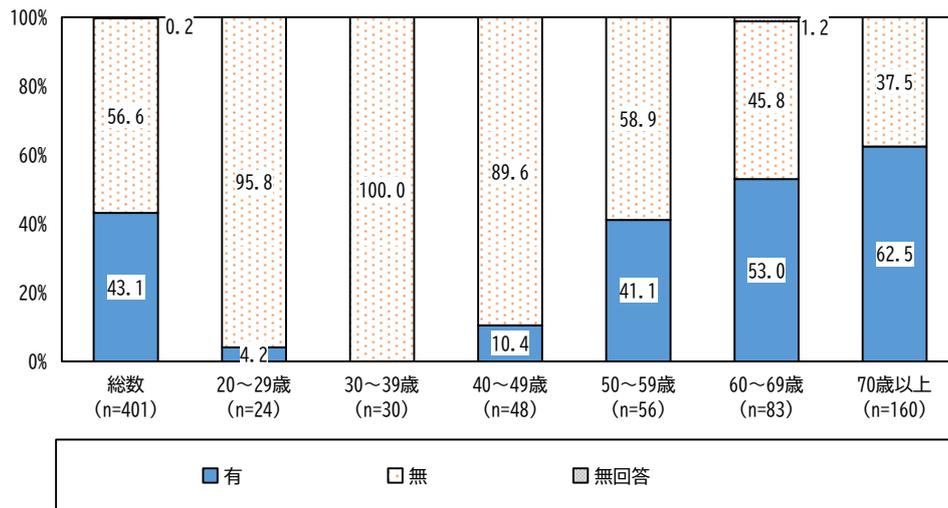
首、腰、膝、手足などの痛みにより、生活に支障をきたすような経験（女性・年齢階級別）



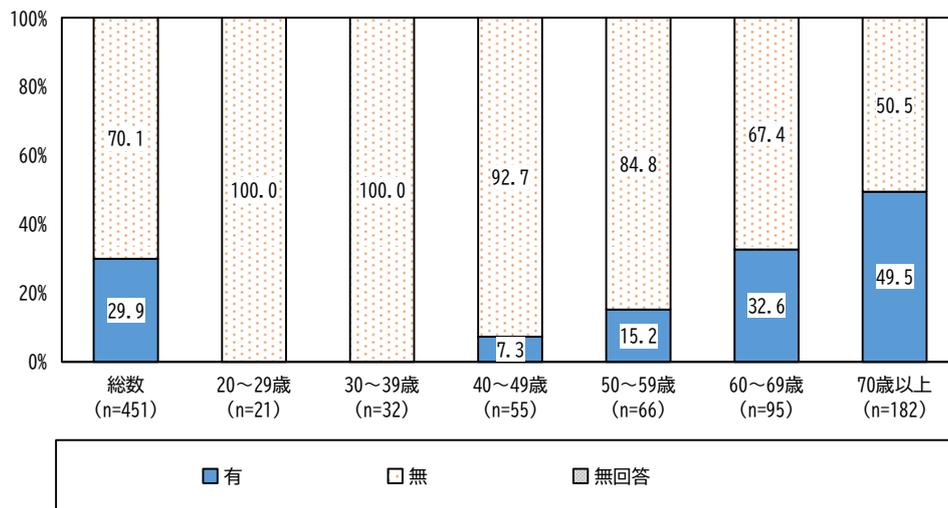
20 薬の使用状況

- 血圧を下げる薬を使用している人の割合は、男性で43.1%、女性で29.9%となっている。
- 脈の乱れに関する薬を使用している人の割合は、男性で7.2%、女性で3.1%となっている。
- コレステロールを下げる薬を使用している人の割合は、男性で19.7%、女性で24.8%となっている。
- 中性脂肪（トリグリセライド）を下げる薬を使用している人の割合は、男性で8.5%、女性で4.7%となっている。
- 貧血治療のための薬（鉄剤）を使用している人の割合は、男性で2.2%、女性で4.0%となっている。
- 骨粗しょう症を予防・治療する薬を使用している人の割合は、男性で2.5%、女性で11.8%となっている。

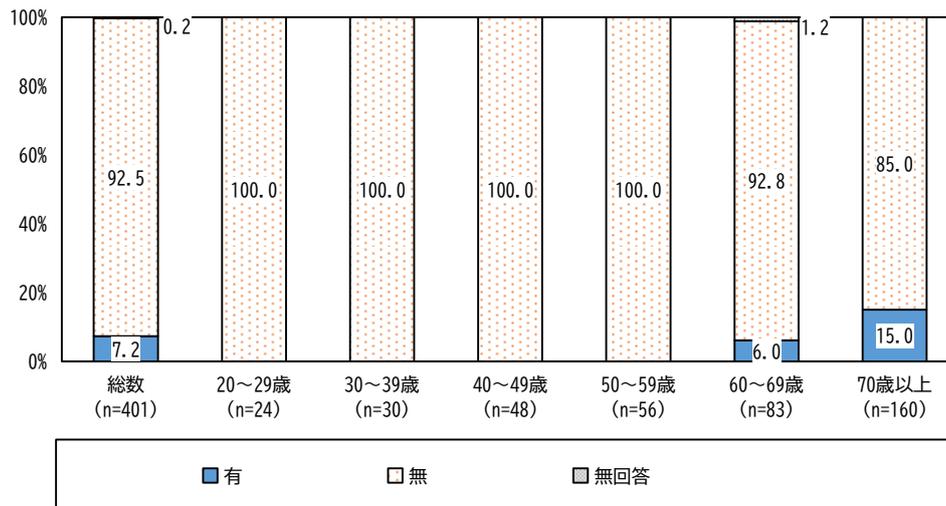
血圧を下げる薬の使用（男性・年齢階級別）



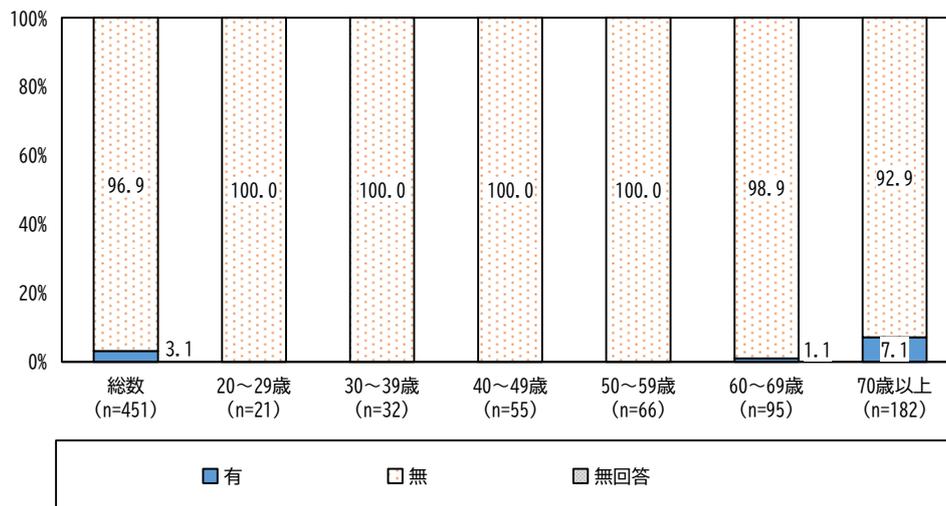
血圧を下げる薬の使用（女性・年齢階級別）



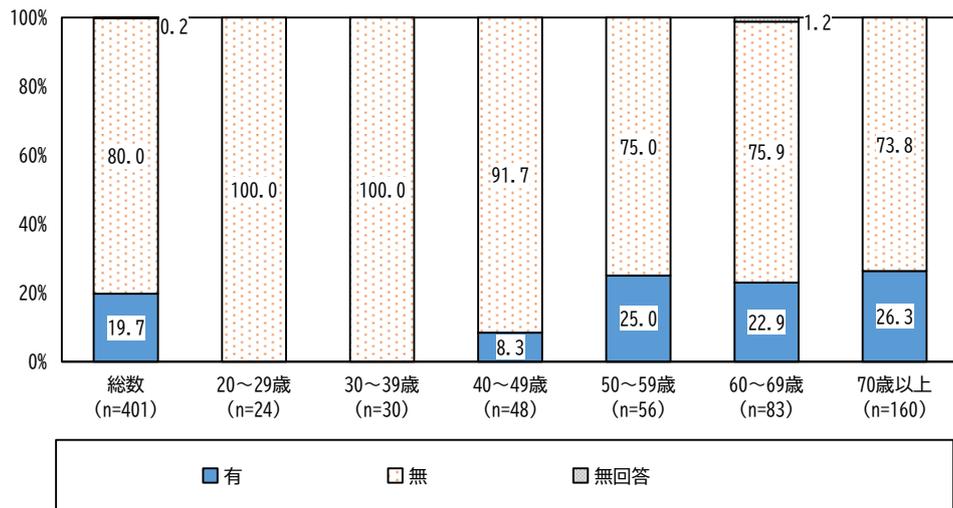
脈の乱れに関する薬の使用（男性・年齢階級別）



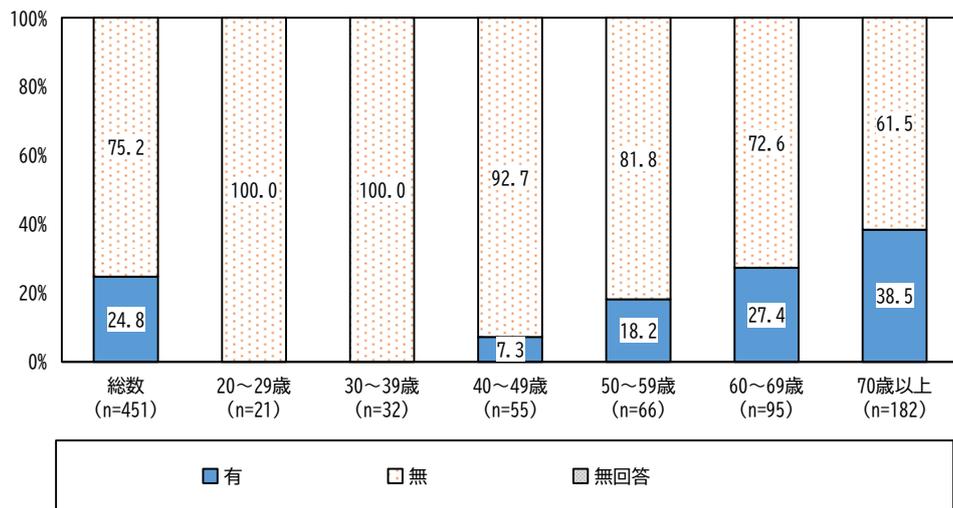
脈の乱れに関する薬の使用（女性・年齢階級別）



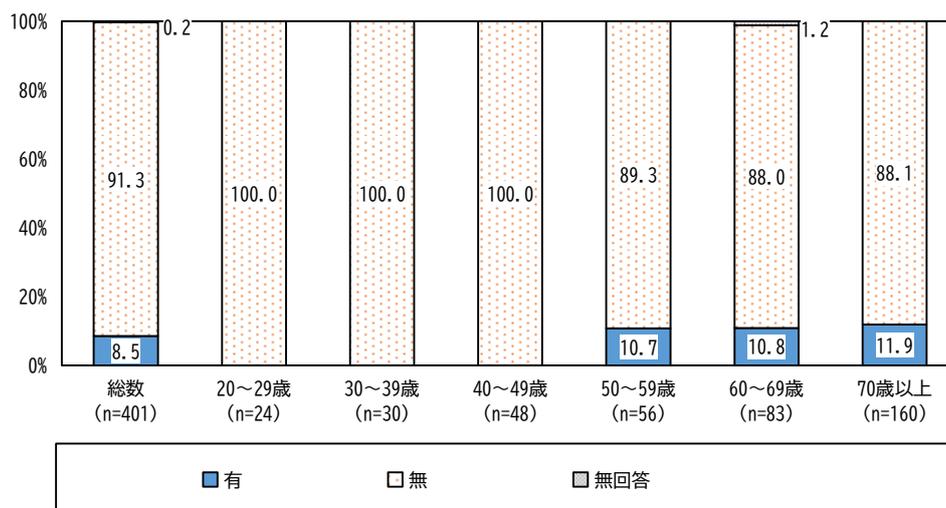
コレステロールを下げる薬の使用（男性・年齢階級別）



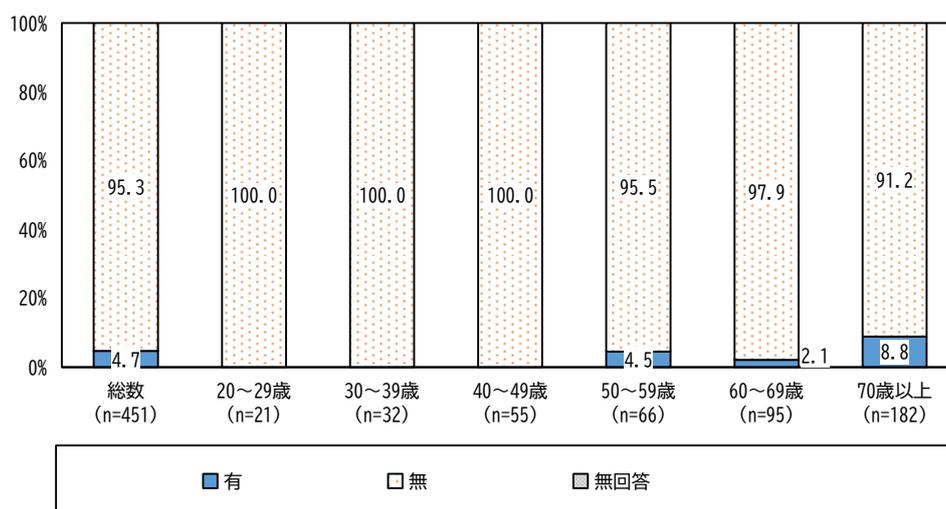
コレステロールを下げる薬の使用（女性・年齢階級別）



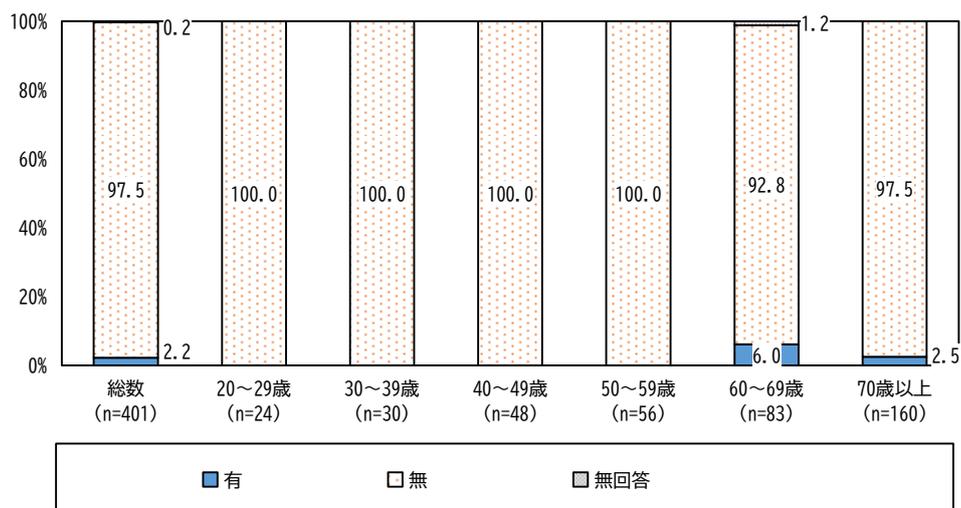
中性脂肪（トリグリセライド）を下げる薬の使用（男性・年齢階級別）



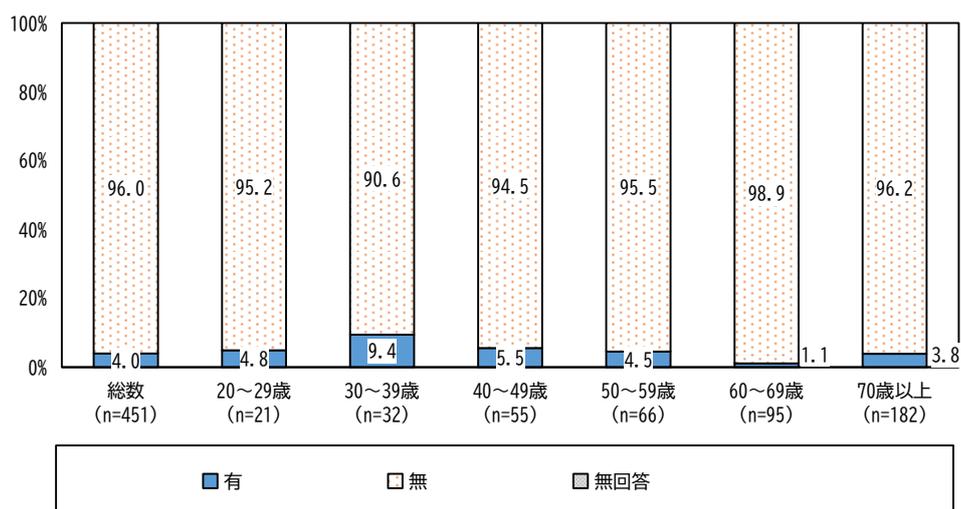
中性脂肪（トリグリセライド）を下げる薬の使用（女性・年齢階級別）



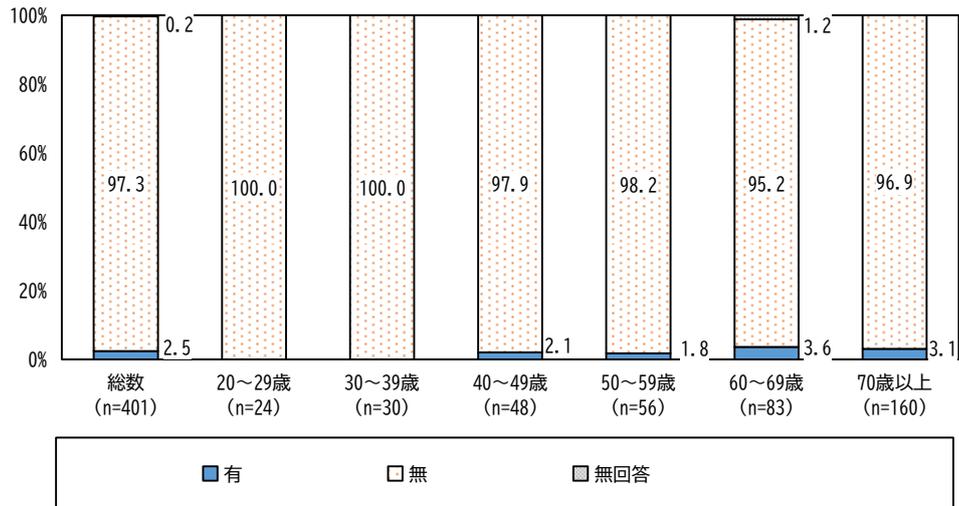
貧血治療のための薬（鉄剤）の使用（男性・年齢階級別）



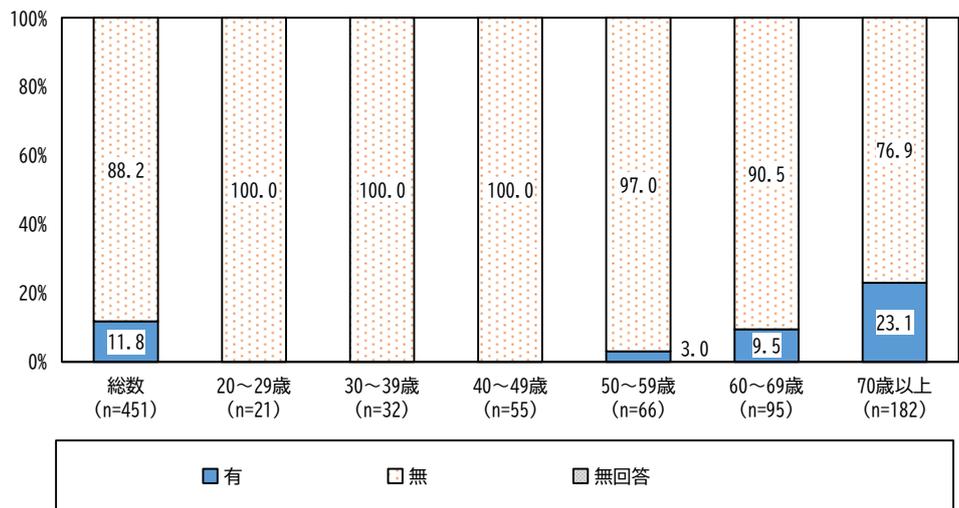
貧血治療のための薬（鉄剤）の使用（女性・年齢階級別）



骨粗しょう症を予防・治療する薬の使用（男性・年齢階級別）



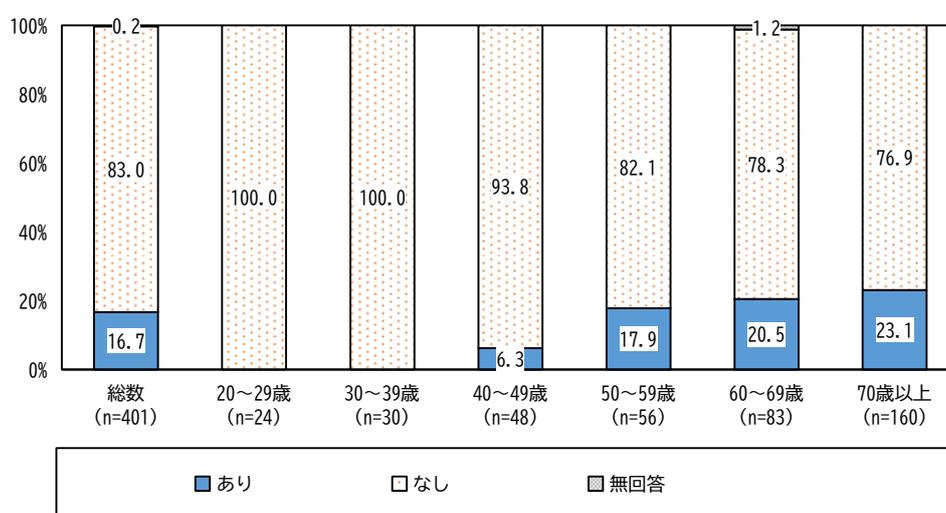
骨粗しょう症を予防・治療する薬の使用（女性・年齢階級別）



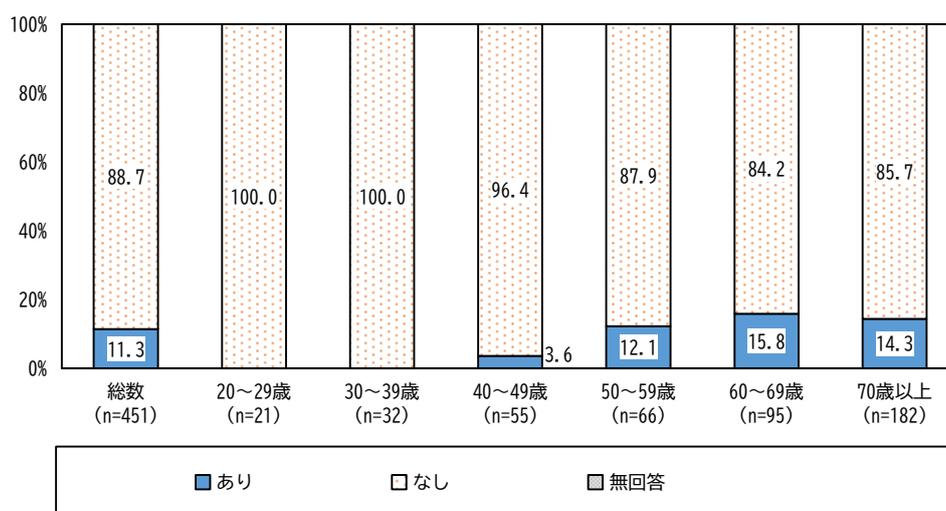
21 糖尿病について

- 医療機関や健診で糖尿病といわれたことがある人の割合は、男性で16.7%、女性で11.3%となっている。
- 治療を受けている（受けたことがある）人の割合は、男性で70.2%、女性で68.6%となっている。
- 受けた治療内容について、男性（82.9%）、女性（74.2%）ともに「飲みぐすり」の割合が最も高くなっている。

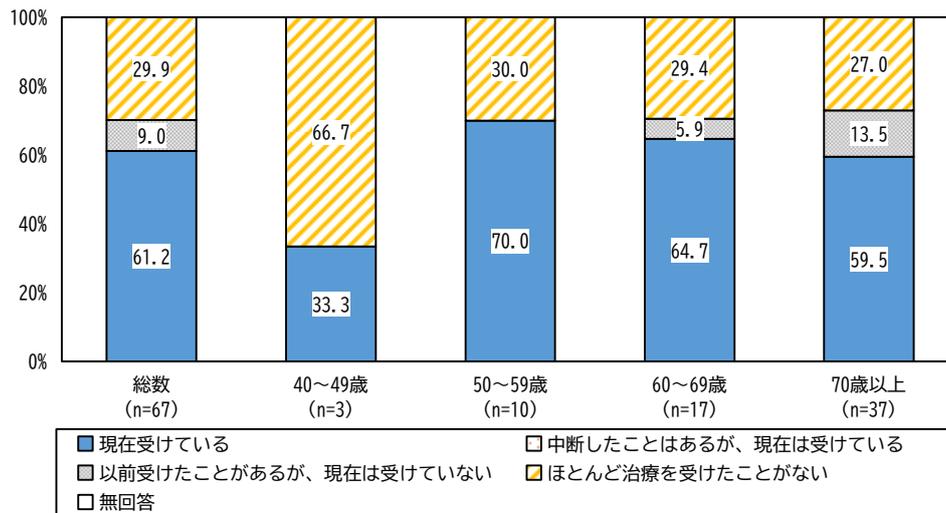
医療機関や健診で糖尿病といわれたことがあるか（男性・年齢階級別）



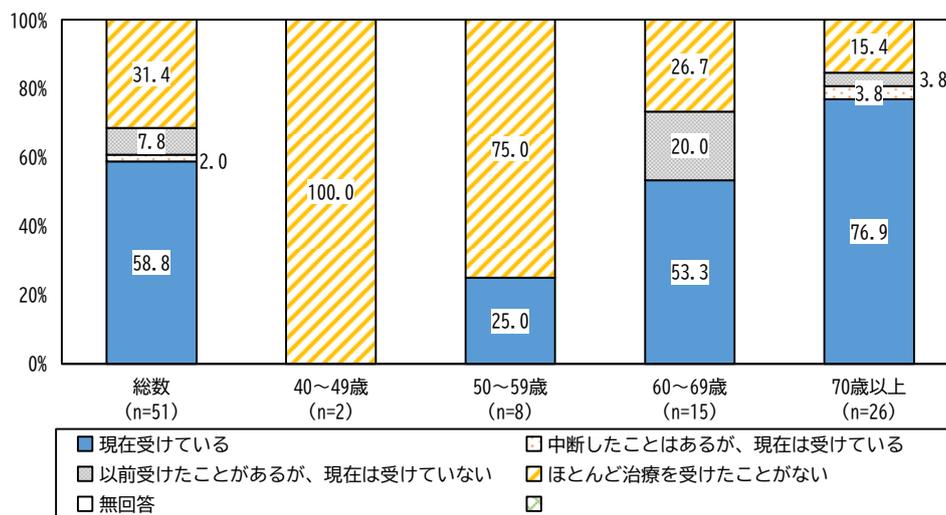
医療機関や健診で糖尿病といわれたことがあるか（女性・年齢階級別）



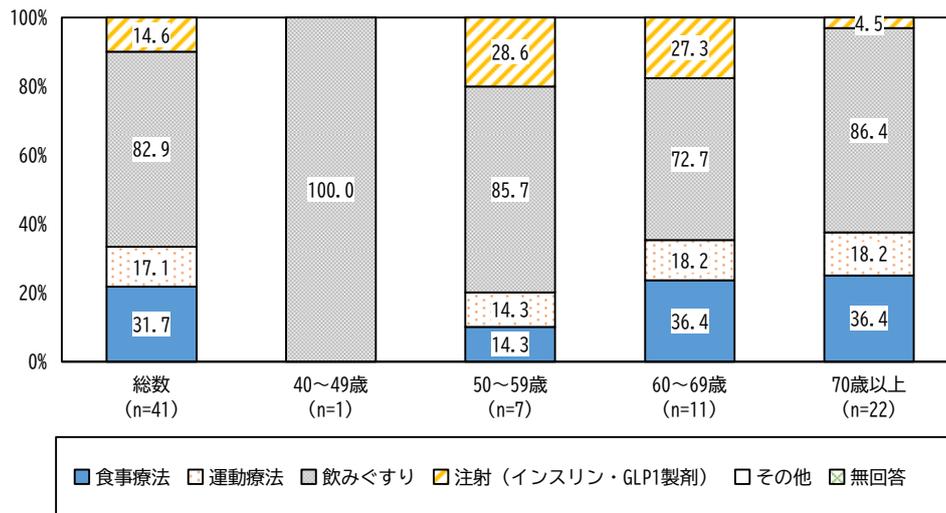
糖尿病の治療（定期的な検査や生活習慣の改善指導、経過観察を含む）の有無（男性・年齢階級別）



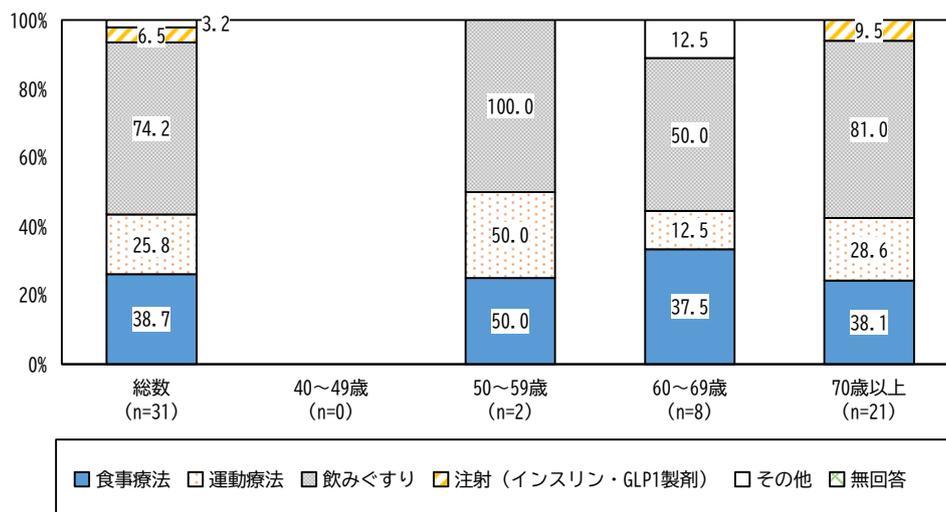
糖尿病の治療（定期的な検査や生活習慣の改善指導、経過観察を含む）の有無（女性・年齢階級別）



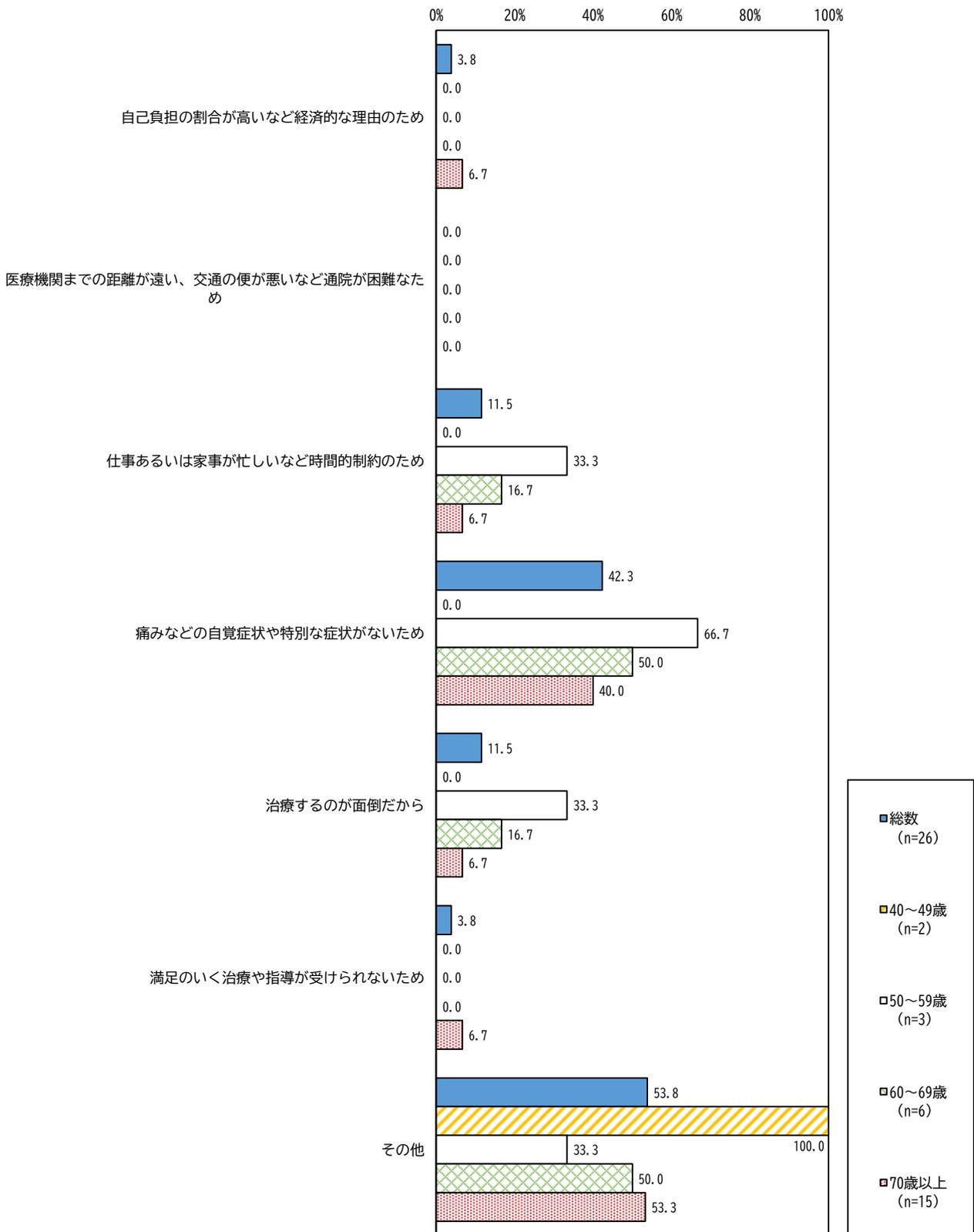
治療内容（男性・年齢階級別）



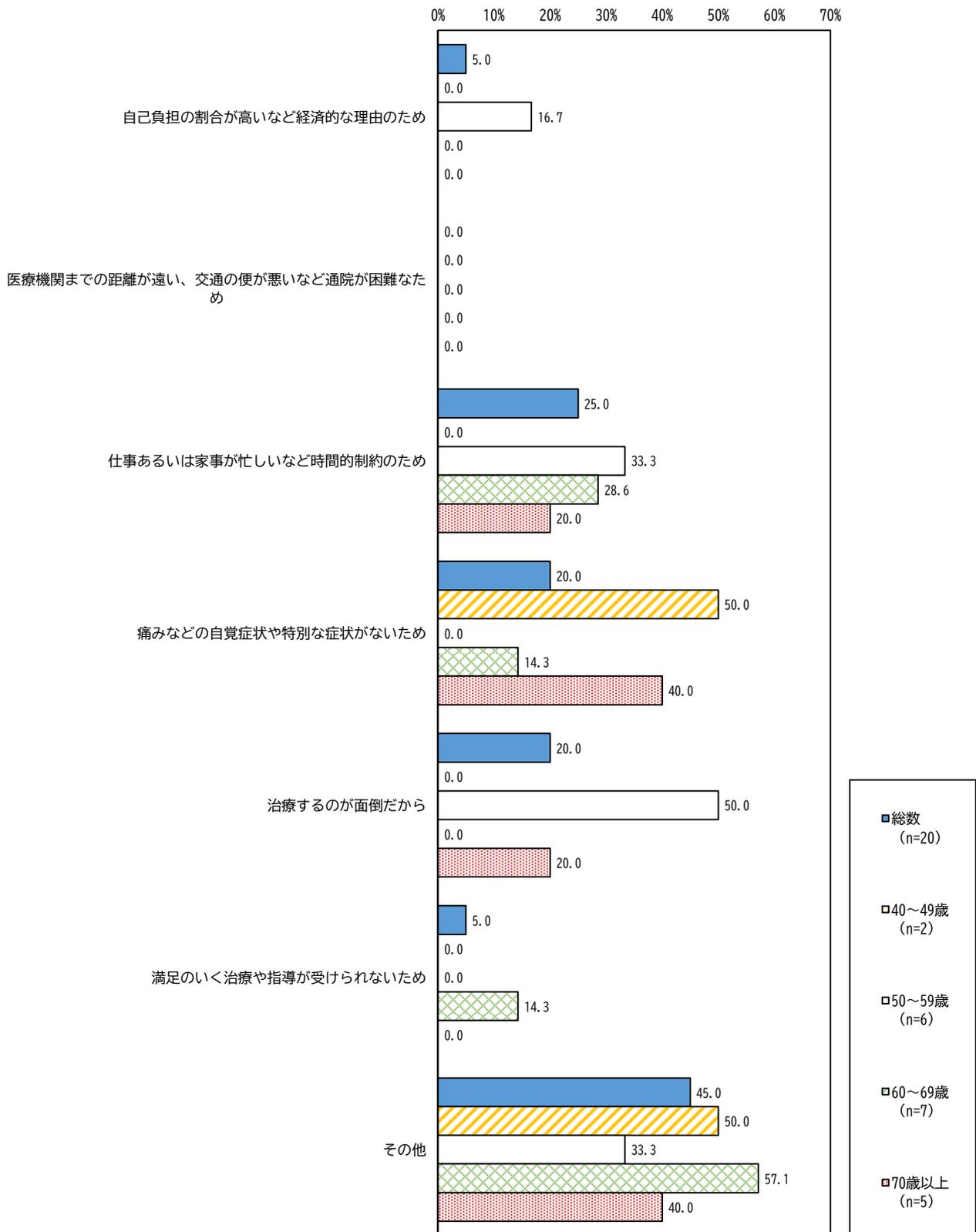
治療内容（女性・年齢階級別）



治療を受けていない理由（男性・年齢階級別）



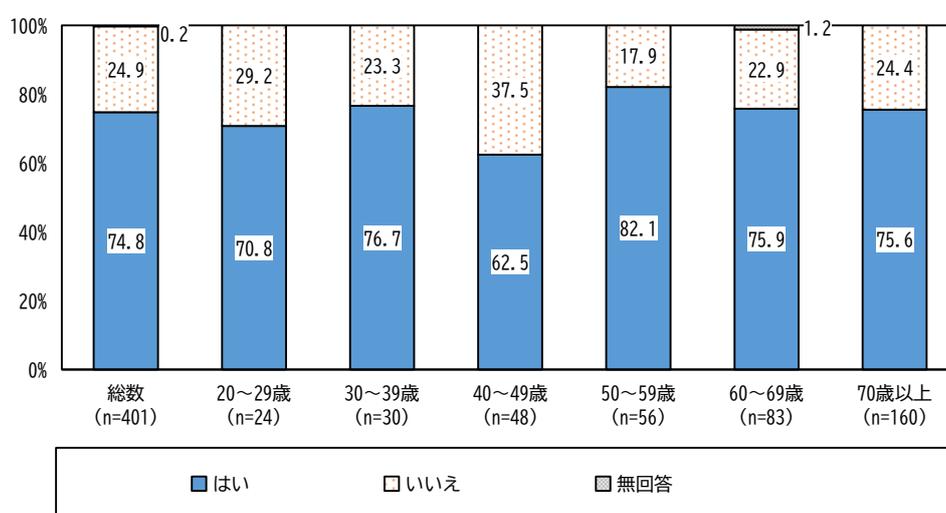
治療内容（女性・年齢階級別）



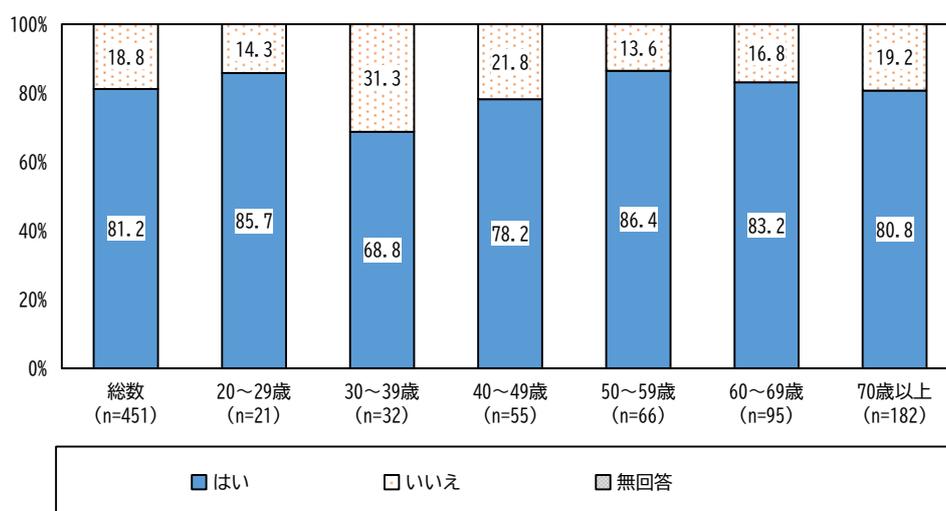
22 糖尿病が他の病気等に与える影響

- 糖尿病が腎不全（透析導入）など腎臓の障害へ影響を与えることを知っている人の割合は、男性で74.8%、女性で81.2%となっている。
- 糖尿病が失明を含む視力低下へ影響を与えることを知っている人の割合は、男性で75.1%、女性で85.8%となっている。
- 糖尿病が足のしびれや痛み、壊疽も含む神経の障害へ影響を与えることを知っている人の割合は、男性で67.3%、女性で76.7%となっている。

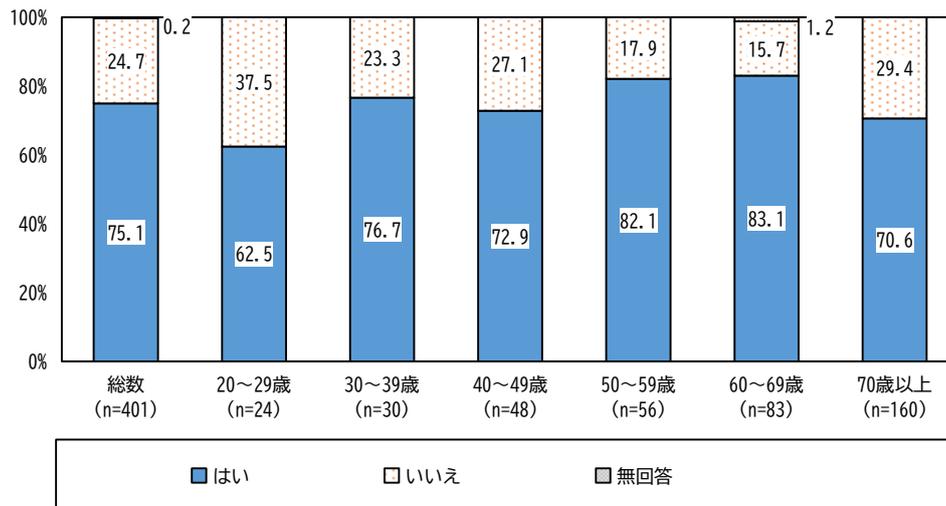
腎不全（透析導入）など腎臓の障害への影響（男性・年齢階級別）



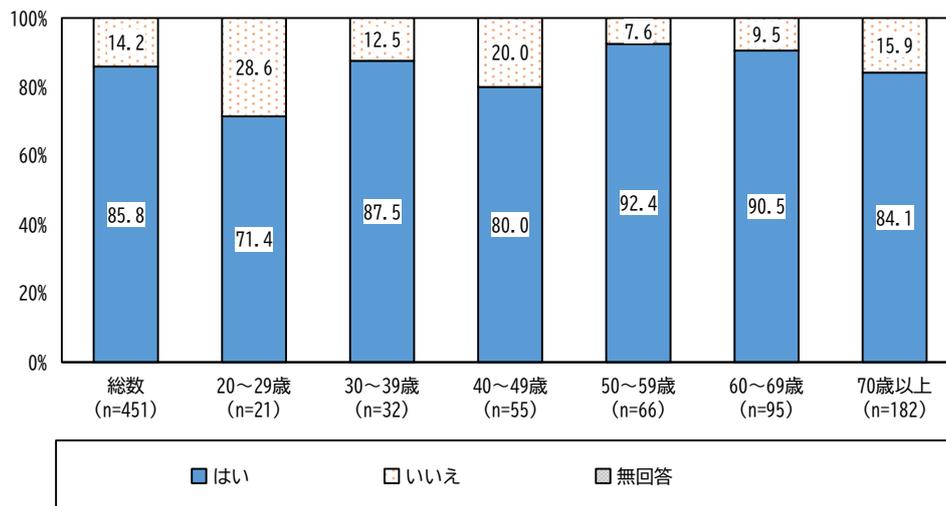
腎不全（透析導入）など腎臓の障害への影響（女性・年齢階級別）



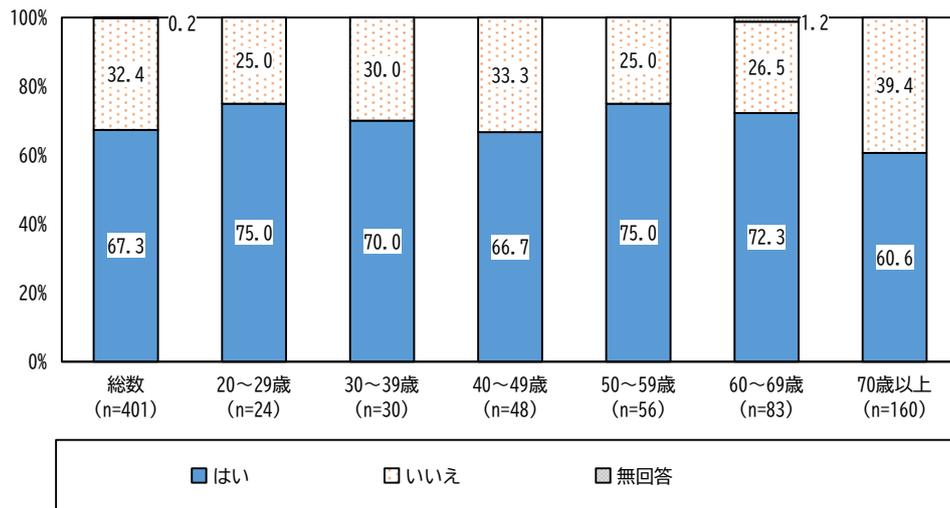
失明を含む視力低下への影響（男性・年齢階級別）



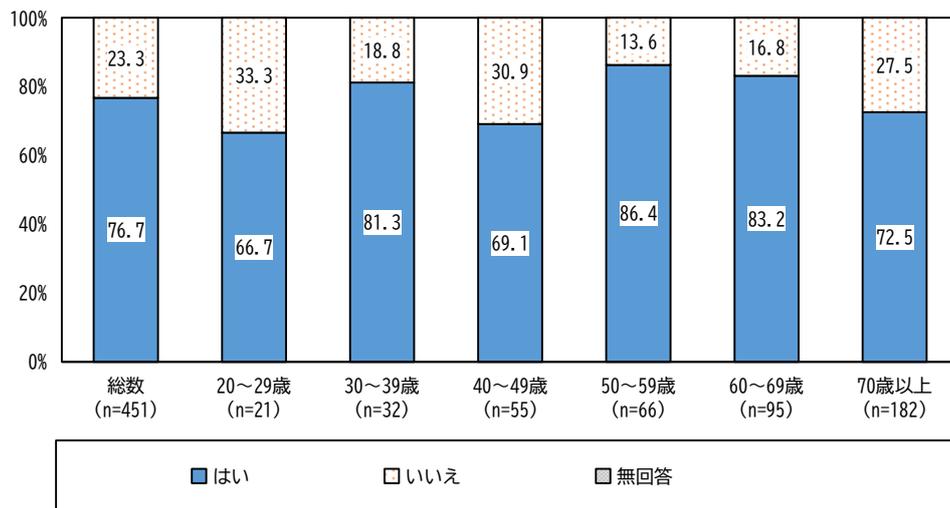
失明を含む視力低下への影響（女性・年齢階級別）



足のしびれや痛み、壊疽も含む神経の障害への影響（男性・年齢階級別）



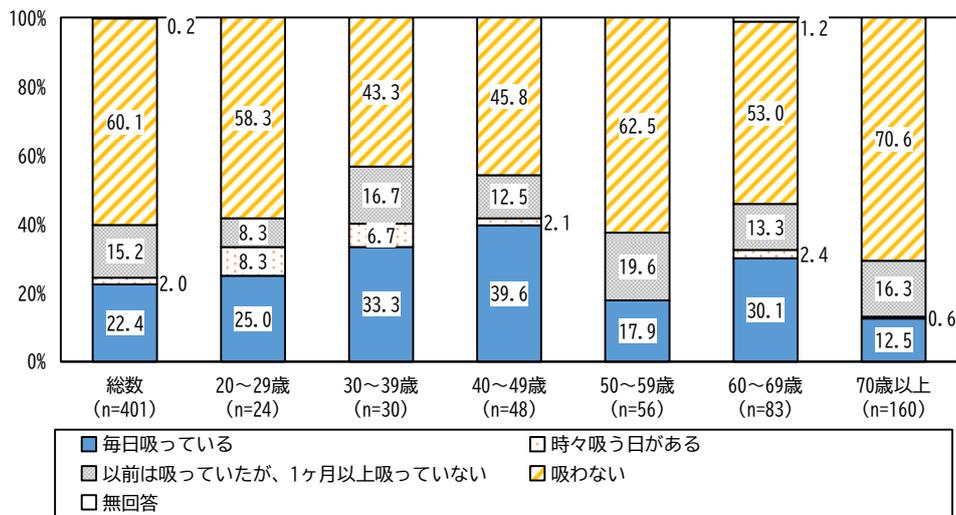
足のしびれや痛み、壊疽も含む神経の障害への影響（女性・年齢階級別）



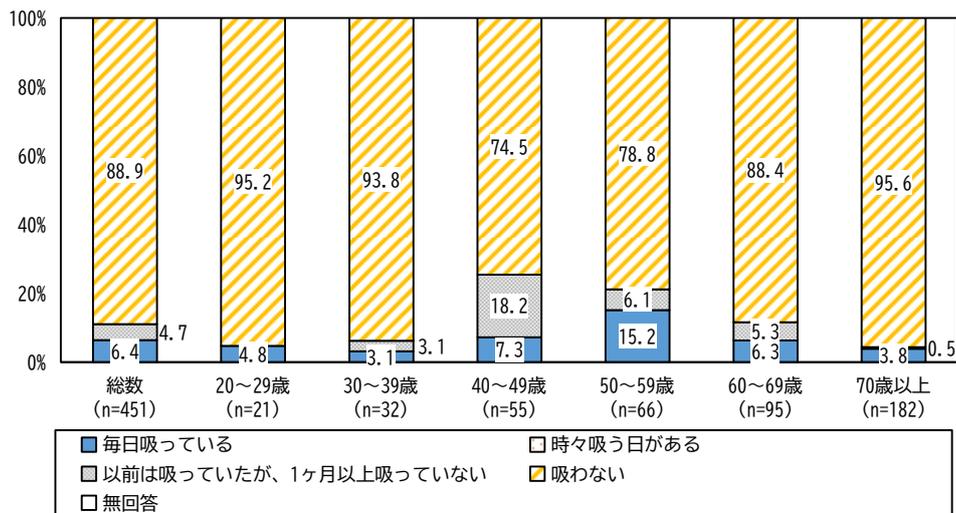
23 喫煙状況

- 喫煙している人（「毎日吸っている」と「時々吸う日がある」の合計）の割合は、男性で24.4%、女性で6.4%となっている。
- たばこをやめたいと思っている人の割合は、男性で20.4%、女性で24.1%となっている。
- 身近に禁煙治療が受けられる医療機関がある人の割合は、男性で36.7%、女性で48.3%となっている。

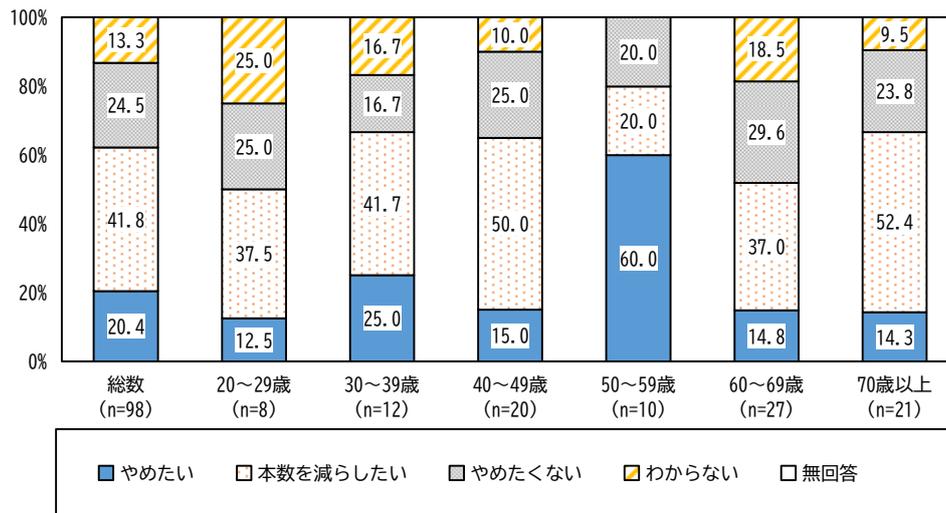
喫煙状況（男性・年齢階級別）



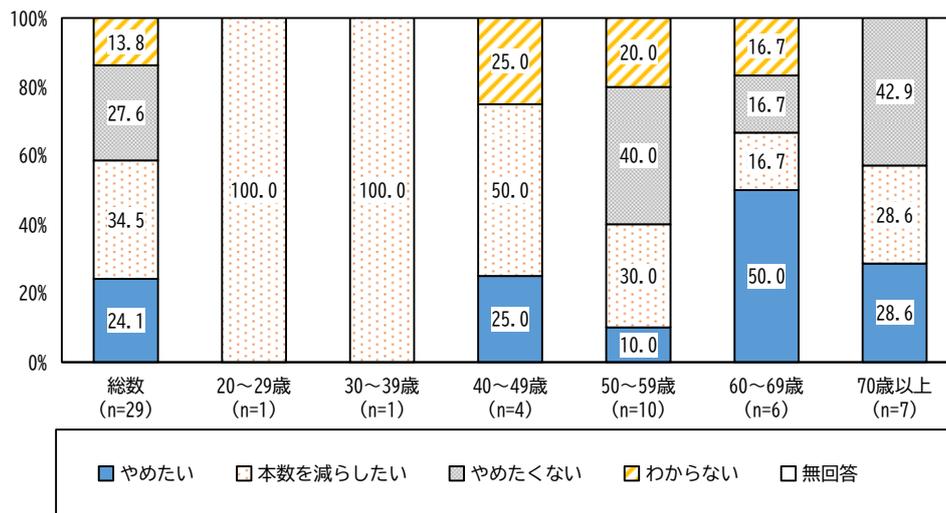
喫煙状況（女性・年齢階級別）



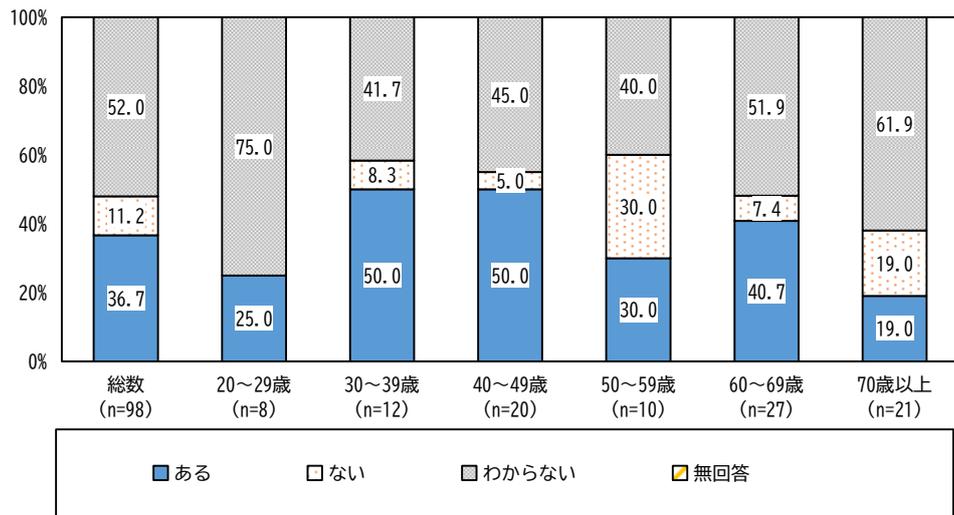
たばこをやめたいか（男性・年齢階級別）



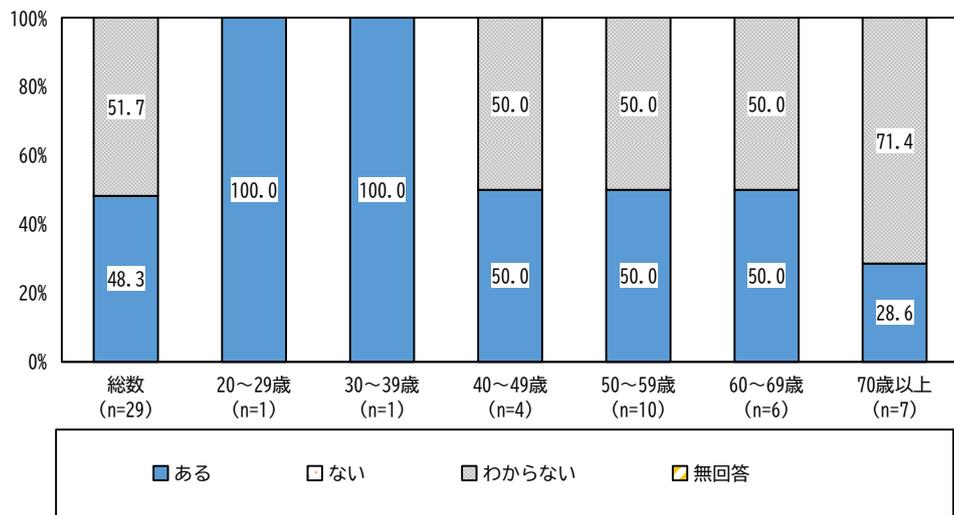
たばこをやめたいか（女性・年齢階級別）



身近に禁煙治療が受けられる医療機関があるか（男性・年齢階級別）



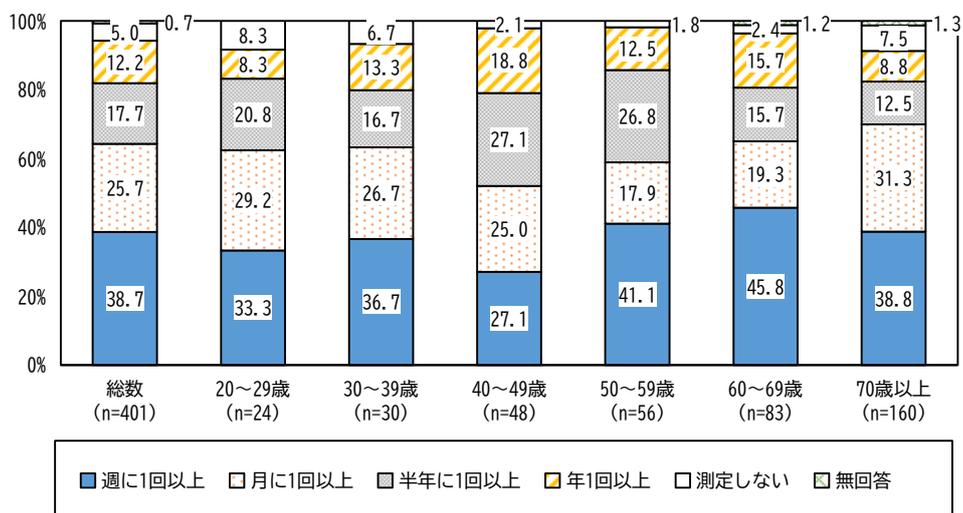
身近に禁煙治療が受けられる医療機関があるか（女性・年齢階級別）



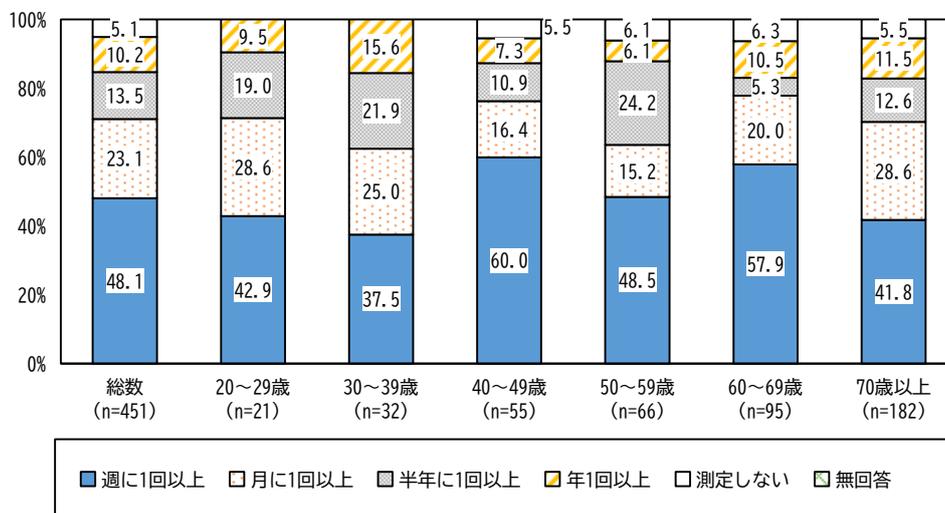
24 体重測定の頻度

○ 週に1回以上体重測定している人の割合は、男性で38.7%、女性で48.1%となっている。

体重測定の頻度（男性・年齢階級別）



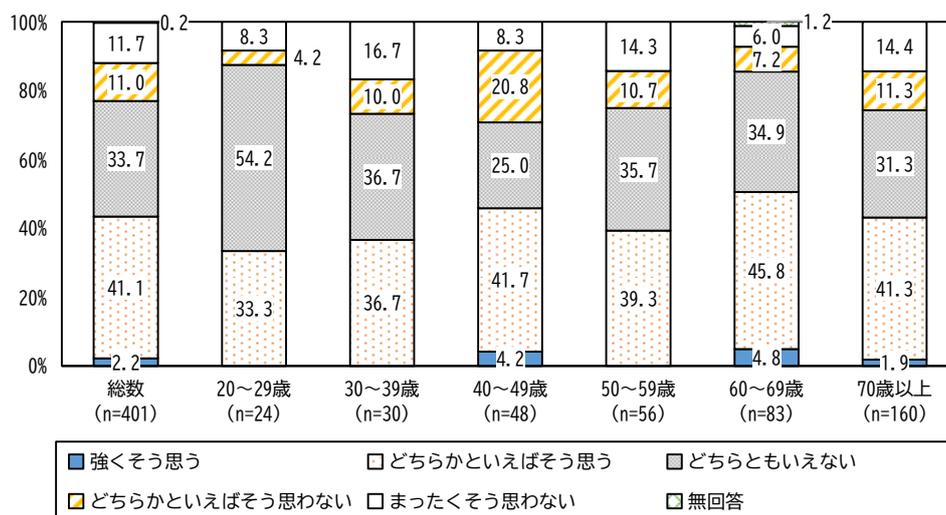
体重測定の頻度（女性・年齢階級別）



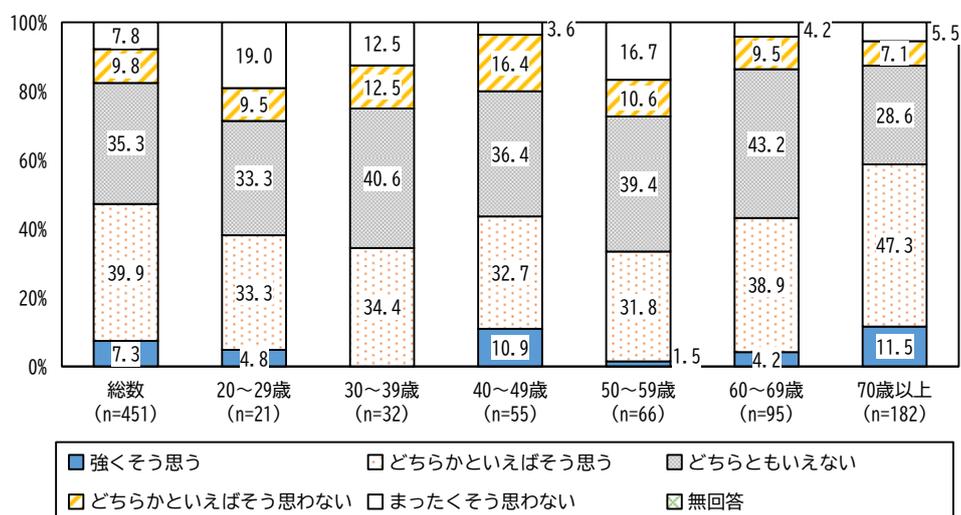
25 地域の互助

○ 地域の互助があると思っている人（「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）の割合は、男性で43.3%、女性で47.2%となっている。

地域の人々は、お互いに助け合っているか（男性・年齢階級別）



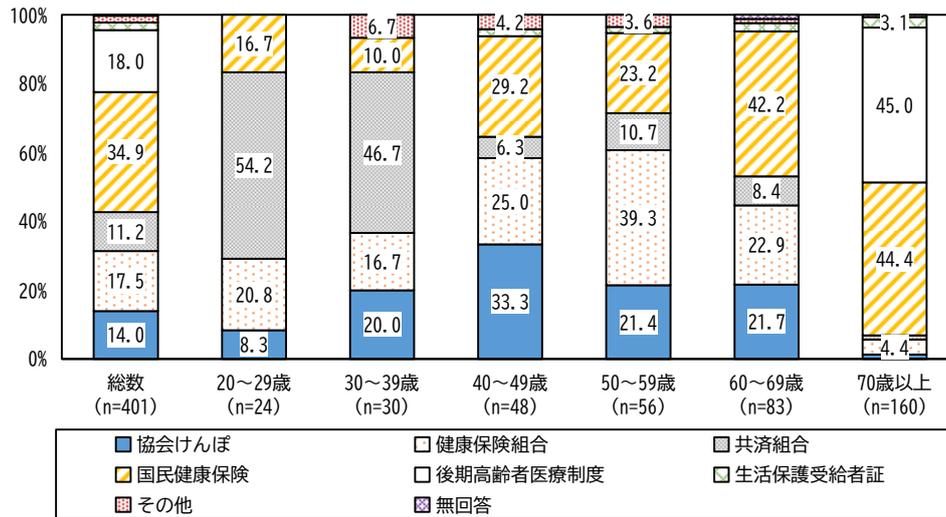
地域の人々は、お互いに助け合っているか（女性・年齢階級別）



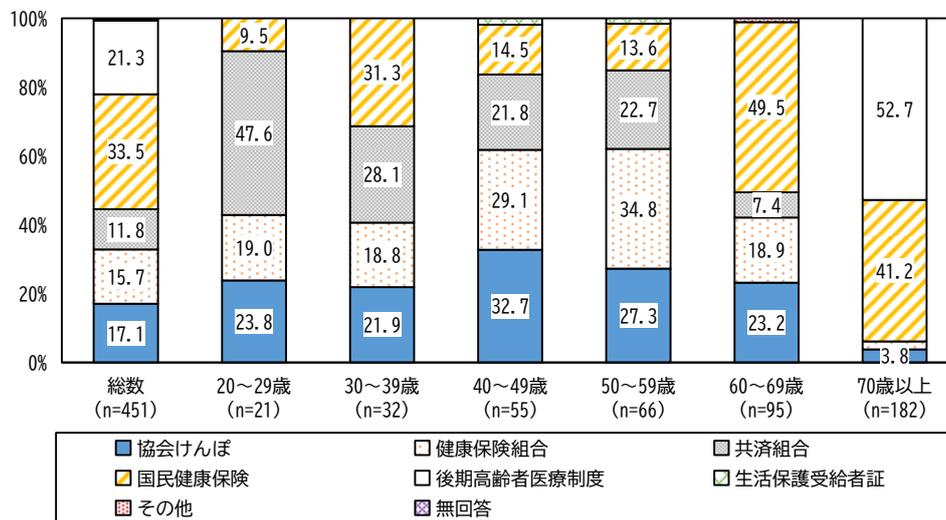
26 保険証の種類

- 使用している保険証の種類について、男性（34.9%）、女性（33.5%）ともに「国民健康保険」の割合が最も高くなっている。

保険証の種類（男性・年齢階級別）



保険証の種類（女性・年齢階級別）

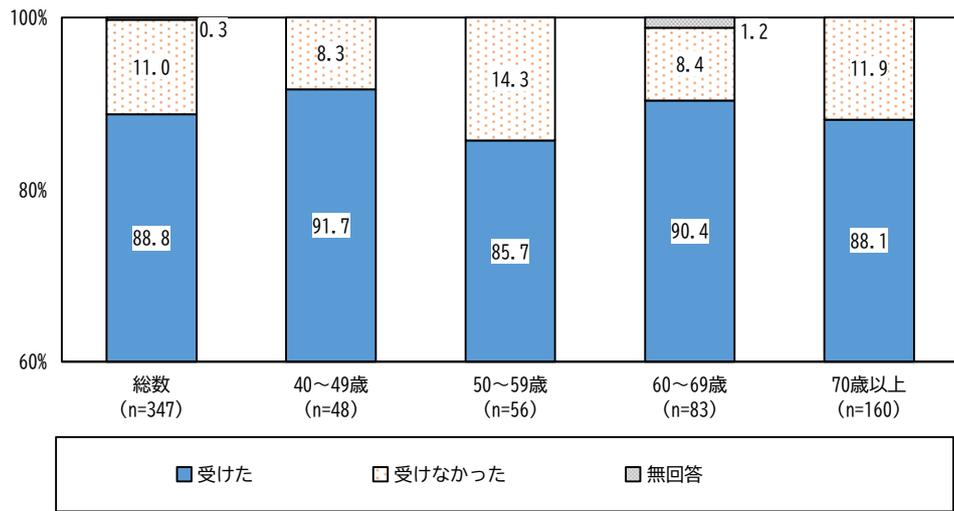


※3.0%未満のラベル非表示

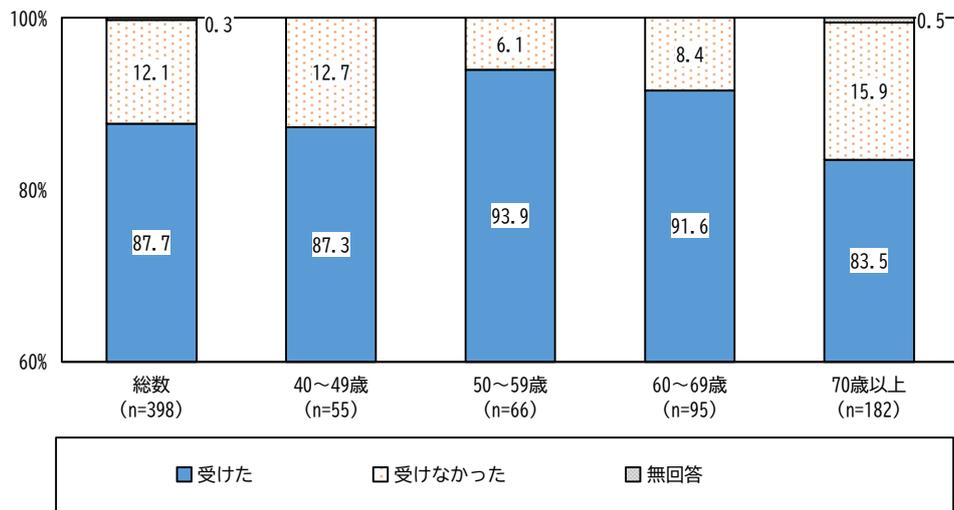
27 過去1年間の健（検）診の受診状況

- （特定）健康診査を受けた人の割合は、男性で88.8%、女性で87.7%となっている。男性では「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先含む）」（45.1%）、女性では「市が実施した検診」（43.3%）での受診の割合が最も高くなっている。
- 胃がん検診を受けた人の割合は、男性で68.3%、女性で54.3%となっている。男性（39.2%）、女性（37.0%）ともに「医療機関」での受診の割合が最も高くなっている。
- 肺がん検診を受けた人の割合は、男性で79.8%、女性で72.6%となっている。男性では「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先含む）」（42.6%）、女性では「市が実施した検診」（45.3%）での受診の割合が最も高くなっている。
- 大腸がん検診を受けた人の割合は、男性で65.7%、女性で60.8%となっている。男性では「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先含む）」（42.5%）、女性では「市が実施した検診」（46.7%）での受診の割合が最も高くなっている。
- 骨粗しょう症検診・骨密度検査を受けた人の割合は、男性で28.8%、女性で36.9%となっている。男性では「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先含む）」（41.0%）、女性では「医療機関」（55.8%）での受診の割合が最も高くなっている。
- 健（検）診を受けなかった理由については、男性では「検診を定期的に受ける必要性を感じないから」（17.6%）、「費用がかかるから」（17.3%）、女性では「忙しく時間がなかったから」（16.7%）、「症状が出たら医療機関を受診すればいいから」（16.4%）の割合が高くなっている。

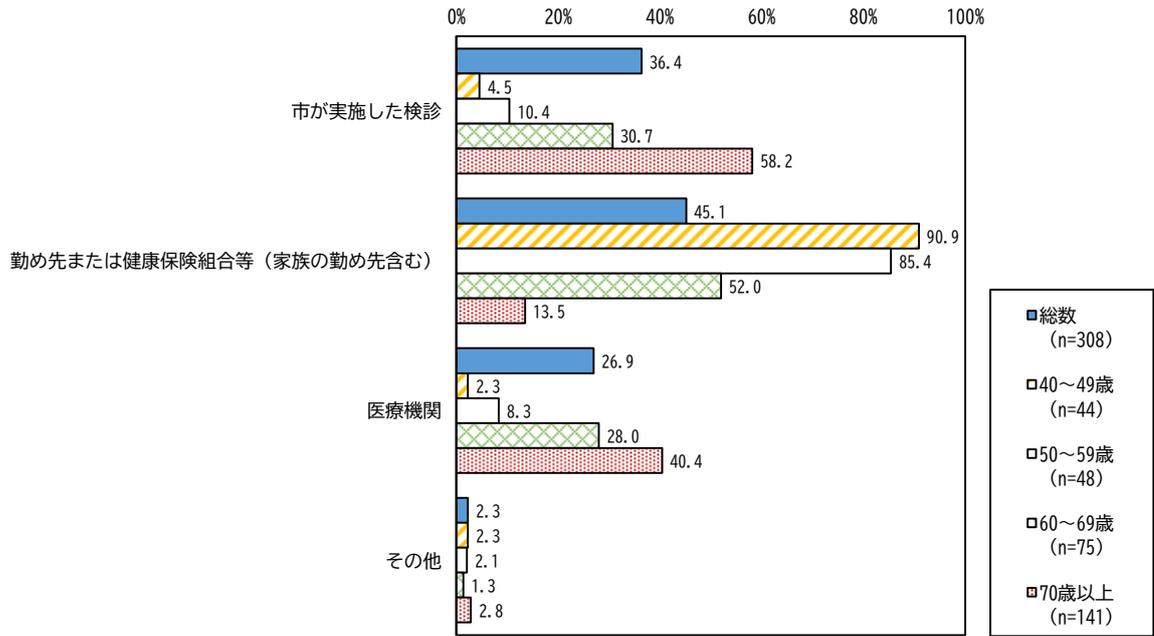
(特定)健康診査(男性・年齢階級別)



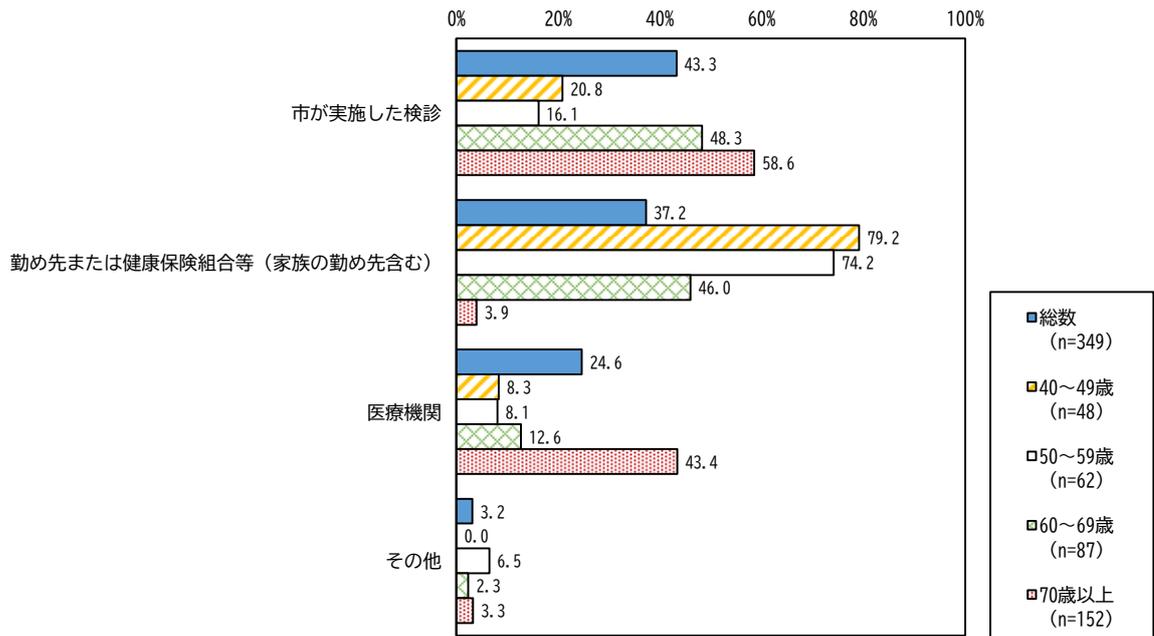
(特定)健康診査(女性・年齢階級別)



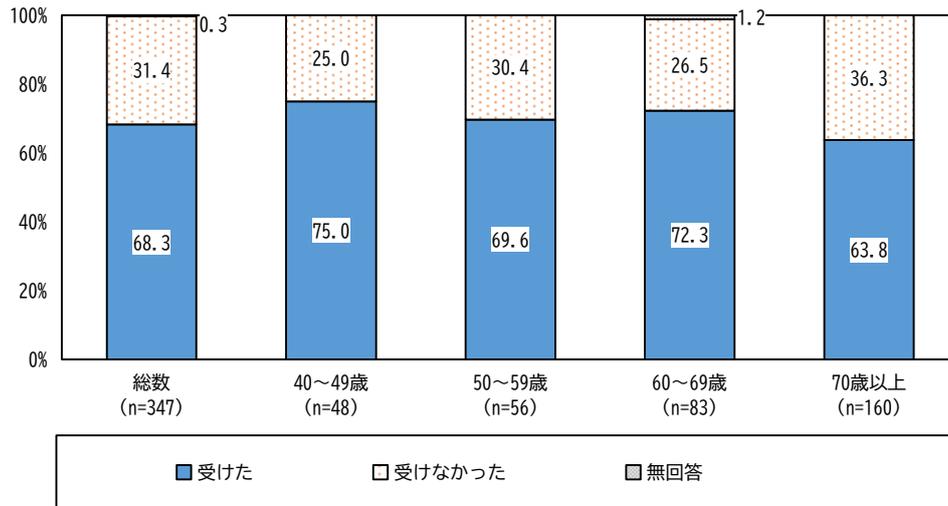
どのような機会に（特定）健康診査を受けたか（男性・年齢階級別）



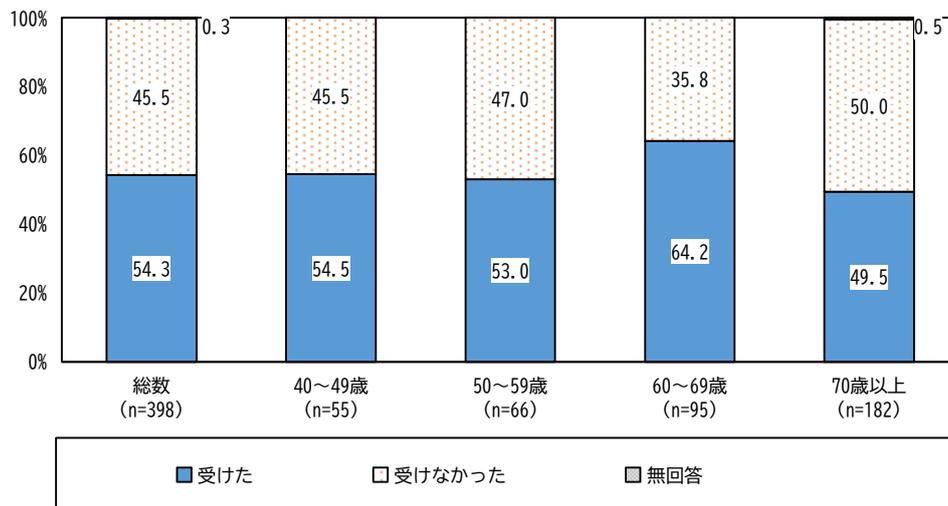
どのような機会に（特定）健康診査を受けたか（女性・年齢階級別）



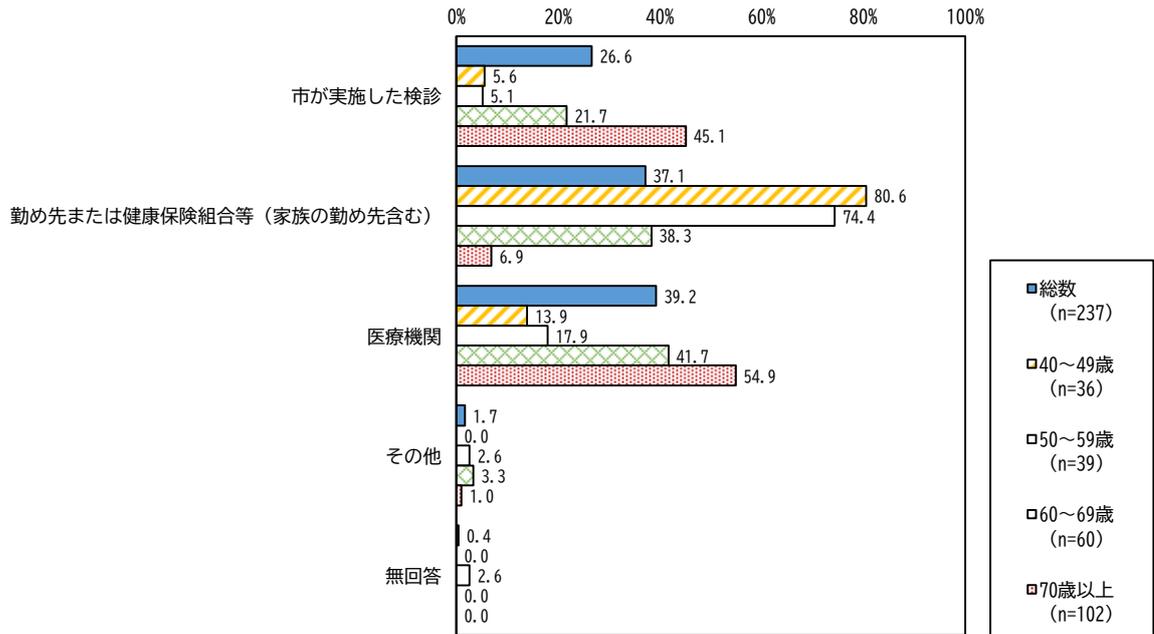
胃がん検診（男性・年齢階級別）



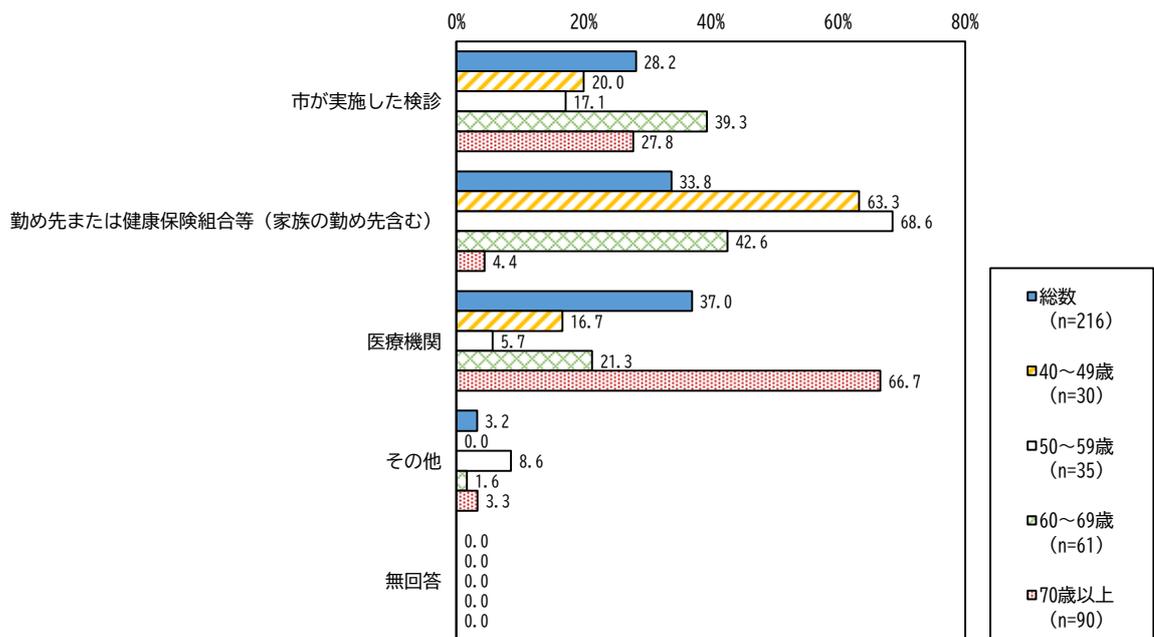
胃がん検診（女性・年齢階級別）



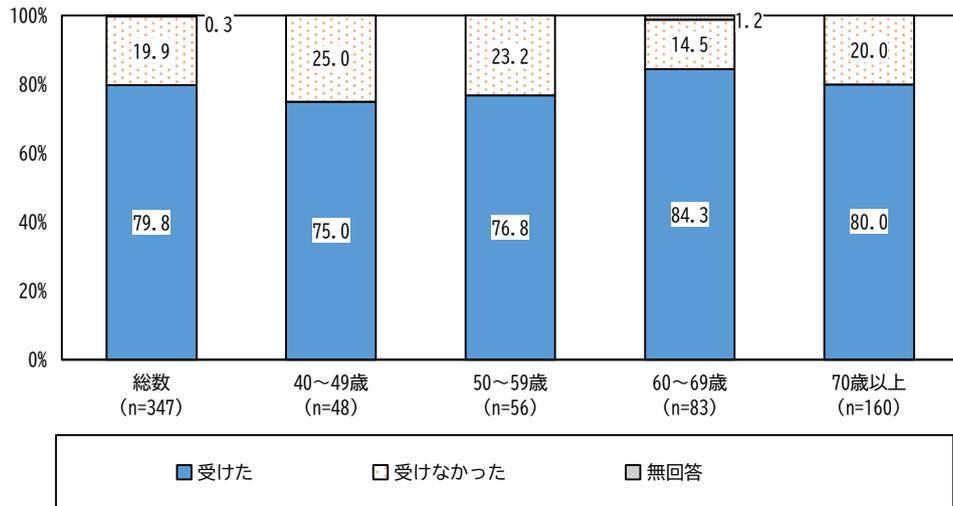
どのような機会に胃がん検診を受けたか（男性・年齢階級別）



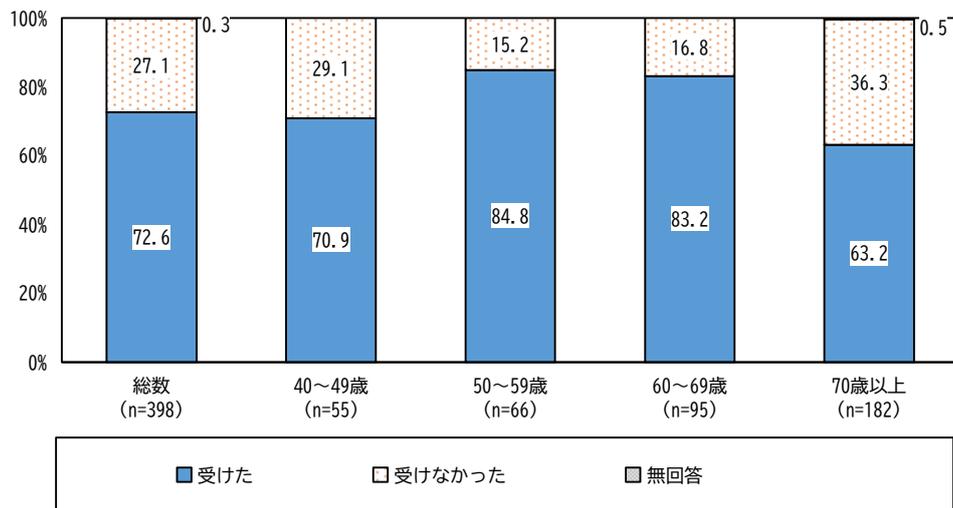
どのような機会に胃がん検診を受けたか（女性・年齢階級別）



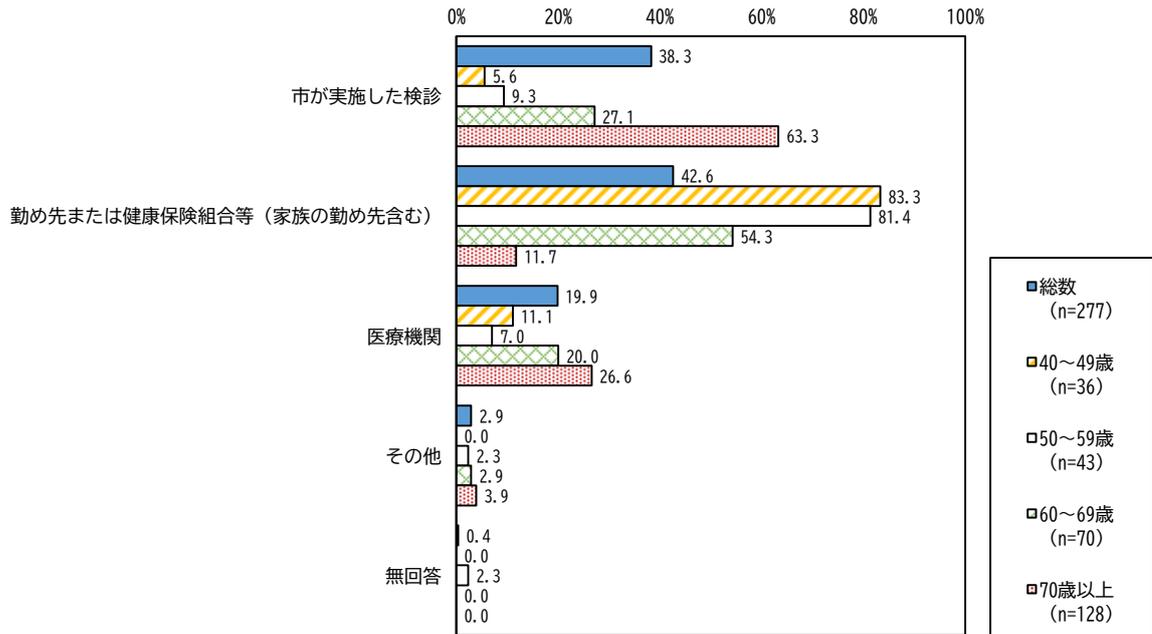
肺がん検診（男性・年齢階級別）



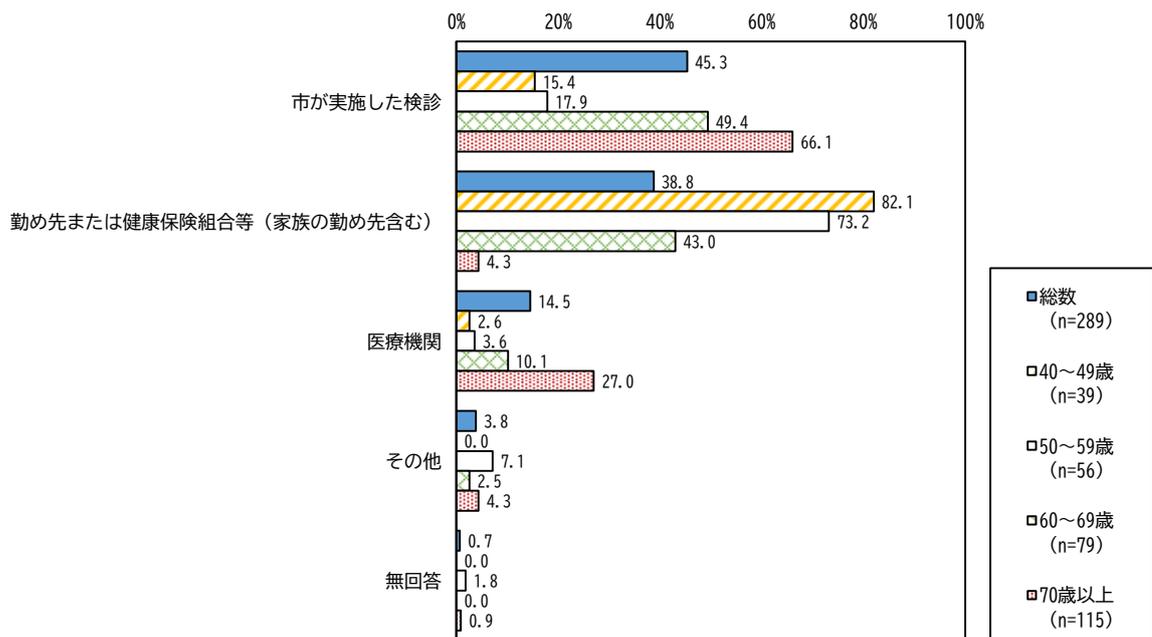
肺がん検診（女性・年齢階級別）



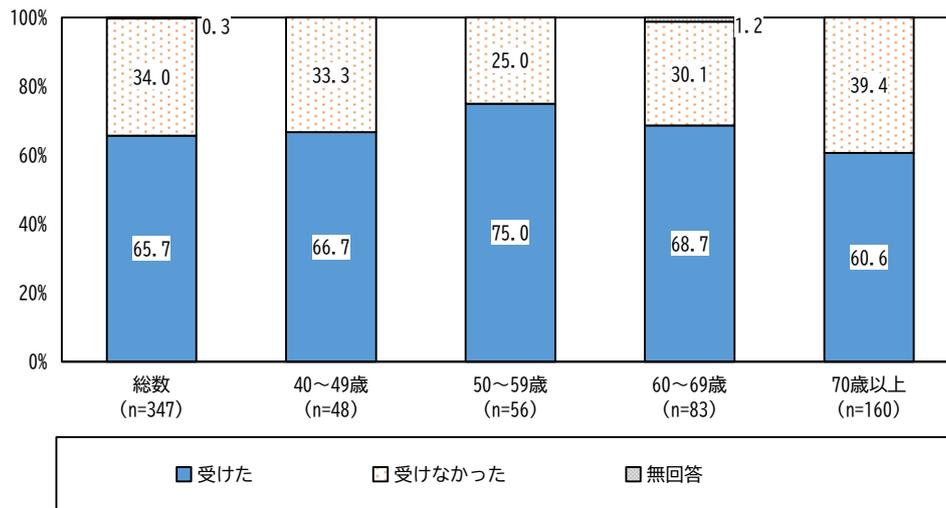
どのような機会に肺がん検診を受けたか（男性・年齢階級別）



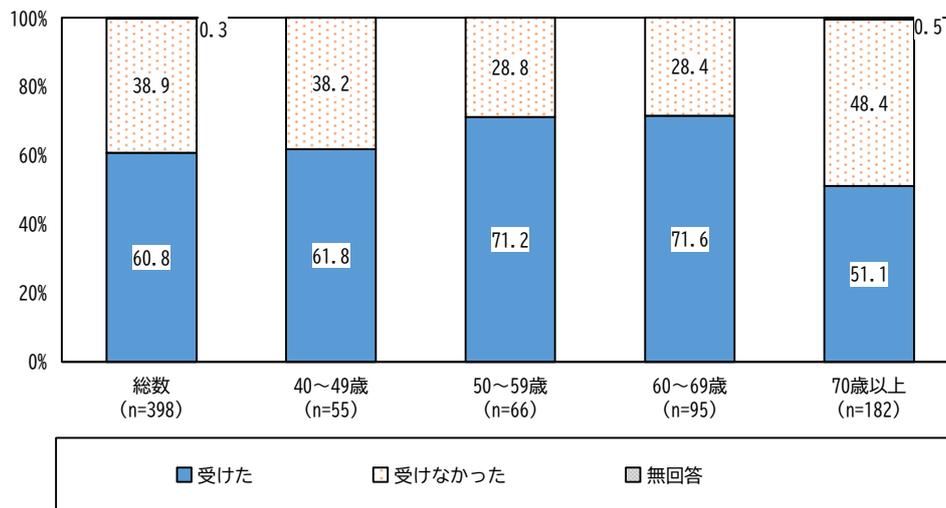
どのような機会に肺がん検診を受けたか（女性・年齢階級別）



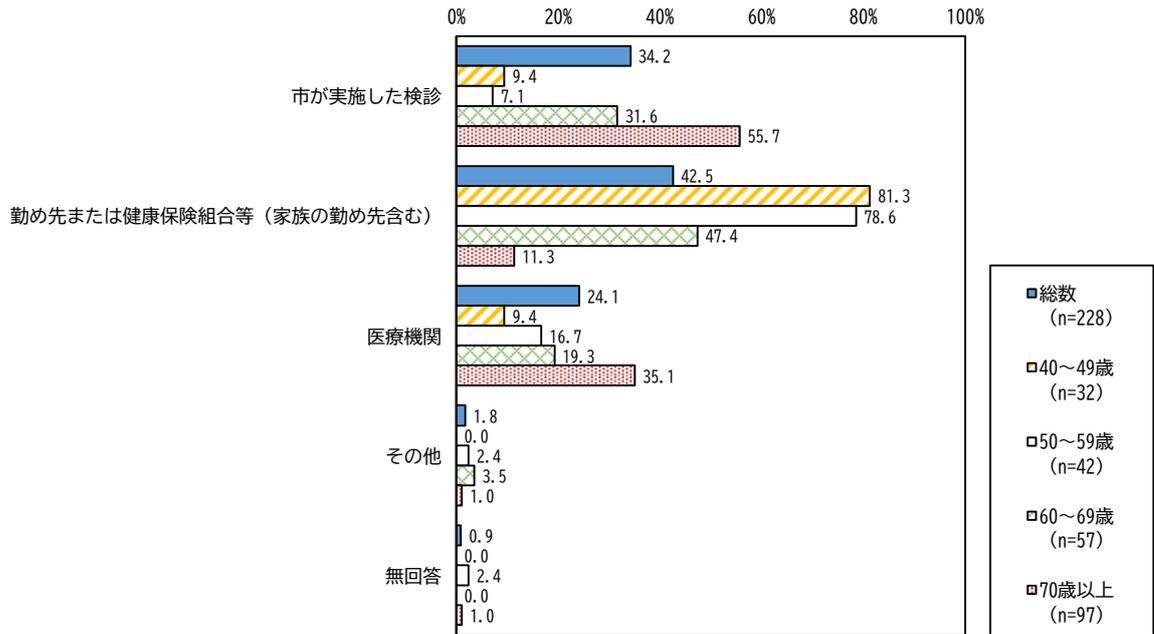
大腸がん検診（男性・年齢階級別）



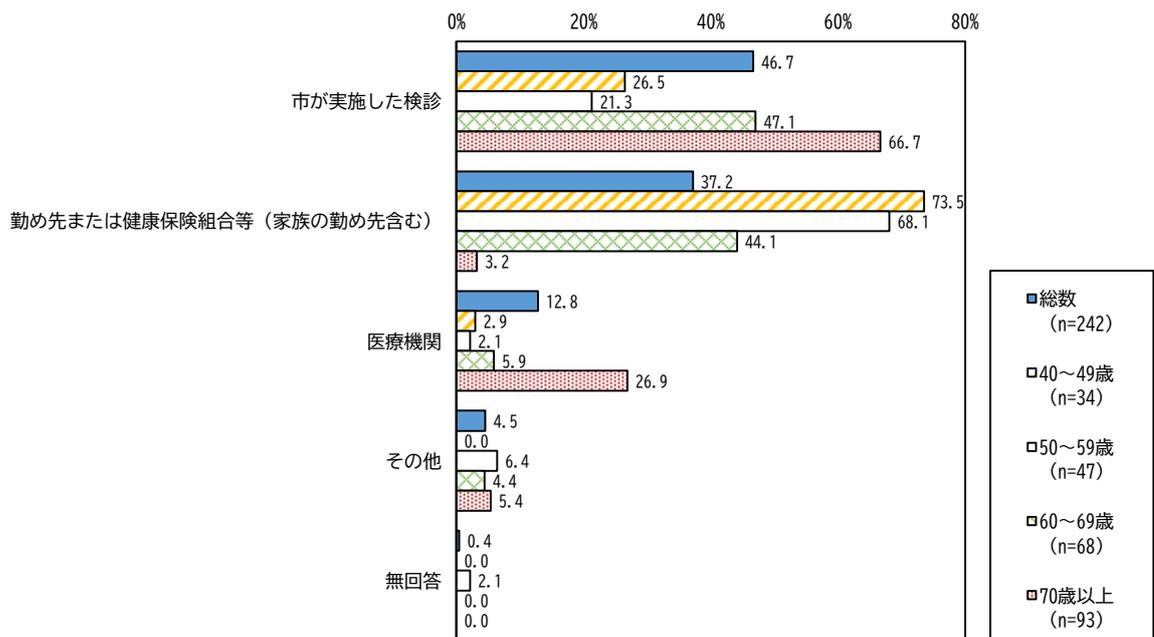
大腸がん検診（女性・年齢階級別）



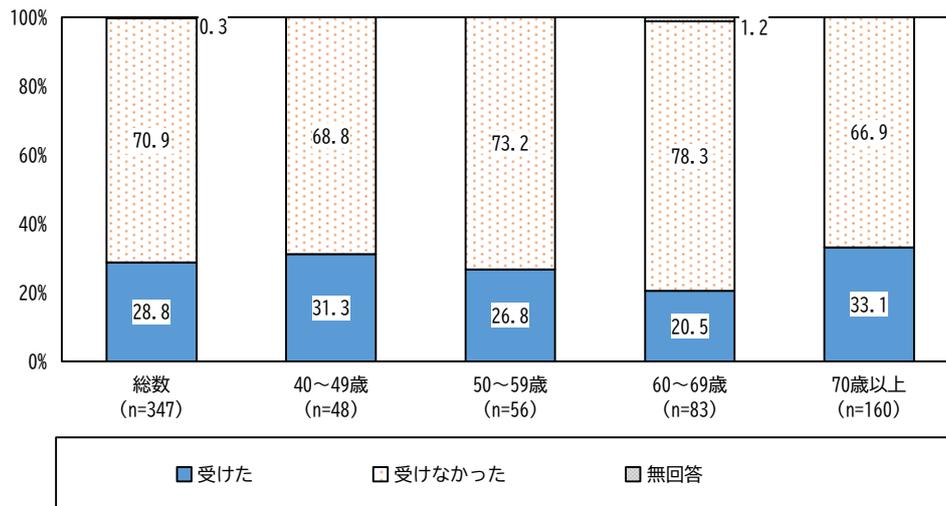
どのような機会に大腸がん検診を受けたか（男性・年齢階級別）



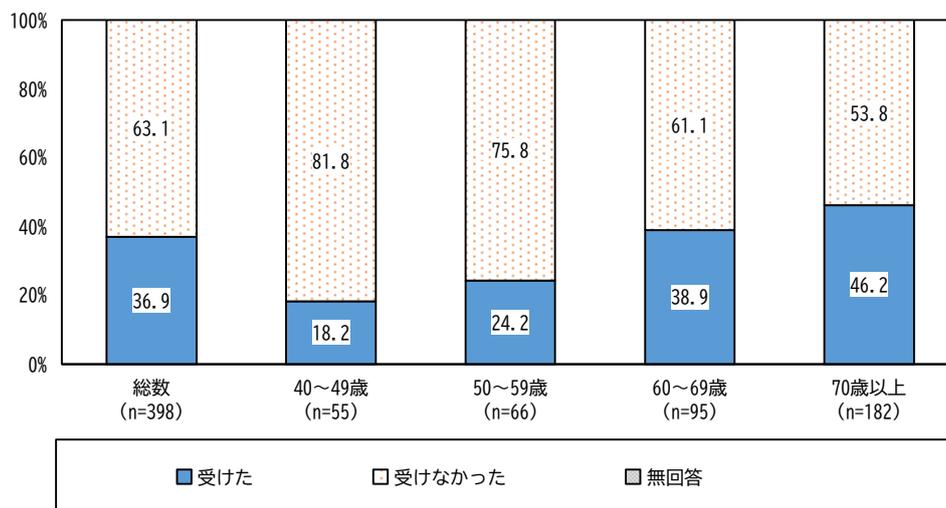
どのような機会に大腸がん検診を受けたか（女性・年齢階級別）



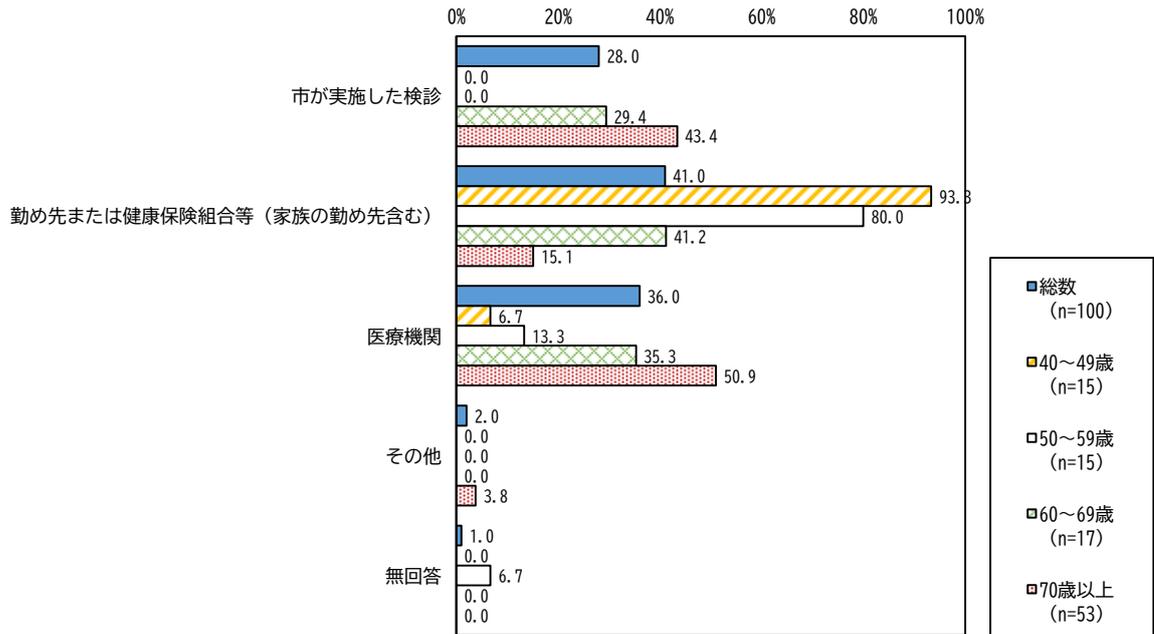
骨粗しょう症検診・骨密度検査（男性・年齢階級別）



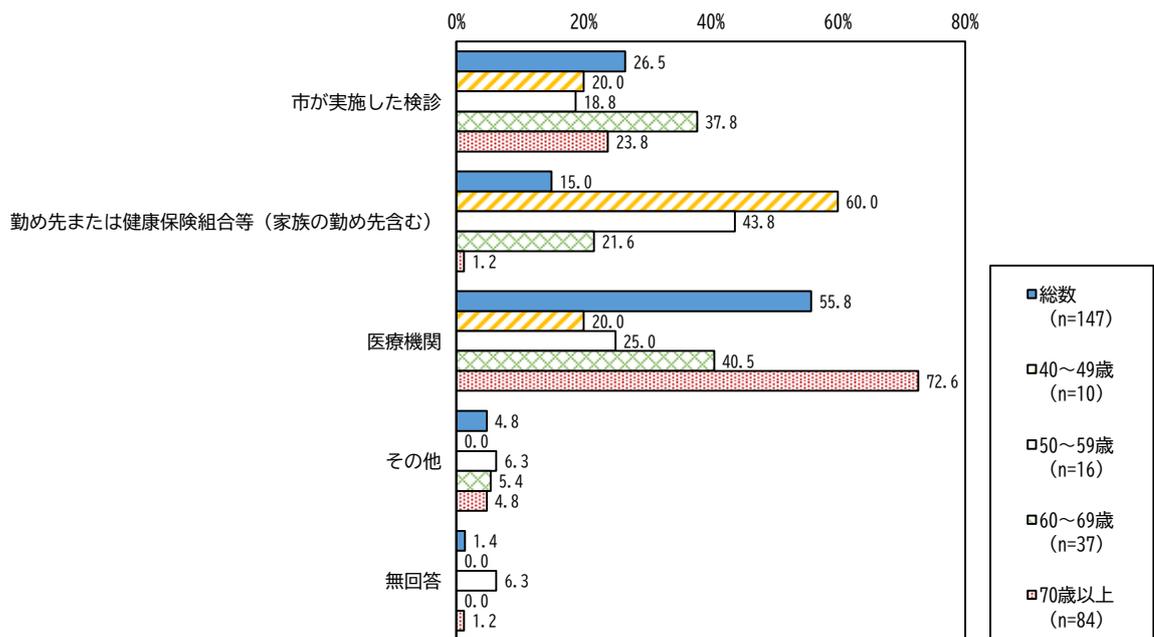
骨粗しょう症検診・骨密度検査（女性・年齢階級別）



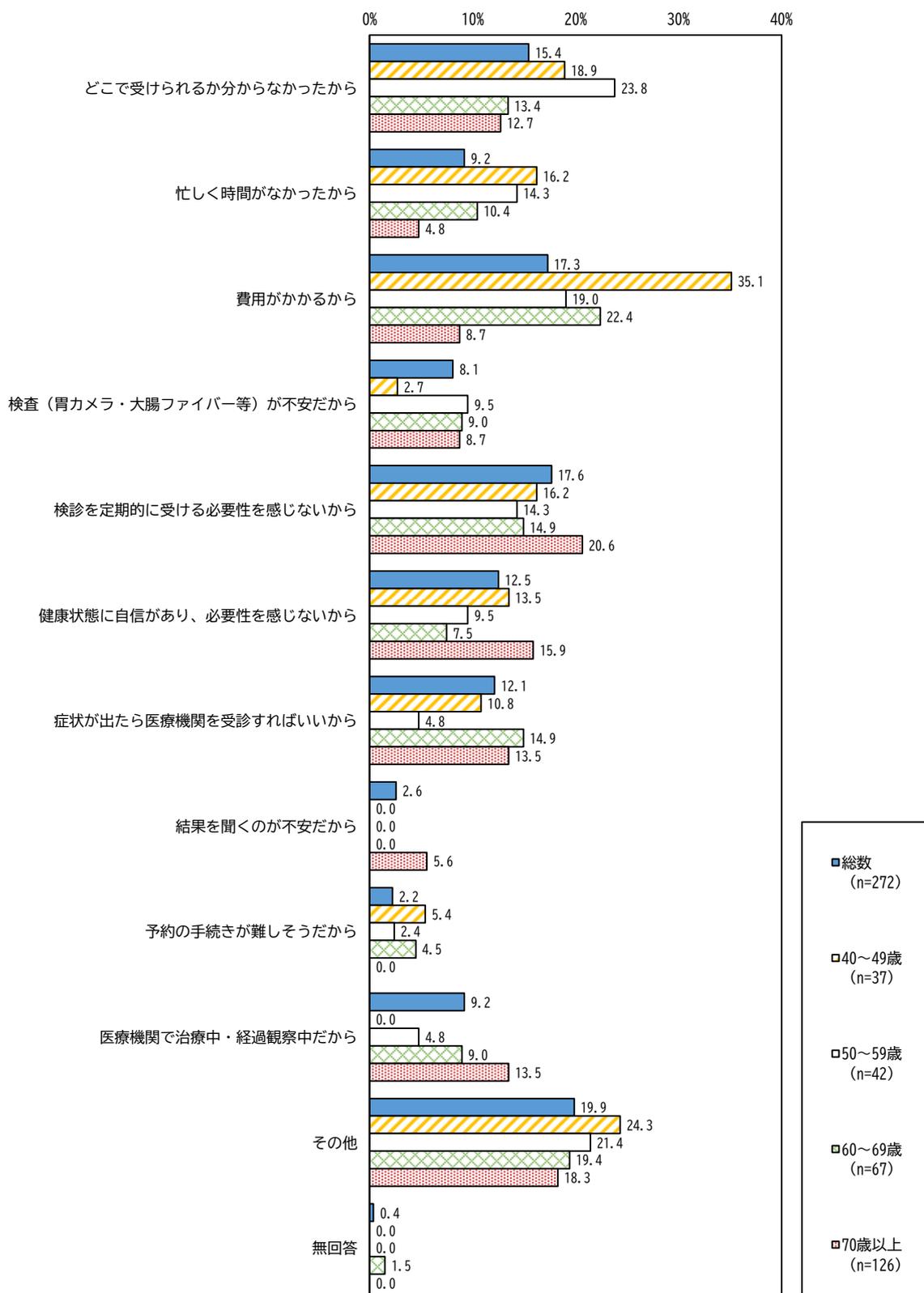
どのような機会に骨粗しょう症検診・骨密度検査を受けたか（男性・年齢階級別）



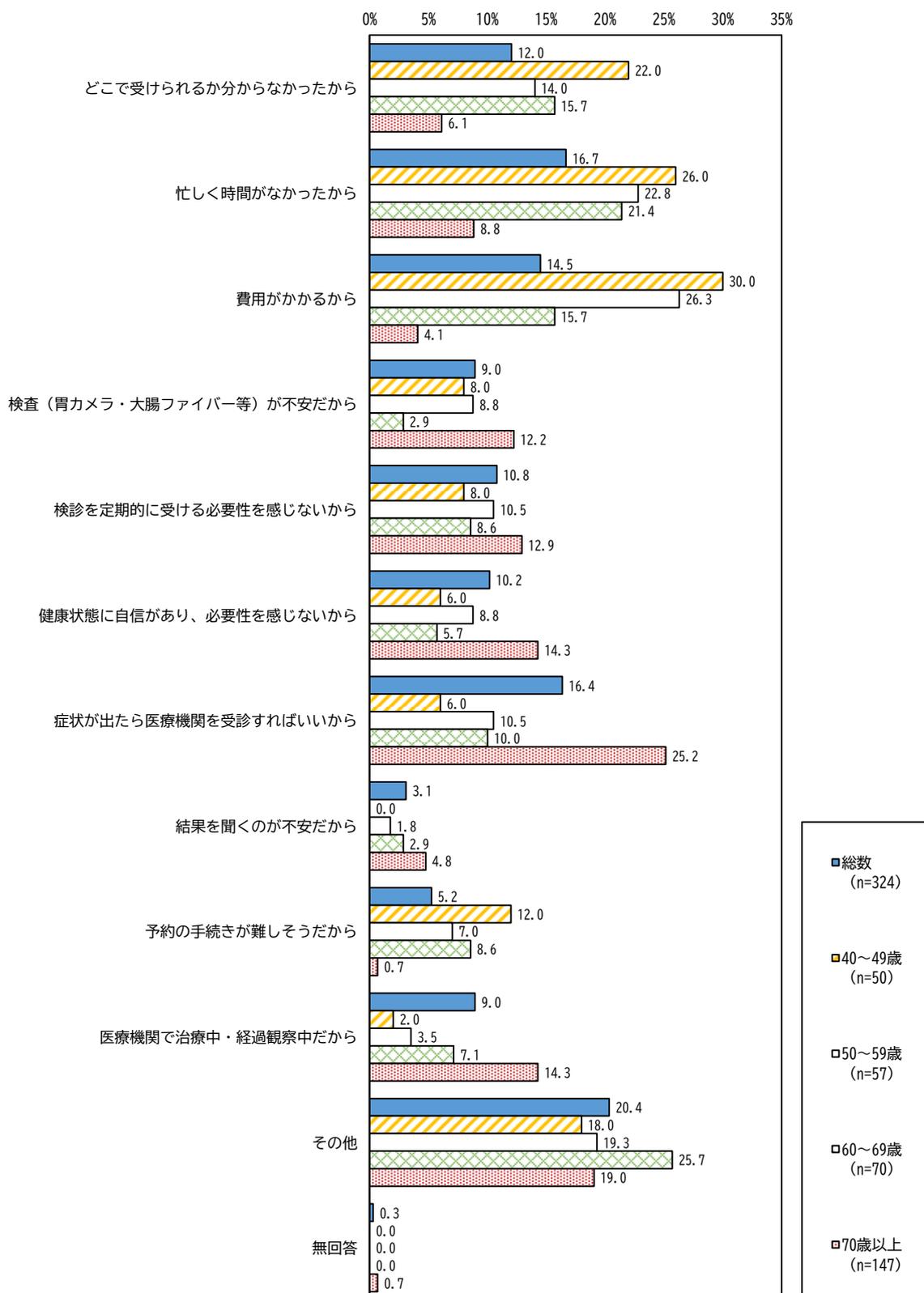
どのような機会に骨粗しょう症検診・骨密度検査を受けたか（女性・年齢階級別）



健（検）診を受けなかった理由（男性・年齢階級別）



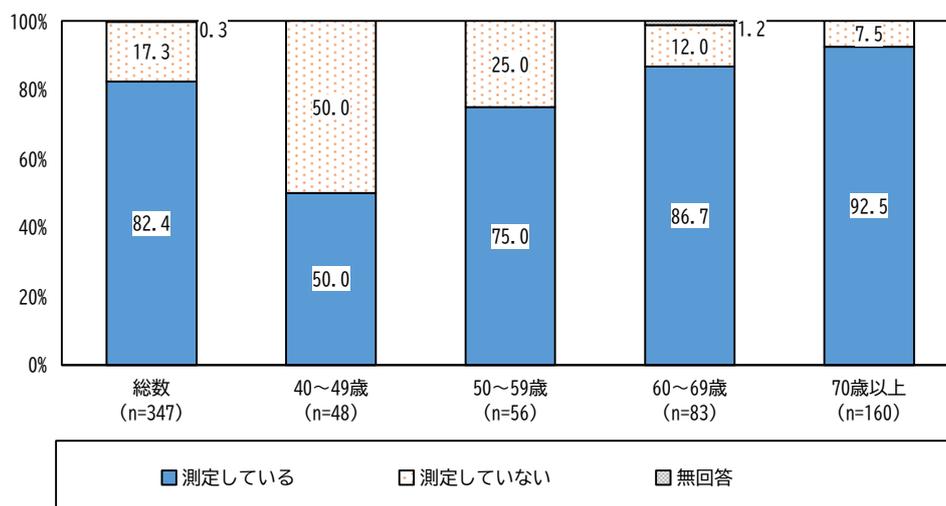
健（検）診を受けなかった理由（女性・年齢階級別）



28 血圧測定

○ 年2回以上血圧測定をしている人の割合は、男性で82.4%、女性で80.9%となっている。

年2回以上の血圧測定（男性・年齢階級別）



年2回以上の血圧測定（女性・年齢階級別）

